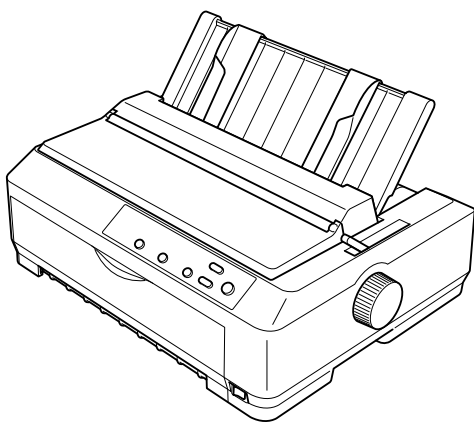
VP-880

取扱説明書
詳細編

機能・操作方法など、本製品を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

BPS0152-00
©2013 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.
2013 年 4 月発行

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1 日本語版
Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 7 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 8 Operating System 日本語版
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT3.51、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP/Vista/7/8」のように Windows の表記を省略することがあります。

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法と操作パネルおよびプリンタドライバ上の表記は以下のようになります。

給紙方法	操作パネルの表記	プリンタドライバの表記
単票紙を用紙ガイドから手差し給紙する	ー	手差し
単票紙をカットシートフィーダー A から給紙する	CSF ビン 2	カットシートフィーダ 2
単票紙をカットシートフィーダー B から給紙する	CSF ビン 1	カットシートフィーダ 1
連続紙をプッシュトラクタから給紙する	ー	プッシュトラクタ
ハガキを用紙ガイドから手差し給紙する	ハガキ	手差し
ハガキをカットシートフィーダー B から給紙する	ハガキ	カットシートフィーダ 1

- 操作パネルの表記“CSF”は、カットシートフィーダー（Cut Sheet Feeder）の略称です。
- プリンタドライバの表記“カットシートフィーダ”は本製品に標準添付されているプリンタドライバ上の表記です。ほかのソフトウェアでは、類似の表記をしていることがあります。

商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC-98 NX シリーズ、PC-H98 は日本電気株式会社の商標です。
- IBM PC、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、WindowsNT、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

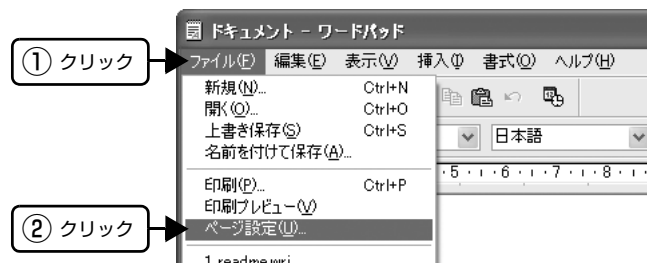
Windows からの印刷

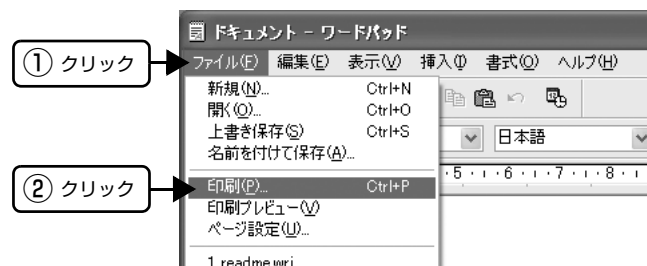
!注意

- Windows 95/98/Me/NT4.0 からの印刷は、『補足説明書　セットアップと印刷方法』を参照してください。
『補足説明書　セットアップと印刷方法』はエプソンのホームページからダウンロードしてください。
【サービス名】ダウンロードサービス
【アドレス】　http://www.epson.jp/
- Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

印刷手順

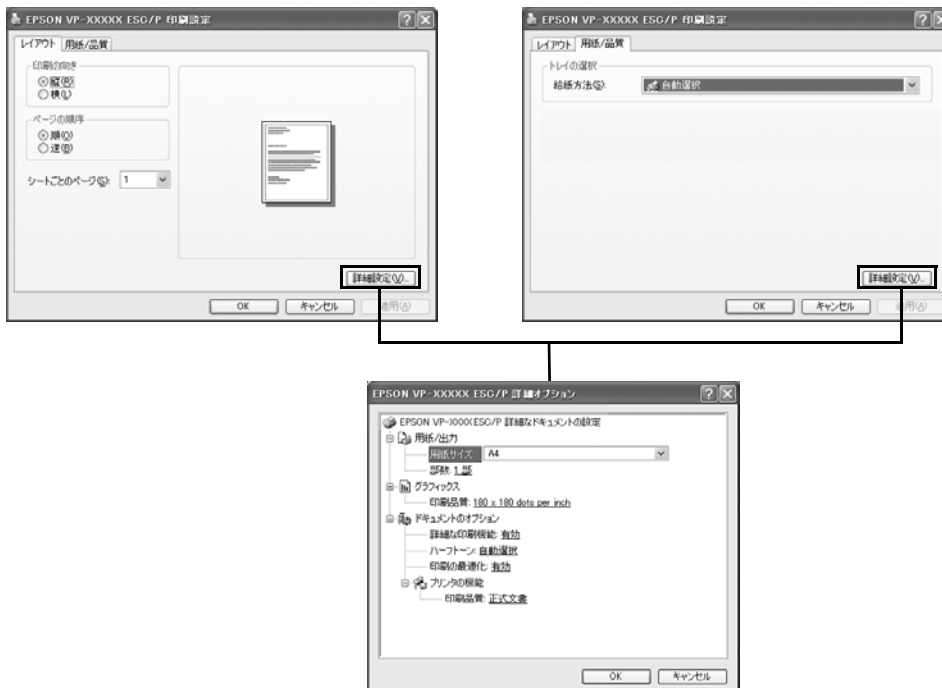
印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、ここでは基本的な印刷手順を説明します。

1 アプリケーションソフトを起動して、[ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

2 用紙のサイズや余白、印刷の向きなどを設定して [OK] をクリックします。

3 データを作成したら、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

4 出力したいプリンタが選択されていることを確認して[詳細設定](または[プロパティ])をクリックします。

5 各項目を設定して［OK］をクリックします。

表示される画面はご利用の環境によって異なります。

☞ 本書 7 ページ 「プリンタドライバの設定」

参考　［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせます。

6 ［印刷］をクリックします。
印刷データがプリンタに送られ、印刷が始まります。

以上で終了です。

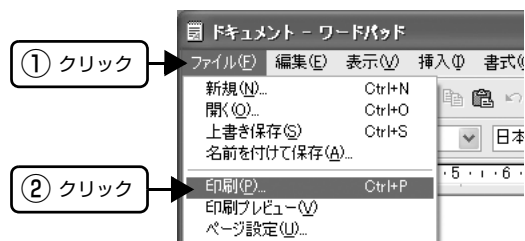
プリンタドライバの設定

印刷に関する各種設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバの詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから［印刷］をクリックして［印刷］画面を表示させます。

2 ［プリンタの選択］で本製品を選択して［詳細設定］(Windows XP/Vista/7/8) または［プロパティ］(Windows 2000) をクリックします。

参考
Windows 2000 の「ワードパッド」のように、[印刷] 画面内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

[スタート] メニューから開く

Windows の［スタート］メニュー（Windows 2000/XP/Vista/7）または［スタート］画面（Windows 8）からプリンタドライバのプロパティを開きます。ここでの設定はアプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になりますので、よく使う値を設定しておくと便利です。

ここでは、代表的な方法を説明します。

1 Windows の［スタート］メニュー /［スタート］画面から［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows 8:

［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンタの表示］をクリックします。

Windows 7:

[スタート] - [デバイスとプリンタ] の順にクリックします。

Windows Vista:

［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP:

Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

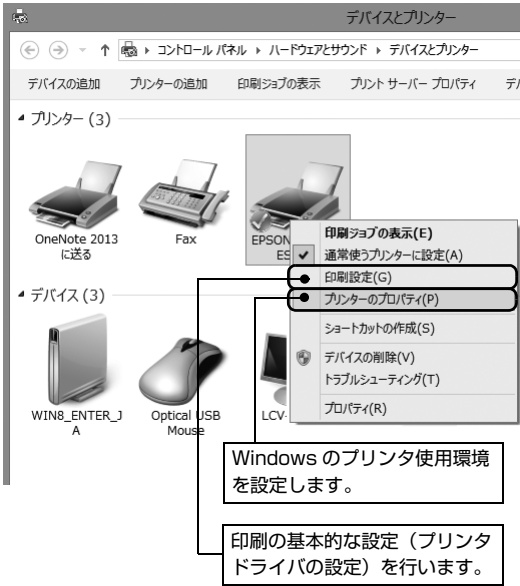
Windows 2000:

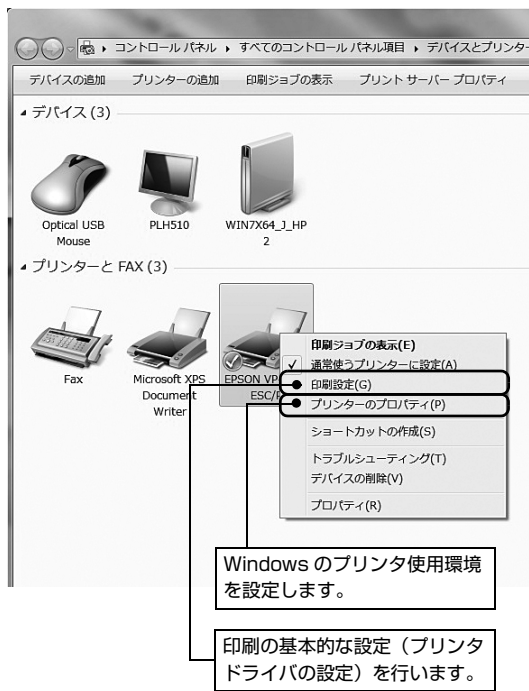
［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 本製品のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［印刷設定］または［プロパティ］/［プリンタのプロパティ］をクリックします。

- ［印刷設定］では、印刷の基本的な設定（プリンタドライバの設定）を行います。
- ［プロパティ］/［プリンタのプロパティ］では、Windows のプリンタ使用環境を設定します。

- [印刷設定] を変更するには制限ユーザー (Users) 以上の権限が必要です。
- ［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー（Power Users）以上の権限が必要です。

Windows 8 の場合

Windows 7 の場合

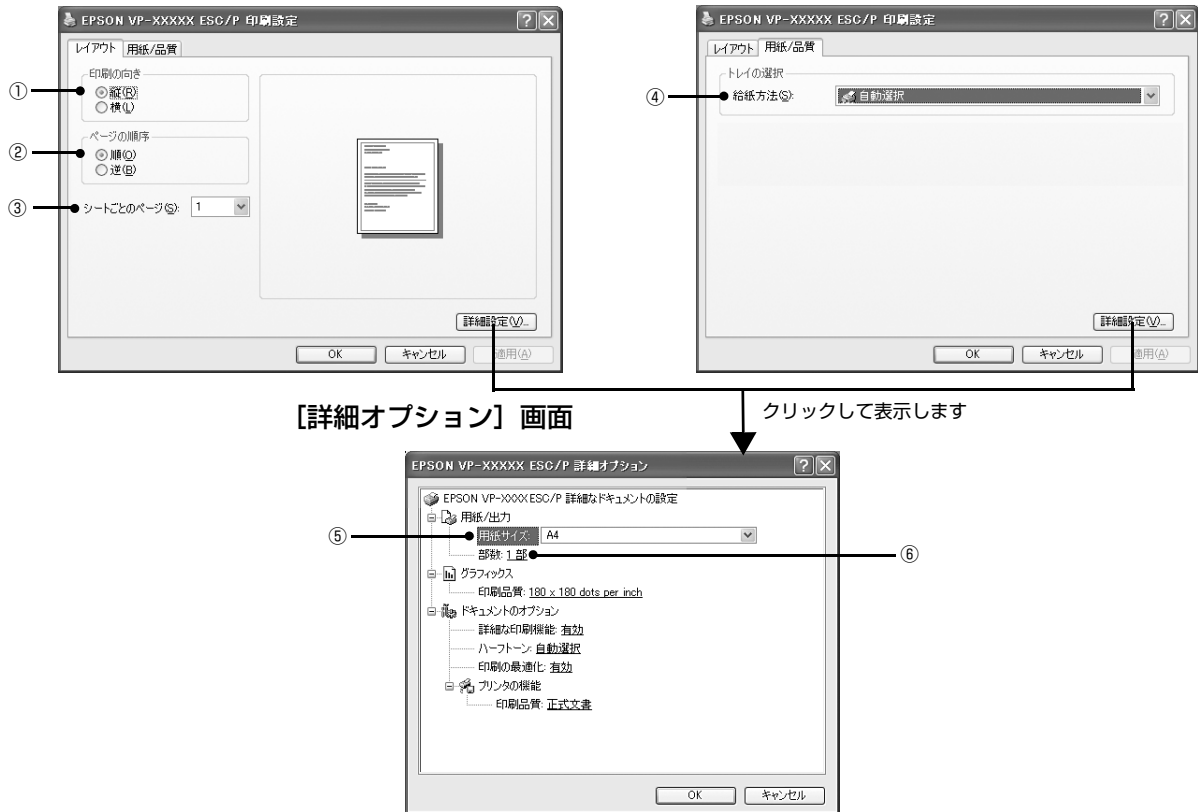
Windows Vista/XP/2000 の場合

設定項目

印刷を実行する前に、用紙サイズや給紙方法などのプリンタ固有の機能をプリンタドライバの［印刷設定］画面で設定します。本プリンタドライバでは、用紙のサイズ以外にグラフィックスの解像度、印字品質を設定できます。

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズや給紙方法の設定は、次の画面で行います。

お使いの OS によって画面イメージは異なりますが、同じ機能です。各項目の説明は次ページ以降を参照してください。

［レイアウト］画面　　［用紙 / 品質］画面

Windows XP(64bit)/Vista/7/8:［拡張設定］画面

①印刷の向き
印刷する方向を縦・横のどちらかをクリックして選択します。

使用するアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

②ページの順序
印刷するページの順序を選択します。

順	最初のページから順番に印刷します。
逆	最後のページから順番に印刷します。

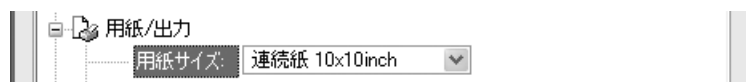
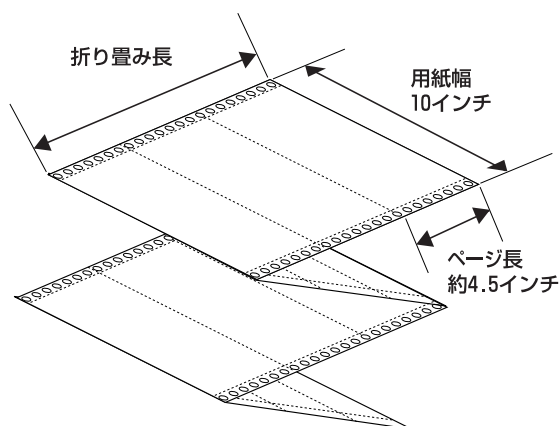
③シートごとのページ
1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを指定します。たとえば、1 を指定すると、1 枚の用紙に 1 ページが印刷され、2 を指定すると 1 枚の用紙に 2 ページ分が並べて印刷されます。

Windows Vista/7/8 では［境界線を引く］をチェックすると、ページとページの間に境界線を印刷できます。

④給紙方法
用紙の給紙方法（装置）を選択します。給紙方法一覧から、選択する給紙方法をクリックします。

手差し	単票紙をプリンタの用紙ガイドから手差し給紙するときに選択します。
プッシュトラクタ	プッシュトラクタを使用して連続紙を給紙するときに選択します。
カットシートフィーダ 1 カットシートフィーダ 2	単票紙をオプションのカットシートフィーダービン 1 またはカットシートフィーダービン 2 から給紙するときに選択します。
自動選択	［プリンタ］フォルダでのプリンタドライバで設定されている給紙方法に従います。

- カットシートフィーダーから給紙する場合は、給紙方法を必ずカットシートフィーダー1 または 2 に指定してください。［自動選択］では、手差し給紙が優先されます。
- 給紙方法を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダーを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］フォルダ（Windows 2000）または［プリンタと FAX］フォルダ（Windows XP/Vista）または［デバイスとプリンタ］フォルダ（Windows 7/8）で本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］（Windows 2000/XP/Vista）または［プリンタのプロパティ］（Windows 7/8）をクリックすると表示されます。

⑤用紙サイズ
アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。作成した文書サイズとプリンタドライバ上の用紙サイズは、必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷されることがあります。

- 連続紙の場合は、縦方向の長さが一致していれば、横方向の幅は一致していなくてもかまいません（横方向の幅は、アプリケーションソフトのマージン設定や印字フォーム設定で、実際の用紙の印字幅を超えないように定義します）。
- 「連続紙 10 × 4 1/2inch」とは、以下の状態のことを指します。

- 上記の選択肢は「ページ長が約 4.5 インチ」であることを示しますので、用紙の折り畳み長や、折り畳み枚数の単位が異なっても設定できます。
- 「連続紙 10 × 4 1/2inch」などの帯分数は、「4 + 1/2 インチ」のページ長であることを示します。
- 印刷したい連続紙の用紙サイズ（用紙幅）が登録されていないときは、用紙長が同じものを選択してください。同じものがない場合は、ユーザー定義サイズで登録してください。
- 4 インチ未満で折り畳まれた連続紙を使用すると紙送り精度に影響します。
  連続紙のページ長が 4 インチ未満のときは、複数ページごとに折り畳まれ、折り畳み長が 4 インチ以上の連続紙を使用してください。
- ［用紙サイズ］リストにないサイズは、ユーザー定義サイズとして登録することができます。
  本書 14 ページ 「任意の用紙サイズを登録するには」

⑥部数

印刷する部数を指定します。2 部以上印刷するときは、部単位で印刷するかどうかを指定できます。部単位で印刷する場合は、1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。部単位で印刷しない場合は、ページごとに部数分ずつ印刷します。

⑦印刷位置のオフセット（Windows XP(64bit)/Vista/7/8 のみ）

印刷開始位置を設定します。通常は、お使いのアプリケーションソフトのマージン設定（余白の設定）で調整してください。アプリケーションソフトで設定できないときなどはこの機能をお使いください。

オフセットによって印字推奨領域からはみ出したデータは印刷されません。

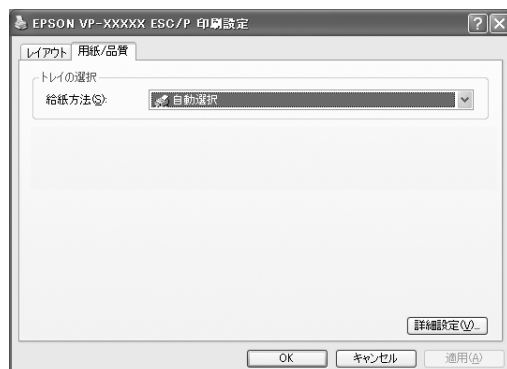
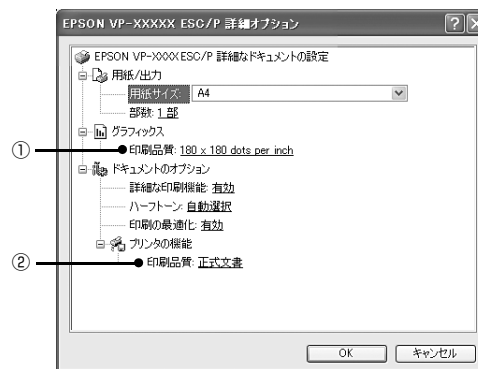
横	横方向の印刷開始位置を指定します。マイナス値は左方向、プラス値は右方向にオフセットします。 設定可能範囲は -2.54cm（-1.00inch）から 2.54cm（1.00inch）です。
縦	縦方向の印刷開始位置を指定します。マイナス値は上方向、プラス値は下方向にオフセットします。 設定可能範囲は -2.54cm（-1.00inch）から 2.54cm（1.00inch）です。
単位	上記の入力値の単位を cm または inch のどちらかに選択できます。

入力値をプリンタドライバをインストールした直後の状態に戻すときは［初期値に戻す］をクリックします。

グラフィックスと印刷品質

グラフィックイメージの印刷に関する設定は、次の画面で行います。

お使いの OS によって画面イメージは異なりますが、同じ機能です。

［用紙 / 品質］画面

［詳細オプション］画面

①[グラフィックス]-[印刷品質]

グラフィックイメージの出力解像度（細かさ）を選択します。

解像度は、水平解像度×垂直解像度で示しています。解像度は dpi* で表し、数字が大きくなるほど解像度は高くなります。

一般に解像度が高い方が高品質のグラフィックを印刷できますが、印刷時間は長くなります。

*dpi（Dot Per Inch）：1 インチ当たりのドット数

②[プリンタの機能]-[印刷品質]

「正式文書」または「ドラフト」のどちらかを選択します。「ドラフト」印刷よりも「正式文書」の方が表現力のある高品質な印刷結果になりますが、印刷時間は長くなります。

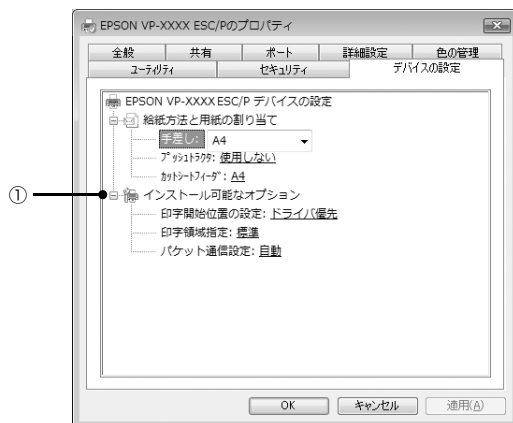
ドラフトを選択するときは操作パネルの［高速印字］ランプを点灯させる必要があります。

☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「ご使用の前に」-「各部の名称と役割」

インストール可能なオプション（Windows XP(64bit)/Vista/7/8）

すべての印刷に共通な設定は、次の［プロパティ］/［プリンタのプロパティ］画面で行います。

お使いの OS によって画面イメージは異なりますが、同じ機能です。

Windows XP(64bit)/Vista/7/8:［デバイスの設定］画面

①インストール可能なオプション

すべての印刷に共通な各種設定ができます。

印字開始位置の設定	ドライバ優先	それぞれの用紙ごとにプリンタドライバで設定されている位置から印刷します。プリンタの操作パネルから設定した印字開始位置は無効になります。 通常はこの設定で使用します。
	プリンタ優先	プリンタの操作パネルで設定した位置から印刷します。プリンタドライバで設定されている印字開始位置は無効になります。 プリンタの設定値で印刷したいときに選択します。
印字領域指定	標準	EPSON インパクトプリンタの一般的な印字領域にて印刷します。 通常はこの設定で使用します。
	最大	プリンタで印刷できる最大の印字領域に印刷します。用紙の種類によっては［標準］と変わらないことがあります。
パケット通信設定	自動	プリンタのパケット通信設定が［自動］のときに選択します。
	オフ	プリンタのパケット通信設定が［オフ］のときに選択します。

［パケット通信設定］は、通常、変更する必要はありません。プリンタのパケット通信設定を変更したときのみ、その設定と合わせてください。設定が異なると、正常に印刷されないことがあります。

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。

使用頻度の高い用紙サイズはあらかじめ定義されています。ユーザー定義サイズとして用紙登録する前に、適合する用紙サイズがないことをご確認ください。

Windows XP(64bit)/Vista/7/8 の場合

1 **プリンタドライバの［ユーザー定義用紙］画面で用紙情報を入力します。**

用紙名	登録したい用紙の名称を入力します。31 文字まで入力できます。 プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙名やすでにユーザー定義用紙として登録済みの用紙名は登録できません。
単位	［用紙サイズ］、［余白］の値の単位を選択します。
用紙サイズ	［用紙］の表示欄で選択されている用紙の大きさが表示されます。新しく登録したい用紙の大きさを設定します。 入力できる範囲は2.54cm（1.00inch）から、本製品で印刷できる最大用紙サイズまでです。
余白	［用紙］の表示欄で選択されている用紙の余白が表示されます。新しく登録したい用紙の余白を設定します。 ［右余白］と［左余白］の合計が用紙の幅未満になるように設定します。 ［上余白］と［下余白］の合計が用紙の高さ未満になるように設定します。

2 **［用紙の保存］をクリックします。**

3 **［OK］をクリックします。**

任意の用紙サイズが登録され、以降は［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

Windows 2000/XP(32bit) の場合

1 **［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダの本製品のアイコンをクリックしてから［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］を選択します。**

2 **［新しい用紙を作成する］をチェックしてから、用紙の情報を入力します。**

用紙名	登録したい用紙の名称を入力します。31 文字まで入力できます。 プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙名やすでにユーザー定義用紙として登録済みの用紙名は登録できません。
単位	［用紙サイズ］、［余白］の値の単位を選択します。
用紙サイズ	［用紙］の表示欄で選択されている用紙の大きさが表示されます。新しく登録したい用紙の大きさを設定します。 入力できる範囲は2.54cm（1.00inch）から、本製品で印刷できる最大用紙サイズまでです。
余白	［用紙］の表示欄で選択されている用紙の余白が表示されます。新しく登録したい用紙の余白を設定します。 ［右余白］と［左余白］の合計が用紙の幅未満になるように設定します。 ［上余白］と［下余白］の合計が用紙の高さ未満になるように設定します。

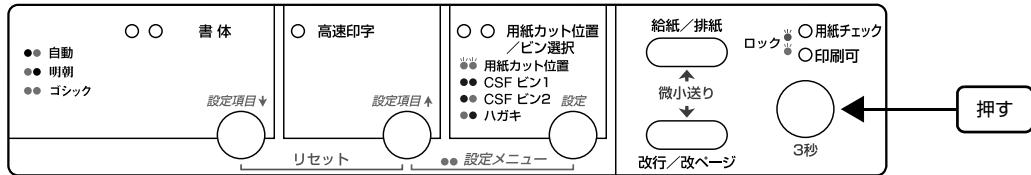
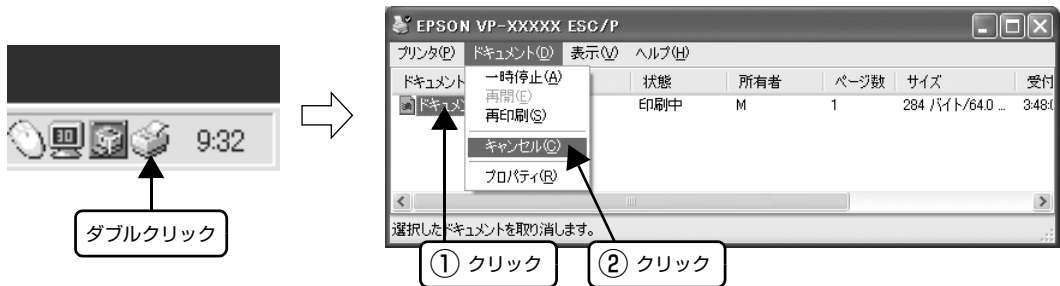
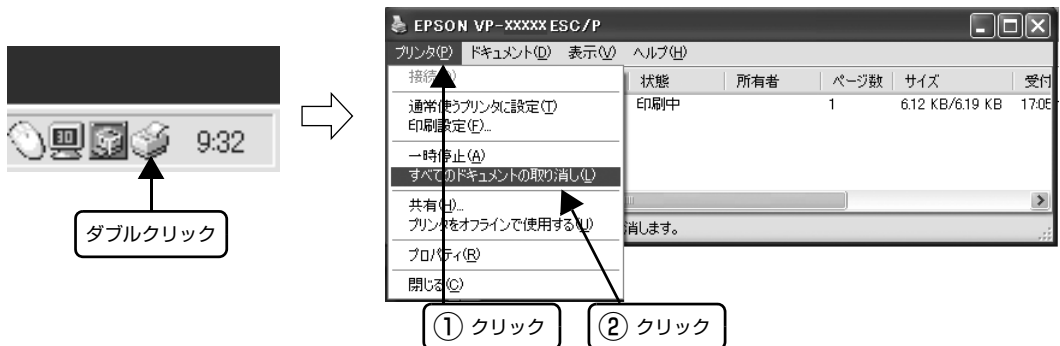
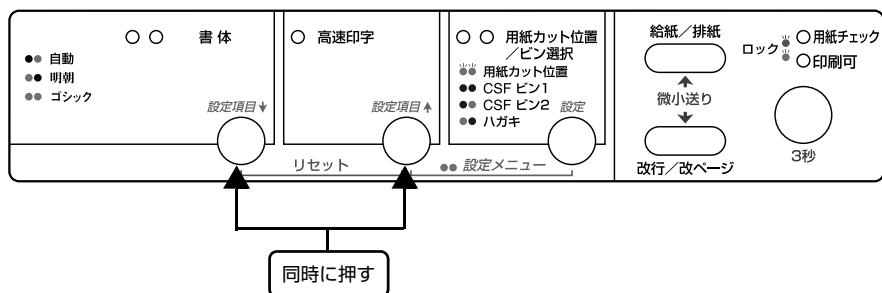
3　［OK］をクリックします。

任意の用紙サイズが登録され、以降は［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

Windows XP(64bit)/Vista/7/8 でも上記の手順でユーザー定義用紙サイズを登録できます。

印刷の中止の仕方

印刷は以下の手順で中止できます。

1 **プリンタの［印刷可］スイッチを押します。**
［印刷可］ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

参考
コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。
① 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。
② 削除する印刷データをクリックして［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

すべての印刷を中止するときは、［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックします。

2 **プリンタの電源を入れ直します。**
または［書体］スイッチと［高速印字］スイッチを同時に 2 秒以上押します（リセット）。
ブザーが鳴ったらスイッチを離してください。受信データが消去されます。

プリンタの監視（EPSON プリンタウィンドウ !3）

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で監視（確認）できるユーティリティです。通常は、プリンタドライバと同時にインストールされます。

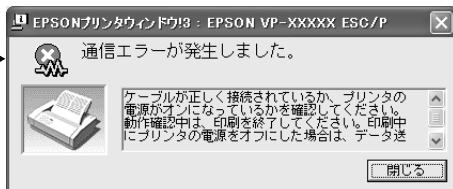
EPSON プリンタウィンドウ !3 の対象 OS は、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista です。
Windows 7 をお使いの場合は、以下を参照してください。
☞ 本書 21 ページ「プリンタの監視（EPSON ステータスモニタ）」
Windows 8 をお使いの場合は、以下を参照してください。
☞ 本書 27 ページ「プリンタの監視（EPSON ステータスモニタ 3）」

！注意 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキーなど）を、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。

プリンタの状態を表示します

［EPSON プリンタウィンドウ !3］画面

プリンタの状態をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

EPSONプリンタウィンドウ!3 : EPSON VP-XXXXX ESC/P
通信エラーが発生しました。
ケーブルが正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。動作確認中は、印刷を終了してください。印刷中にプリンタの電源をオフにした場合は、データ送
閉じる

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開きます

［ユーティリティ］画面

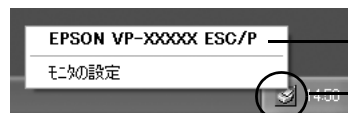
プリンタのプロパティから EPSON プリンタウィンドウ !3 を呼び出すことができます。

EPSON VP-XXXXX ESC/P のプロパティ
全般 共有 ポート 詳細設定 色の管理 ユーティリティ デバイスの設定
プリンタをモニタする(M)
EPSON プリンタウィンドウ!3(W)
用紙残量やエラーを表示します。
モニタの設定(S)...
OK キャンセル 適用(A)

プリンタのプロパティからモニタの設定画面を呼び出すことができます。

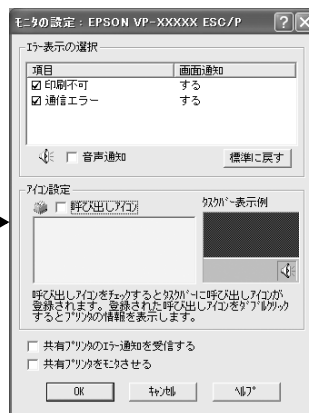
タスクバー

タスクバーの呼び出しアイコンから EPSON プリンタウィンドウ !3 を開くことができます。

EPSON VP-XXXXX ESC/P
モニタの設定

タスクバーの呼び出しアイコンから、モニタの設定画面を開くことができます。

動作環境を設定します

［モニタの設定］画面

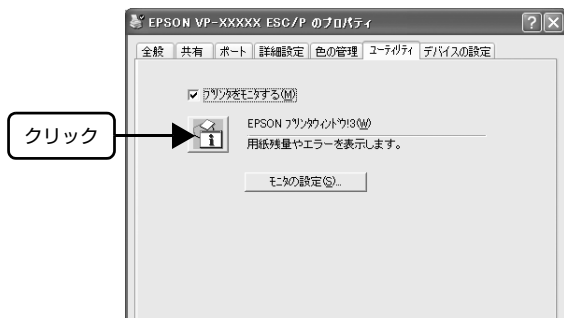
どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。

モニタの設定 : EPSON VP-XXXXX ESC/P
エラー表示の選択
項目 画面通知
印刷不可 する
通信エラー する
音声通知 標準に戻す
アイコン設定
呼び出しアイコン タスクバー表示例
呼び出しアイコンをチェックするとタスクバーに呼び出しアイコンが登録されます。登録された呼び出しアイコンをダブルクリックするとプリンタの情報を表示します。
共有プリンタのエラー通知を受信する
共有プリンタをモニタさせる
OK キャンセル ヘルプ

！注意 Windows のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。
* リモートデスクトップ機能：移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

プリンタの状態を監視するには

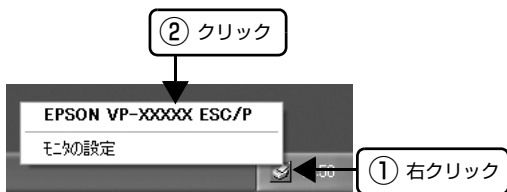
EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確認するためには、以下のいずれかの方法で EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動します。

[方法 1]

[プリンタ] フォルダで本製品のアイコンを右クリックしてプリンタのプロパティを開き、[ユーティリティ] タブの [EPSON プリンタウィンドウ !3] アイコンをクリックします。

[プリンタ]（または [プリンタと FAX]）フォルダからプロパティを開いてください。アプリケーションソフトのメニューからでは、EPSON プリンタウィンドウ !3 は起動できません。

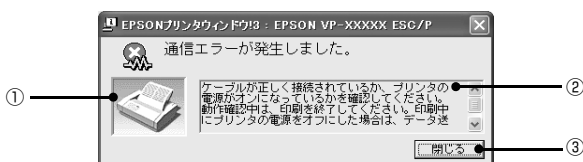
[方法 2]

タスクバーの EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてプリンタ名をクリックします。

参考

呼び出しアイコンは、呼び出しアイコンの設定をすることでタスクバーに表示されるようになります。初期設定では表示されません。

本書 19 ページ 「モニタ（監視）の設定」

[EPSON プリンタウィンドウ !3] 画面

プリンタの状態を表示します。

①プリンタ
プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ
プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生したときにその状況と解決策をメッセージで知らせます。

③[閉じる]
ウィンドウを閉じます。

監視プリンタの設定

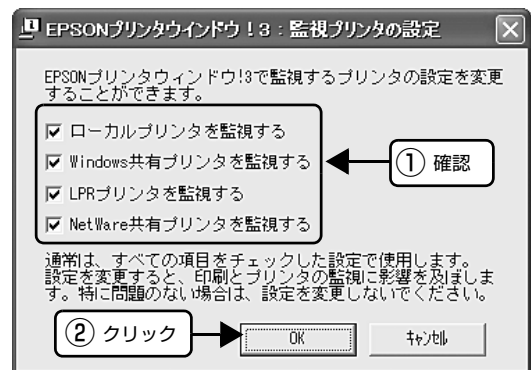
[監視プリンタの設定] ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみお使いください。

参考

Windows XP (64bit)/Vista に、この機能はありません。

1 監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。

[スタート] - [プログラム]（または [すべてのプログラム]）- [EPSON] の順にカーソルを合わせてから、[監視プリンタの設定] をクリックします。

2 監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外し、[OK] をクリックして、画面を閉じます。

3 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名をクリックして、[OK] をクリックします。

この後は画面の指示に従ってください。

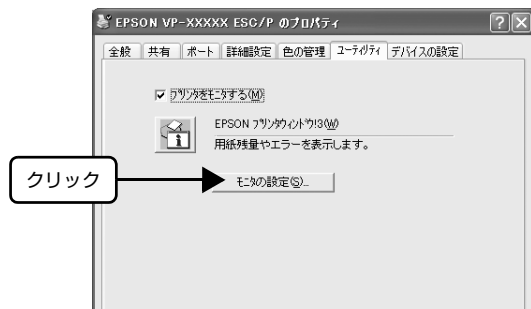
以上で設定は終了です。

モニタ(監視)の設定

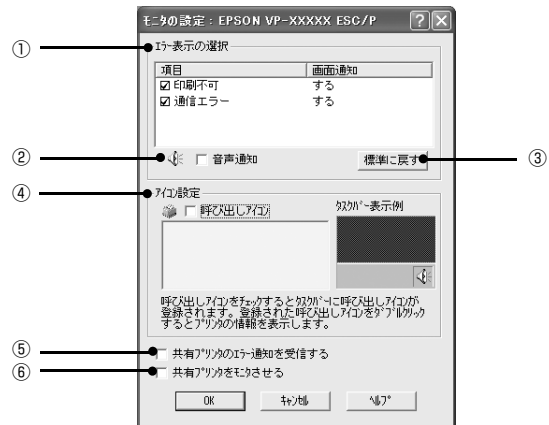
EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタを監視するかなどを設定できます。
以下のいずれかの方法で［モニタの設定］画面を開いて、各項目を設定してください。

[方法 1]

［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダからプリンタのプロパティを開き、[ユーティリティ] タブの［モニタの設定］をクリックします。

[方法 2]

タスクバーのEPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをマウスの右ボタンでクリックして、［モニタの設定］をクリックします。

呼び出しアイコンは、呼び出しアイコンの設定をすることでタスクバーに表示されるようになります。初期設定では表示されません。次項を参照して設定してください。

[モニタの設定]画面

①エラー表示の選択

どのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。チェックを付けたエラーが発生すると、ポップアップウィンドウが現れ対処方法が表示されます。

②音声通知

チェックを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③標準に戻す

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④アイコン設定

[呼び出しアイコン]をクリックしてチェックを付けると、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると［モニタの設定］画面および［EPSON プリンタウィンドウ !3］画面を開くことができます。

⑤共有プリンタのエラー通知を受信する

ネットワーク上のほかのコンピュータにローカル接続された共有プリンタを利用している場合に、エラーを通知するかどうか選択できます。

⑥共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせるかどうか選択できます。
本書 35 ページ「クライアントの設定」

［共有プリンタをモニタさせる］の設定は、管理者権限のあるユーザー（Administrator）で設定してください。

Windows Vista で［共有プリンタをモニタさせる］の設定を変更するときは、以下の手順で［モニタの設定］画面を開き、変更してください。

1 **［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。**

2 **［プリンタ］で本製品のアイコンを右クリックし、［管理者として実行］-［プロパティ］の順にクリックします。**

3 **プログラムの実行を許可する確認画面で［続行］をクリックします。**

4 **［ユーティリティ］タブをクリックし、［モニタの設定］をクリックします。**

1 台のコンピュータに複数ユーザーが同時にログインしている環境で、プリンタの監視が同時に行われたとき、通信エラーメッセージが表示されることがあります。

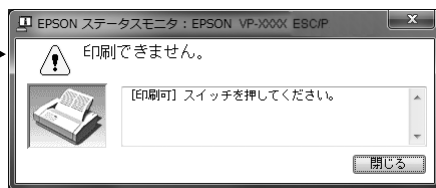
プリンタの監視（EPSON ステータスモニタ）

EPSON ステータスモニタは、プリンタの状態をコンピュータ上で監視（確認）できるユーティリティです。本製品に同梱されている CD-ROM からインストールしてください。

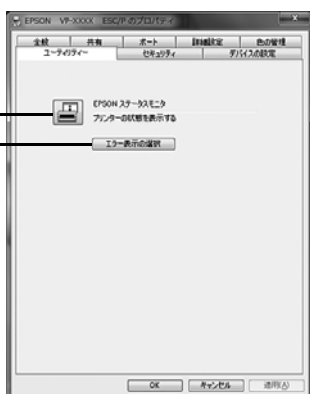
EPSON ステータスモニタの対象 OS は、Windows 7 です。
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista をお使いの場合は、以下を参照してください。
本書 17 ページ 「プリンタの監視（EPSON プリンタウィンドウ !3)」
Windows 8 をお使いの場合は、以下を参照してください。
本書 27 ページ 「プリンタの監視（EPSON ステータスモニタ 3)」

プリンタの状態を表示します

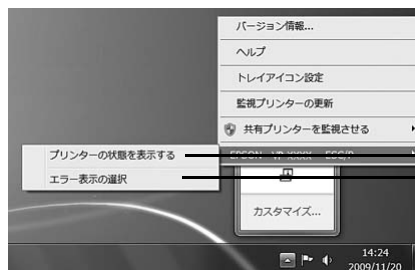
［EPSON ステータスモニタ］画面

プリンタの状態をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

EPSON ステータスモニタ の画面を開きます

［ユーティリティ］画面

プリンタのプロパティから EPSON ステータスモニタを呼び出すことができます。

プリンタのプロパティからエラー表示の選択画面を呼び出すことができます。

トレイアイコン

トレイアイコンから EPSON ステータスモニタを開くことができます。

トレイアイコンからエラー表示の選択画面を開くことができます。

動作環境を設定します

［エラー表示の選択］画面

どのような状態のときに画面通知するかなど、EPSON ステータスモニタの動作環境を設定することができます。

！注意

Windows のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* リモートデスクトップ機能：移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

監視プリンタの更新

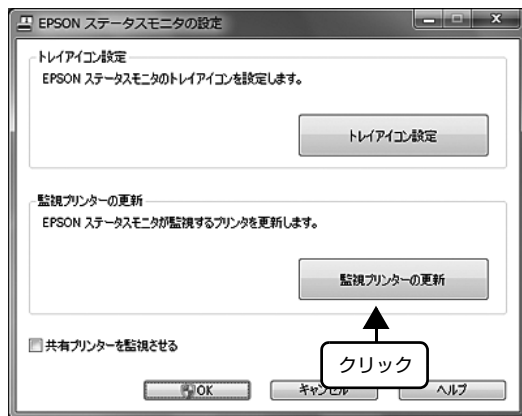
EPSON ステータスモニタで監視するプリンタは、いつでも追加したり削除したりすることができます。

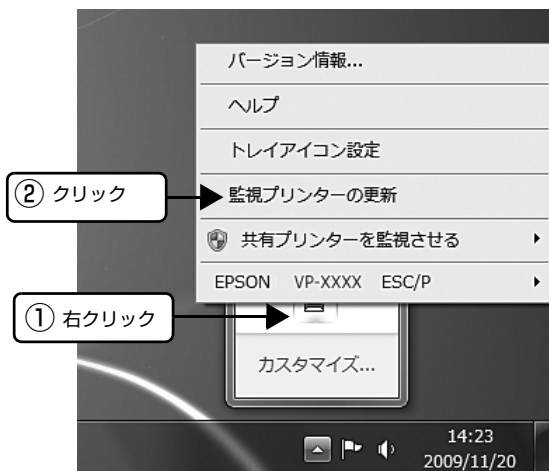
- 管理者権限のあるユーザー（Administrator）で設定してください。
- EPSON　ステータスモニタを複数のユーザーで使用している場合は、各ユーザーで設定が必要です。

1 **以下のいずれかの方法で、［監視プリンタの更新］画面を開きます。**

［方法 1］

① ［スタート］－［全てのプログラム］－［EPSON］－［Status Monitor for Impact Dot Matrix Printer］－［EPSON Status Monitor Settings］の順にクリックします。

② ［EPSON　ステータスモニタの設定］画面の［監視プリンタの更新］をクリックします。

［方法 2］

トレイアイコンを右クリックし、［監視プリンタの更新］をクリックします。

2 **監視するプリンタを選択して［OK］をクリックします。**

［すべてを選択する］にチェックを付けると、表示されているすべてのプリンタを選択できます。

監視させたくないプリンタがある場合は、選択を解除して［OK］をクリックします。

以上で終了です。

これで選択したプリンタの監視ができるようになります。

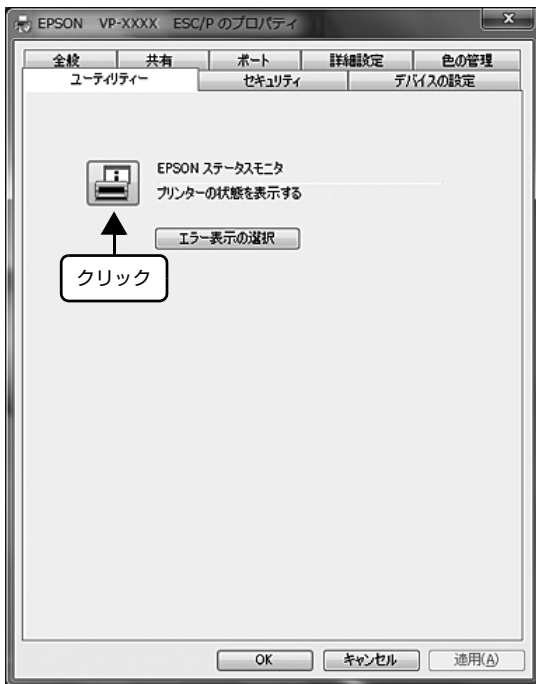
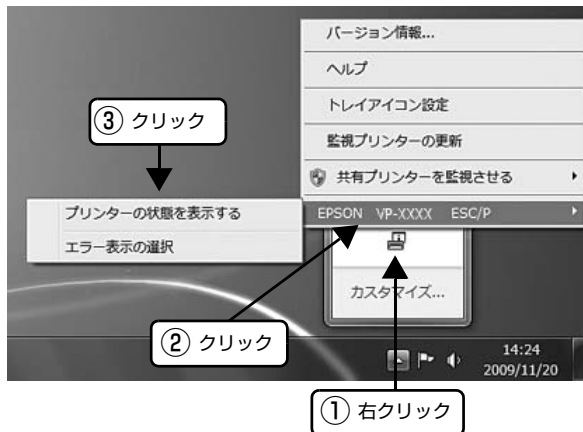
プリンタの状態を監視するには

プリンタの状態を確認するためには、以下のいずれかの方法で EPSON ステータスモニタを起動します。

[方法 1]

1. ［スタート］－［デバイスとプリンタ］の順にクリックし、監視したいプリンタのアイコンを右クリックして［プリンタのプロパティ］をクリックします。

2. ［ユーティリティ］タブの［EPSON ステータスモニタ］をクリックします。

[方法 2]

トレイアイコンを右クリックして、監視したいプリンタ名をクリックし、［プリンタの状態を表示する］をクリックします。

[方法 3]

トレイアイコンで表示するプリンタを設定してある場合は、以下の方法で起動することができます。

本書 25 ページ 「トレイアイコンの設定」

トレイアイコンをダブルクリックします。

次にEPSONステータスモニタの監視条件を設定します。

監視プリンタの設定

EPSON ステータスモニタの機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、ネットワーク上の共有プリンタを監視させるかなどを設定できます。

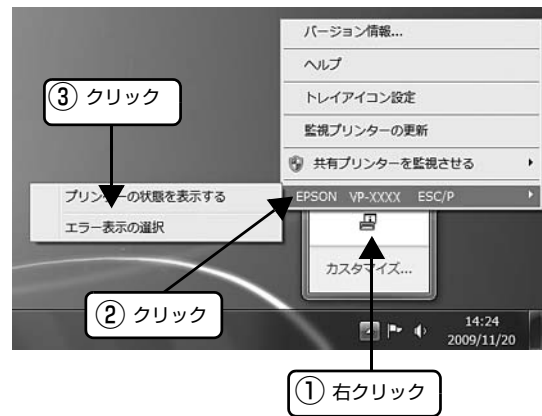
エラー表示の選択

どのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。チェックを付けたエラーが発生すると、ポップアップウィンドウが現れ対処方法が表示されます。

EPSON ステータスモニタを複数のユーザーで使用している場合は、各ユーザーで設定が必要です。

1 **以下のいずれかの方法で［エラー表示の選択］画面を表示させます。**

［方法 1］
① ［スタート］－［デバイスとプリンタ］の順にクリックし、監視したいプリンタのアイコンを右クリックして［プリンタのプロパティ］をクリックします。
② ［ユーティリティ］タブの［エラー表示の選択］をクリックします。

［方法 2］
トレイアイコンを右クリックして、設定したいプリンタ名をクリックし、［エラー表示の選択］をクリックします。

2 **エラー表示させたい項目にチェックをし、［OK］をクリックします。**

［標準に戻す］をクリックすると、初期設定に戻すことができます。

共有プリンタを監視させる

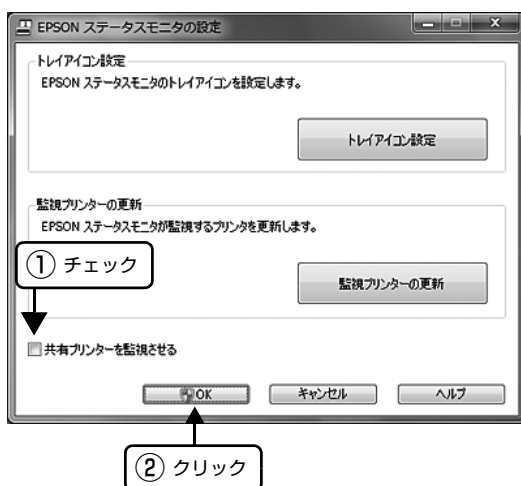
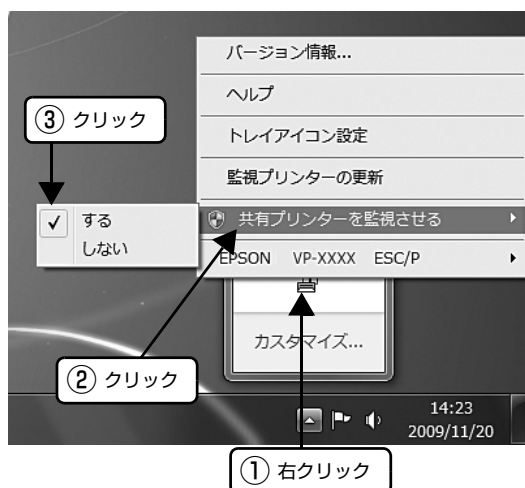
ネットワーク上のほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタを監視させるかどうか選択できます。以下のいずれかの方法で設定します。

> **参考**
> - 管理者権限のあるユーザー（Administrator）で設定してください。
> - EPSON　ステータスモニタを複数のユーザーで使用している場合は、各ユーザーで設定が必要です。

［方法 1］

1 ［スタート］－［全てのプログラム］－［EPSON］－［Status Monitor for Impact Dot Matrix Printer］－［EPSON Status Monitor Settings］の順にクリックします。

2 ［EPSON ステータスモニタの設定］画面の［共有プリンタを監視させる］にチェックをし、［OK］をクリックします。

［方法 2］

トレイアイコンを右クリックして、［共有プリンタを監視させる］をクリックし、［する］をクリックします。

トレイアイコンの設定

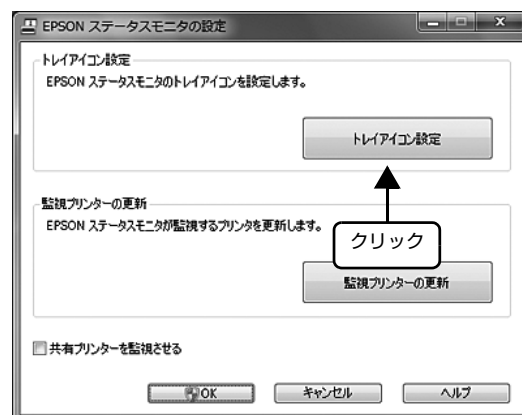
トレイアイコンをダブルクリックしたときに、どのプリンタの状態を表示するかを設定します。

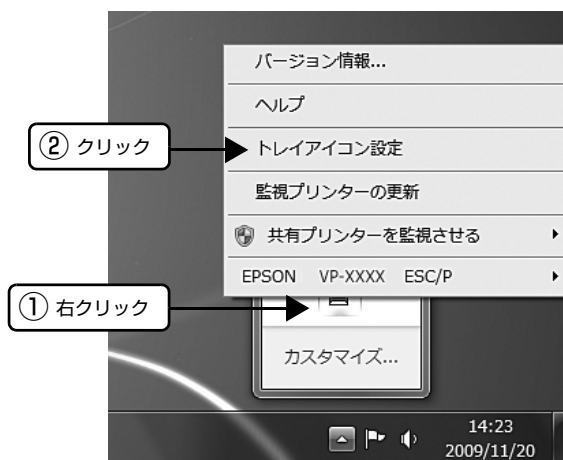
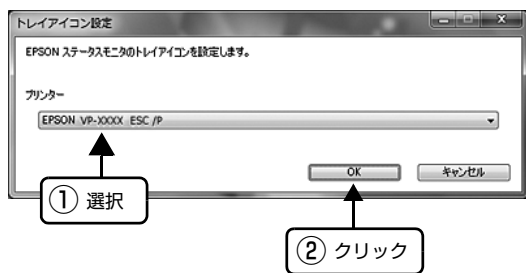
> **参考**
> - 管理者権限のあるユーザー（Administrator）で設定してください。
> - EPSON　ステータスモニタを複数のユーザーで使用している場合は、各ユーザーで設定が必要です。

1 以下のいずれかの方法で［トレイアイコン設定］画面を表示させます。

［方法 1］

① ［スタート］－［全てのプログラム］－［EPSON］－［Status Monitor for Impact Dot Matrix Printer］－［EPSON Status Monitor Settings］の順にクリックします。

② ［EPSON　ステータスモニタの設定］画面の［トレイアイコン設定］をクリックします。

［方法 2］

トレイアイコンを右クリックし、［トレイアイコン設定］をクリックします。

2 **監視するプリンタを選択し、[OK] をクリックします。**

以上で終了です。

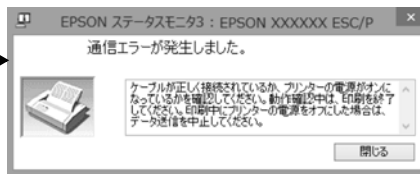
プリンタの監視(EPSON ステータスモニタ 3)

EPSON ステータスモニタ 3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で監視（確認）できるユーティリティです。通常は、プリンタドライバと同時にインストールされます。

- EPSON ステータスモニタ 3 の対象 OS は、Windows 8 です。
  Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista をお使いの場合は、以下を参照してください。
  ☞本書 17 ページ 「プリンタの監視（EPSON プリンタウィンドウ !3)」
  Windows 7 をお使いの場合は、以下を参照してください。
  ☞本書 21 ページ 「プリンタの監視（EPSON ステータスモニタ)」
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキーなど）を、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。

プリンタの状態を表示します

［EPSON ステータスモニタ 3］画面

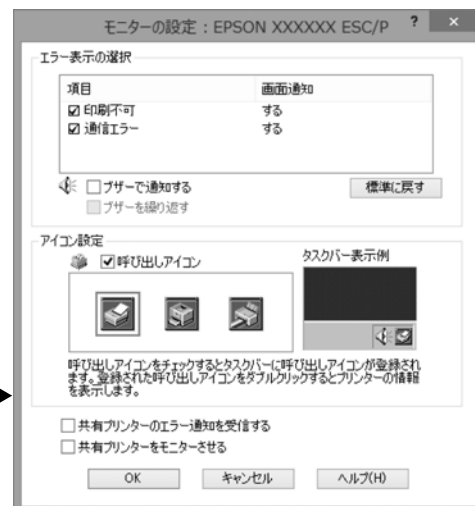
プリンタの状態をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

EPSON ステータスモニタ 3 の画面を開きます

［ユーティリティ］画面

プリンタの［プリンタのプロパティ］から EPSON ステータスモニタ 3 を呼び出すことができます。

タスクバー

タスクバーの呼び出しアイコンから EPSON ステータスモニタ 3 を開くことができます。

タスクバーの呼び出しアイコンから、モニタの設定画面を開くことができます。

プリンタの［プリンタのプロパティ］からモニタの設定画面を呼び出すことができます。

動作環境を設定します

［モニタの設定］画面

どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON ステータスモニタ 3 の動作環境を設定することができます。

!注意

Windows のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタ 3 がインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* リモートデスクトップ機能：移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

プリンタの状態を監視するには

EPSON ステータスモニタ 3 でプリンタの状態を確認するためには、以下のいずれかの方法で EPSON ステータスモニタ 3 を起動します。

[方法 1]

1. Windows 8 の[スタート]画面の[デスクトップ]をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、[設定] - [コントロールパネル]の順にクリックし、[ハードウェアとサウンド]の[デバイスとプリンタの表示]をクリックします。

2. 本製品のアイコンを右クリックして[プリンタのプロパティ]をクリックします。

3. [ユーティリティ]タブの[EPSON ステータスモニタ 3]アイコンをクリックします。

参考

アプリケーションソフトのメニューからでは、EPSON ステータスモニタ 3 は起動できません。

[方法 2]

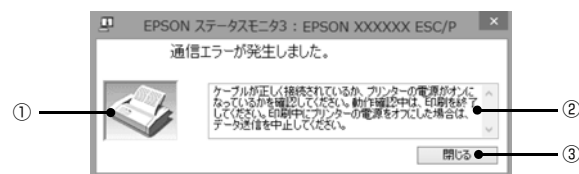
タスクバーの EPSON ステータスモニタ 3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてプリンタ名をクリックします。

参考

呼び出しアイコンは、呼び出しアイコンの設定をすることでタスクバーに表示されるようになります。初期設定では表示されません。

本書 30 ページ「モニタ(監視)の設定」

[EPSON ステータスモニタ 3]画面

プリンタの状態を表示します。

①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生したときにその状況と解決策をメッセージで知らせます。

③[閉じる]

ウィンドウを閉じます。

モニタ(監視)の設定

EPSONステータスモニタ3のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面表示するか、ブザー音通知するか、共有プリンタを監視するかなどを設定できます。
以下のいずれかの方法で［モニタの設定］画面を開いて、各項目を設定してください。

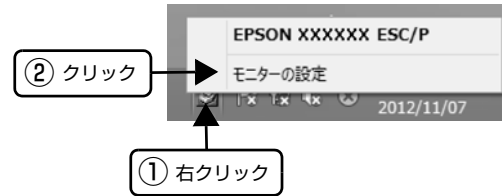
［方法 1］

1 Windows 8の［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンタの表示］をクリックします。

2 本製品のアイコンを右クリックして［プリンタのプロパティ］をクリックします。

3 ［ユーティリティ］タブの［モニタの設定］をクリックします。

［方法 2］

タスクバーのEPSONステータスモニタ3の呼び出しアイコンをマウスの右ボタンでクリックして、［モニタの設定］をクリックします。

> **参考**
> 呼び出しアイコンは、呼び出しアイコンの設定をすることでタスクバーに表示されるようになります。初期設定では表示されません。次項を参照して設定してください。

［モニタの設定］画面

①エラー表示の選択

どのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。チェックを付けたエラーが発生すると、ポップアップウィンドウが現れ対処方法が表示されます。

②ブザーで通知する

チェックを付けると、エラー発生時にブザー音でも通知します。

> **参考**
> お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、ブザー音通知機能は使用できません。

③ブザーを繰り返す

チェックをつけると、エラー発生時にブザー音を繰り返します。

④［標準に戻す］

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

⑤アイコン設定

[呼び出しアイコン]をクリックしてチェックを付けると、EPSON ステータスモニタ 3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

参考

タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると［モニタの設定］画面および［EPSON ステータスモニタ 3］画面を開くことができます。

⑥共有プリンタのエラー通知を受信する

ネットワーク上のほかのコンピュータにローカル接続された共有プリンタを利用している場合に、エラーを通知するかどうか選択できます。

⑦共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせるかどうか選択できます。

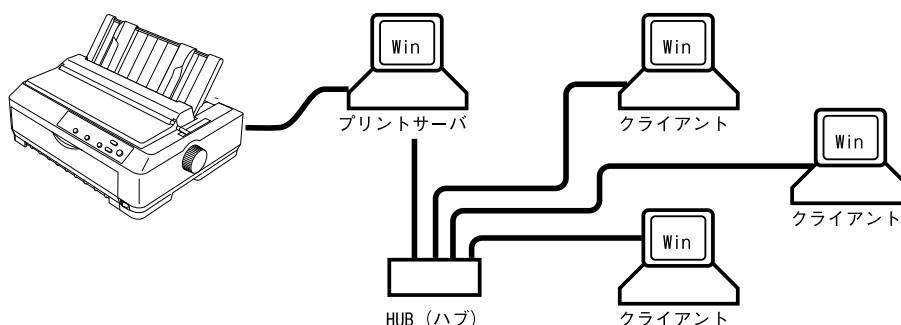
☞ 本書 35 ページ 「クライアントの設定」

- ［共有プリンタをモニタさせる］の設定は、管理者権限のあるユーザー（Administrator）で設定してください。
- 1台のコンピュータに複数ユーザーが同時にログインしている環境で、プリンタの監視が同時に行われたとき、通信エラーメッセージが表示されることがあります。

［共有プリンタをモニタさせる］の設定を変更すると、［ユーザー制御アカウント］画面が表示されます。［はい］をクリックします。

プリンタの共有

Windows の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windows の標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。

プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

Windows のバージョンとアクセス権によって、ネットワークプリンタの設定方法（プリンタドライバのインストール方法）が異なります。

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定方法を説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。

本書 33 ページ 「プリントサーバの設定」

クライアントの設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 35 ページ 「クライアントの設定」

- プリンタ共有の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントとなるコンピュータが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。
- 共有プリンタに印刷を実行して通信エラーが発生する場合は、[ユーティリティ] 画面で [プリンタをモニタする] のチェックを外します。この場合、EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 は使用できません。

プリントサーバの設定

プリンタを共有させるための設定をプリントサーバ側で行います。

1 **Windows の［スタート］メニュー/［スタート］画面から［プリンタと FAX］/［プリンタ］/［デバイスとプリンタ］を開きます。**

Windows 8：

［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンタの表示］をクリックします。

Windows 7：

［スタート］-［デバイスとプリンタ］の順にクリックします。

Windows Vista：

［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP：

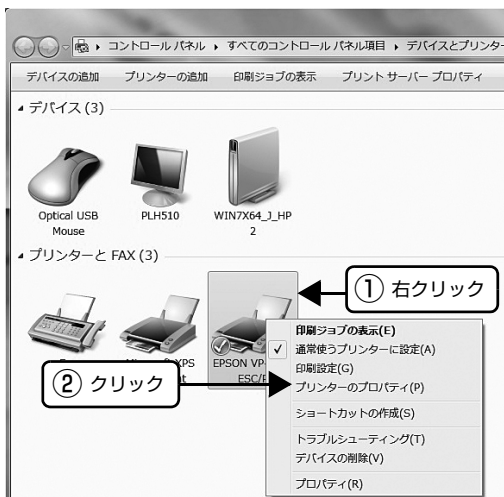
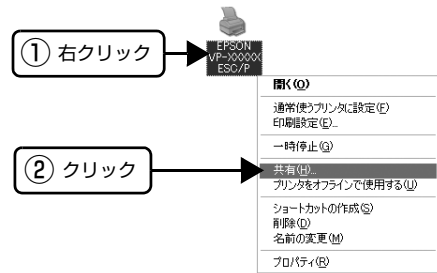
Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

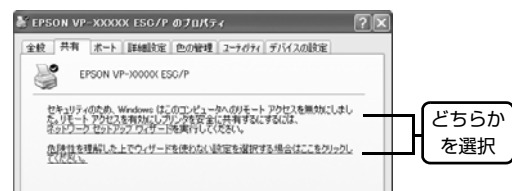
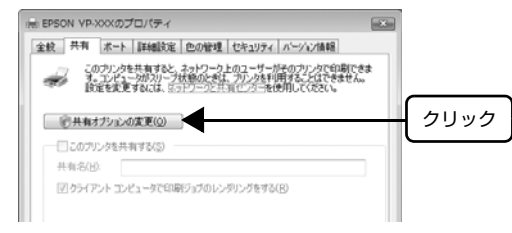
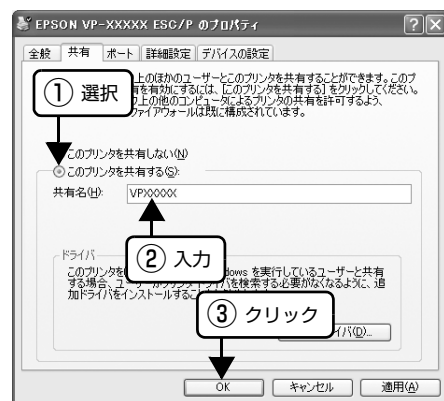
Windows 2000：

［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **本製品のアイコンを右クリックして［共有］をクリックします。**

Windows 7/8：

本製品のアイコンを右クリックして、［プリンタのプロパティ］をクリックし、［共有］タブをクリックします。

Windows 2000/XP/Vista：

参考

- Windows XP で以下の画面が表示されたら、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。

- Windows Vista/7/8 では、［共有］タブの［共有オプションの変更］をクリックし、［共有名］を入力できるようにしてください。

3 **［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択し、［共有名］を入力し、［OK］をクリックします。**

参考

- Windows Vista/7/8 では、管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインし、プリンタ共有を設定してください。
- 共有名に□（スペース）や－（ハイフン）を使用するとエラーの原因になります。
- ［ほかのバージョンの Windows のドライバ］/［ドライバ］で追加ドライバの設定をしないでください。サーバとクライアントの OS およびアーキテクチャが異なる場合は、追加ドライバをインストールできません。

参考

Windows ファイアウォールを有効にした状態で、ファイルとプリンタの共有を行う場合は、以下の設定を行ってください。

Windows 8:

1 ［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
2 左側のウィンドウの［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックして、［許可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての着信接続をブロックする］のチェックが外れていることを確認して、［OK］をクリックします。
3 左側のウィンドウの［Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可］をクリックします。［ファイルとプリンタの共有］にチェックして［OK］をクリックします。

Windows 7:

1 ［スタート］-［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［Windows ファイアウォール］をクリックします。
2 左側のウィンドウの［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックして、［許可されたプログラムの一覧にあるプログラムも含め、すべての着信接続をブロックする］のチェックが外れていることを確認して、［OK］をクリックします。
3 左側のウィンドウの［Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する］をクリックします。［ファイルとプリンタの共有］にチェックして［OK］をクリックします。

Windows Vista:

1 ［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。
2 ［セキュリティ］をクリックし、［Windows ファイアウォール］をクリックして、［Windows ファイアウォール］画面を開きます。
3 ［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックします。［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので［続行］をクリックします。
4 ［全般］タブの［すべての着信接続をブロックする］のチェックが外れていることを確認します。
5 ［例外］タブをクリックし、［ファイルとプリンタの共有］にチェックして、［OK］をクリックします。

Windows XP:

1 ［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。
2 ［セキュリティセンター］をクリックします。
3 ［Windows ファイアウォール］をクリックして、［Windows ファイアウォール］画面を開きます。
4 ［全般］タブの［例外を許可しない］のチェックが外れていることを確認します。
5 ［例外］タブをクリックし、［ファイルとプリンタの共有］にチェックして、［OK］をクリックします。

以上で終了です。次にクライアント側の設定をします。

本書 35 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

サーバ側の設定が終了したら、続いてクライアント側の設定を行います。お使いの OS によって作業が異なります。

> **! 注意**
> クライアントにプリンタドライバがインストールされていないときは、プリンタドライバをインストールしてから設定してください。

> **参考**
> 管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログインする必要があります。

クライアントにインストールされているプリンタドライバのプロパティからプリンタの接続先をサーバのプリンタに変更します。「印刷するポート」でネットワーク上のパスを指定したポートを追加し、そのポートに変更します。

1 Windows の [スタート] メニュー/ [スタート] 画面から［プリンタと FAX］/［プリンタ］/［デバイスとプリンタ］を開きます。

Windows 8：
［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンタの表示］をクリックします。

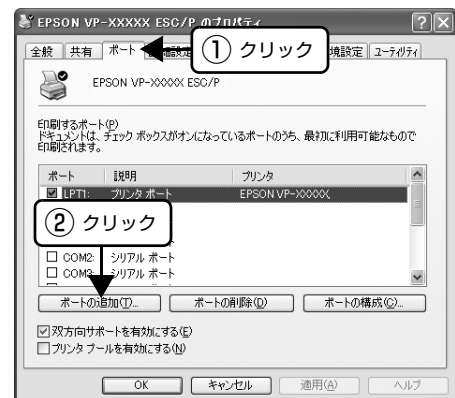
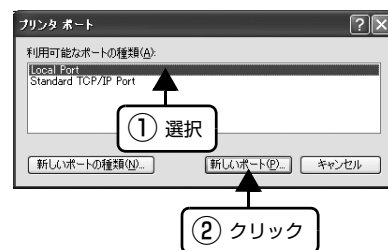
Windows 7：
［スタート］-［デバイスとプリンタ］の順にクリックします。

Windows Vista：
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP：
Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

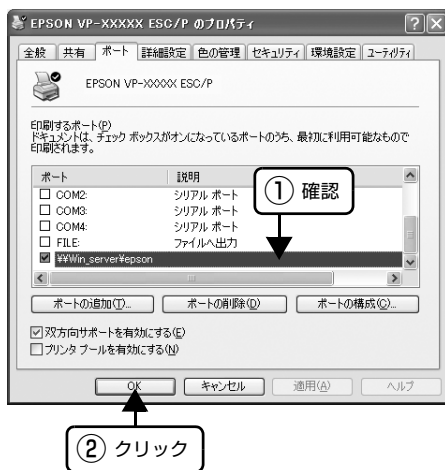
Windows 2000：
［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 設定を変更するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］（Windows 2000/XP/Vista）または［プリンタのプロパティ］（Windows 7/8）をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］をクリックします。

4 ［プリンタポート］画面が表示されたら、[Local Port］を選択して［新しいポート］をクリックします。

5 ポート名を以下のように入力して［OK］をクリックします。
¥¥目的のプリンタが接続されたコンピュータ名¥共有プリンタ名

<例>

6 ［プリンタポート］画面に戻りますので、［閉じる］をクリックします。

7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］をクリックします。

プリンタ接続先の設定

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。コンピュータにローカル接続している場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更したときは、必ず各機能の設定を確認してください。

1 **Windows の［スタート］メニュー/［スタート］画面から［プリンタと FAX］/［プリンタ］/［デバイスとプリンタ］を開きます。**

Windows 8：

［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンタの表示］をクリックします。

Windows 7：

［スタート］-［デバイスとプリンタ］の順にクリックします。

Windows Vista：

［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP：

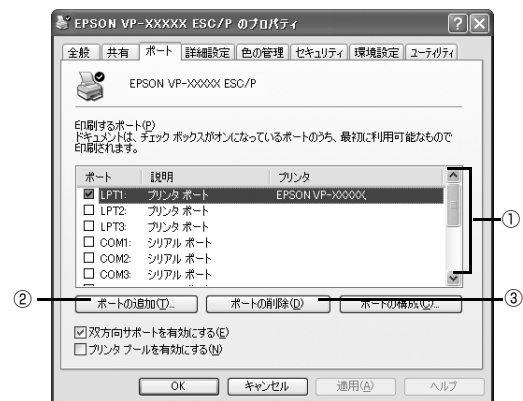
Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows 2000：

［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **設定を変更するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］（Windows 2000/XP/Vista）または［プリンタのプロパティ］（Windows 7/8）をクリックします。**

3 **［ポート］タブをクリックして設定を変更します。**

変更後、［OK］をクリックすると設定は終了です。

ここで説明する以外の項目については、通常設定変更の必要はありません。

① 印刷するポート

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。表示されるポートの種類は、ご利用のコンピュータによって異なります。パラレルインターフェイスケーブルをコンピュータのポートに接続した場合は、LPT1 の設定でご使用ください。

LPT	通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の LPT1 を選択します。
COM	シリアルポートに接続している場合に選択します。このポートに接続する場合は、シリアルポートの通信設定とプリンタの通信設定を合わせる必要があります。
USBx	USB ポートです。USB ケーブルで接続した場合に選択します。（最後の x には数字が表示されます。）
FILE	印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。
¥¥サーバ名¥プリンタ名など	ネットワーク上のパスを指定したポートです。パスによって指定されたネットワークプリンタに出力します。 ②［ポートの追加］から新しく登録することができます。

②[ポートの追加]

新しいポートを追加したり、新しいネットワークプリンタを指定したりするときにクリックします。
新しいネットワークパスの登録は以下の手順で行います。

1 [ポートの追加]をクリックします。

2 [プリンタポート]画面が表示されたら、[Local Port]を選択して[新しいポート]をクリックします。

3 ポート名を以下のように入力して[OK]をクリックします。

¥¥目的のプリンタを接続しているコンピュータ名¥共有プリンタ名

4 [プリンタポート]画面に戻りますので[閉じる]をクリックします。

③ [ポートの削除]

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

これでプリンタ接続先の変更は終了です。

ソフトウェアの再インストール

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

管理者権限のあるユーザーでログインし、ソフトウェアを削除してください。

プリンタソフトウェアの削除

プリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ 3 の削除

参考

- EPSON プリンタウィンドウ !3 の対象 OS は、Windows 2000/XP/Vista です。
- EPSON ステータスモニタ3の対象OSは、Windows 8です。
- EPSONプリンタウィンドウ!3/EPSON ステータスモニタ 3 を複数のユーザーで使用している環境で、EPSON プリンタウィンドウ!3/EPSON ステータスモニタ３を削除する場合は、すべてのユーザー環境において［呼び出しアイコン］の設定をオフ（チェックなし）にしてから削除してください。
  本書 19 ページ 「モニタ（監視）の設定」
  本書 30 ページ 「モニタ（監視）の設定」

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニュー/［スタート］画面から［コントロールパネル］を開きます。**

Windows 8：
［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

Windows XP/Vista：
［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 **［プログラムのアンインストール］/［プログラムの追加と削除］/［アプリケーションの追加と削除］を開きます。**

Windows Vista/8：
［プログラムのアンインストール］をクリックします。

Windows XP：
［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 2000：
［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

4 削除するソフトウェアを選択して［アンインストールと変更］/［変更と削除］（または［追加と削除］）をクリックします。

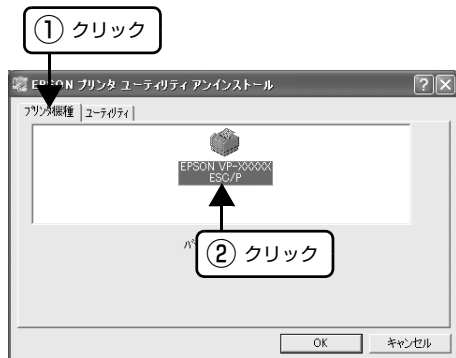
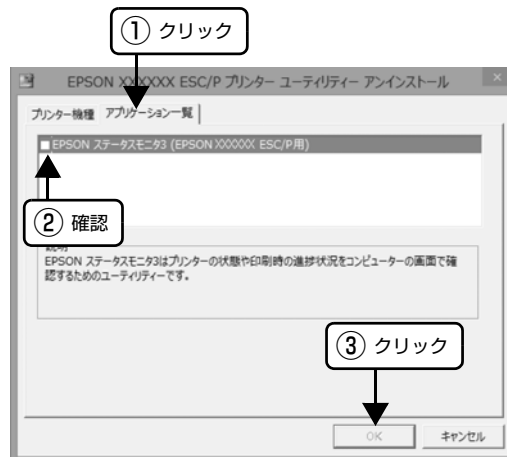
Windows Vista/8：

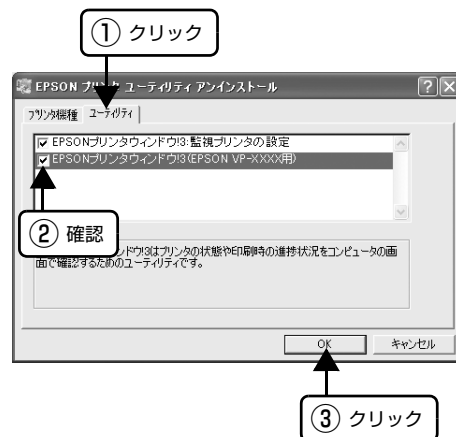
［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］/［EPSON ステータスモニタ 3（EPSON VP-xxxx ESC/P プリンタユーティリティ）］-［アンインストールと変更］の順にクリックします。

Windows 2000/XP：

［プログラムの変更と削除］-［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］-［変更 / 削除］の順にクリックします。

<例> Windows XP の場合

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、削除するプリンタのアイコンを選択します。

6 ［ユーティリティ］/［アプリケーション一覧］タブをクリックし、[EPSON プリンタウィンドウ !3（VP-xxxx 用）］または［EPSON ステータスモニタ 3(EPSON VP-xxxx ESC/P 用)］にチェックが付いていることを確認して［OK］をクリックします。

Windows 8：

Windows 2000/XP/Vista：

7 画面の指示に従って作業を進めます。

8 終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

以上でプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ 3 の削除（アンインストール）は終了です。

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ 3 のみの削除

- EPSON プリンタウィンドウ !3 の対象 OS は、Windows 2000/XP/Vista です。
- EPSON ステータスモニタ3の対象OSは、Windows 8です。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の [スタート] メニュー/ [スタート] 画面から［コントロールパネル］を開きます。**

Windows 8：

［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

Windows XP/Vista：

［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

Windows 2000：

［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 **［プログラムのアンインストール］/［プログラムの追加と削除］/［アプリケーションの追加と削除］を開きます。**

Windows Vista/8：

［プログラムのアンインストール］をクリックします。

Windows XP：

［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows 2000：

［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

4 **削除するソフトウェアを選択して［アンインストールと変更］/［変更と削除］（または［追加と削除］）をクリックします。**

Windows Vista/8：

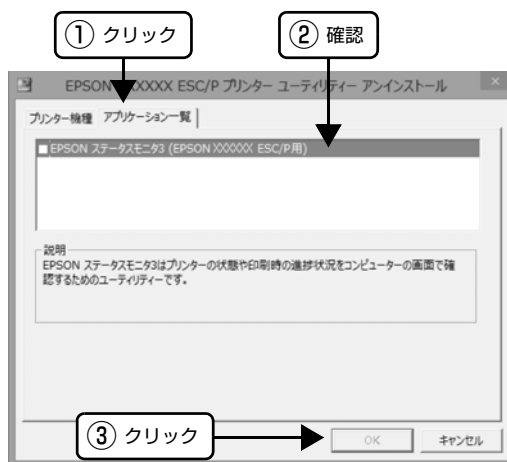
［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］/［EPSON ステータスモニタ 3（EPSON VP-xxxx ESC/P プリンタユーティリティ）］-［アンインストールと変更］の順にクリックします。

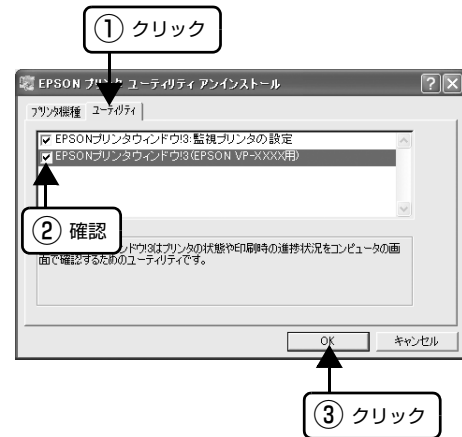
Windows 2000/XP：

［プログラムの変更と削除］-［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］-［変更 / 削除］の順にクリックします。

<例> Windows XP の場合

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。

6 ［ユーティリティ］/［アプリケーション一覧］タブをクリックし、［EPSON プリンタウィンドウ !3（VP-xxxx 用）］または［EPSON ステータスモニタ 3(EPSON VP-xxxx ESC/P 用)］にチェックが付いていることを確認して［OK］をクリックします。

Windows 8：

Windows 2000/XP/Vista：

7 画面の指示に従って作業を進めます。

8 終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

以上で EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ 3 の削除（アンインストール）は終了です。

プリンタソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

EPSON ステータスモニタの削除

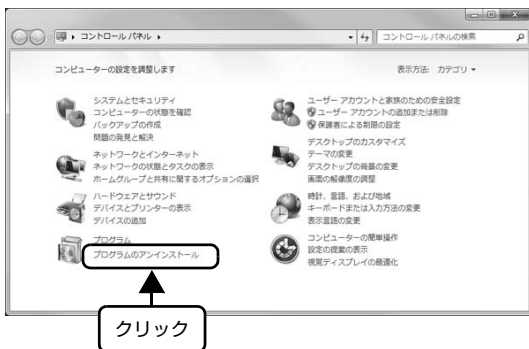
EPSON ステータスモニタの対象 OS は、Windows 7 です。

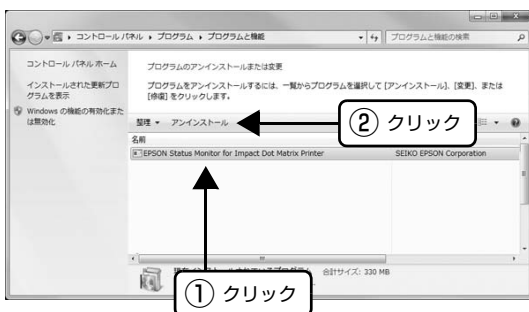
1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**

Windows 7：
［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 **［プログラムのアンインストール］を開きます。**

Windows 7：
［プログラムのアンインストール］をクリックします。

4 **削除するソフトウェアを選択して［アンインストール］をクリックします。**

Windows 7：
［EPSON Status Monitor for Impact Dot Matrix Printer］-［アンインストール］の順にクリックします。

5 **画面の指示に従って作業を進めます。**

6 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。**

以上で EPSON ステータスモニタの削除（アンインストール）は終了です。

プリンタソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

最新プリンタドライバの入手方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバは、エプソンのホームページからダウンロードできます。

【サービス名】 ダウンロードサービス
【アドレス】 http://www.epson.jp/

ダウンロードしたプリンタドライバは圧縮ファイルになっています。以下の手順でファイルを解凍してからインストールしてください。

インストール手順

1. **旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）します。**
   本書 39 ページ「プリンタソフトウェアの削除」

2. **新しいプリンタドライバをハードディスク内のディレクトリへダウンロードします。**

3. **［ダウンロード方法・インストール方法］をクリックし、表示されるページを参照して、解凍とインストールを実行します。**
   画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソンのホームページへ接続した場合です。

以上で終了です。

印刷できる用紙

本製品では一般的な連続紙や単票紙のほかに、複写紙、ハガキ、ラベル紙などの用紙も使用できます。印刷できる用紙仕様を詳しく説明します。また、使用できない用紙の説明もしています。

連続紙（連続複写紙）

連続紙はプッシュトラクタでプリンタ前面、後方から給紙するか、プルトラクタでプリンタの前面、後方、底面から給紙します。以下の仕様の用紙をお使いください。

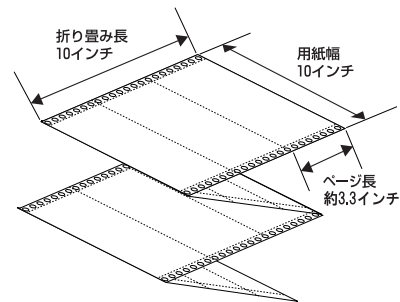
項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙 （オリジナル＋4枚まで）
用紙幅	101.6 ～ 254.0mm（4.0 ～ 10.0 インチ）	
ページ長	101.6 ～ 558.8mm（4.0 ～ 22.0 インチ）*	
用紙厚	0.065 ～ 0.1mm	0.12 ～ 0.39mm
用紙連量	45 ～ 70kg （坪量 52 ～ 81.3g/m^2）	34 ～ 50kg （坪量 40 ～ 58g/m^2） （1 枚当たり）

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。
* : 折り畳み長は 101.6mm（4.0 インチ）以上です。

！注 意

- 再生紙は一般室温環境(温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60 %）で使用してください。
- 印字領域内に穴などの段差がないものをご使用ください。
- 用紙の表面 / 裏面ともに、染み、ピンホール、汚れ、しわ、破れ、複写紙のめくれ、反りや毛羽立ちのない連続紙を使用してください。
- 綴じ穴は、直径 5mm 以下のものをご使用ください。
- 連続紙（連続複写紙）の切り口が乱れた用紙や切り残しのある用紙は、ミシン目にそって正しく切り直してから使用してください。
- 用紙穴がピンから外れたあとの紙送り精度は保証できません。

参考

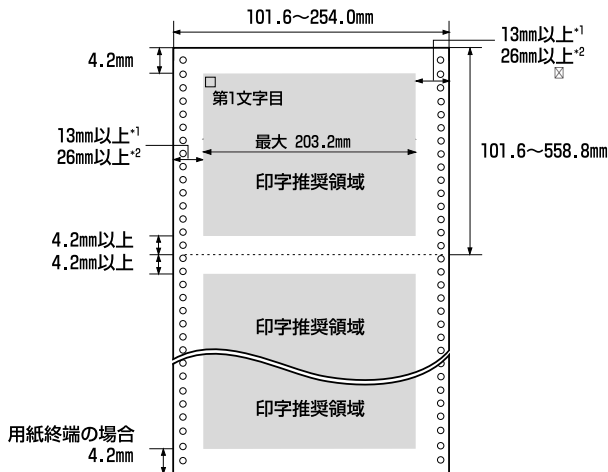
ページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）101.6mm（4インチ)未満で使用する場合、用紙の折り畳み長は 101.6mm（4 インチ）以上の用紙をお使いください。
図にはページ長約 3.3 インチ、折り畳み長 10 インチの連続紙の例を示します。Windows ドライバでは「連続紙 10 × 3 1/3inch」と表記される連続紙を選択してください。

推奨する連続複写紙の組み合わせ

構成枚数と連量（kg）は次の表のとおりです。

	1P	2P	3P	4P	5P
1 枚目	45 ～ 70	50	50	43	43
2 枚目	－	43	34	34	34
3 枚目	－	－	43	34	34
4 枚目	－	－	－	43	34
5 枚目	－	－	－	－	43

印字推奨領域

以下の領域に印刷することができます。

印字推奨領域内に印字することを推奨します。印字推奨領域外では印字されない場合があります。

*1:用紙幅が 241.3mm より大きい場合は、13mm 以上になります。

*2:用紙幅が 254mm の場合は、26mm になります。

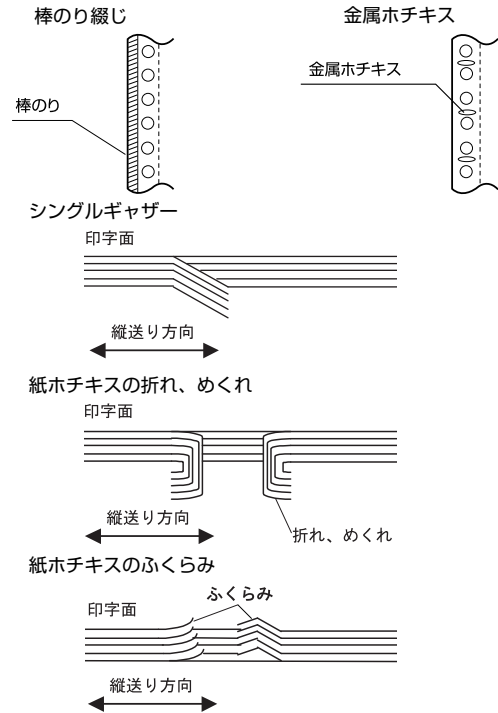
綴じ方

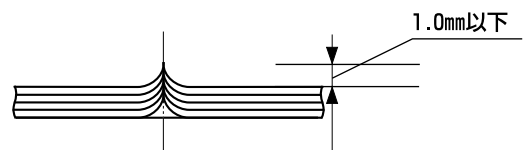
以下の綴じ方の連続紙を使用してください。両側点のり綴じ（千鳥綴じ）を推奨します。

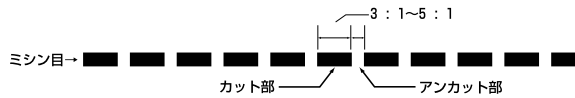
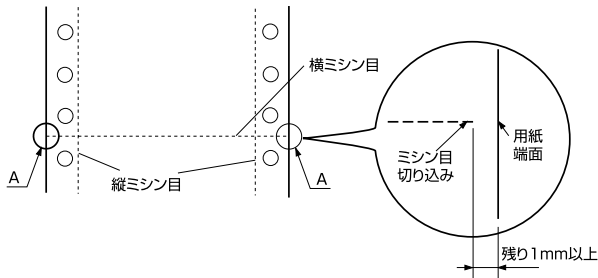
名称	綴じ方
両側点のり綴じ （千鳥綴じ）	25.4mm(1インチ)以下
両側紙ホチキス綴じ （ダブルギャザー）	76.2mm(3インチ)以下 印字面
片側点のり綴じ（千鳥） ＋片側紙ホチキス綴じ （ダブルギャザー）	25.4mm(1インチ)以下 76.2mm(3インチ)以下 印字面

!注意

次の綴じ方をしている用紙や、折れ、めくれ、印字面へのふくらみのある用紙は使用しないでください。

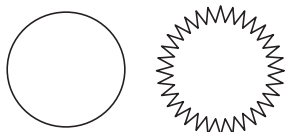
- 棒のり綴じ
- 金属ホチキス
- 紙ホチキス（シングルギャザー）
- 片側のみ綴じたもの（片側フリー）
- テープホチキス

折り畳み部分のふくらみ

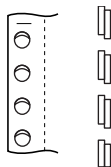
折り畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみが 1.0mm 以下のものを使用してください。

ミシン目の入れ方

- ミシン目のカット、アンカットの比率は 3:1 ～ 5:1 としてください。

- 横ミシン目の両端部 A のアンカット寸法は 1mm 以上としてください。

- 縦ミシン目と横ミシン目の交点はカットしないでください。

×：交点カット	○：交点アンカット
交点カット ミシン目	交点アンカット ミシン目

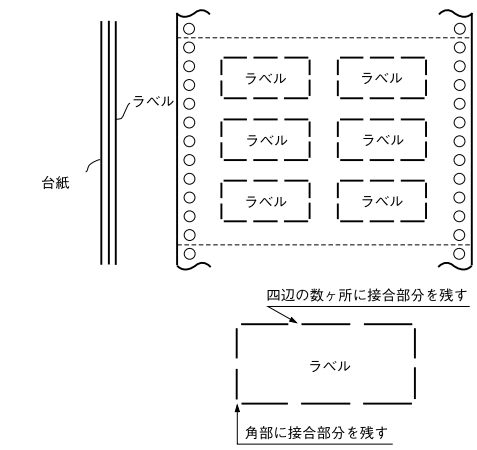
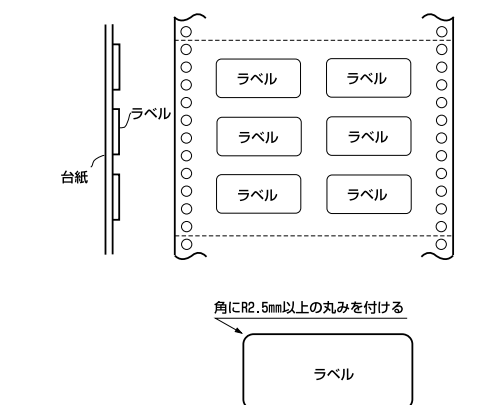
スプロケット穴の形状

スプロケット穴は真円形のものを使用してください。

!注意

スプロケット穴が次のようにずれているものは使用できません。

連続ラベル紙

プッシュトラクタでプリンタ前面から給紙するか、プルトラクタでプリンタの前面、底面から給紙します。プリンタ後方から給紙することはできません。以下の仕様の用紙をお使いください。

項目	詳細
品質	上質紙
台紙用紙幅	101.6 ～ 254.0mm (4.0 ～ 10.0 インチ)
台紙ページ長	101.6 ～ 558.8mm (4.0 ～ 22.0 インチ) *
用紙厚 (台紙含む)	0.16 ～ 0.19mm (台紙 0.07 ～ 0.09mm)
用紙連量	55kg（坪量 63.9g/m^2）

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。
*：折り畳み長は 101.6mm（4.0 インチ）以上です。折り畳み長とページ長の違いについては以下のページを参照してください。
☞本書 45 ページ 「連続紙（連続複写紙）」

!注意

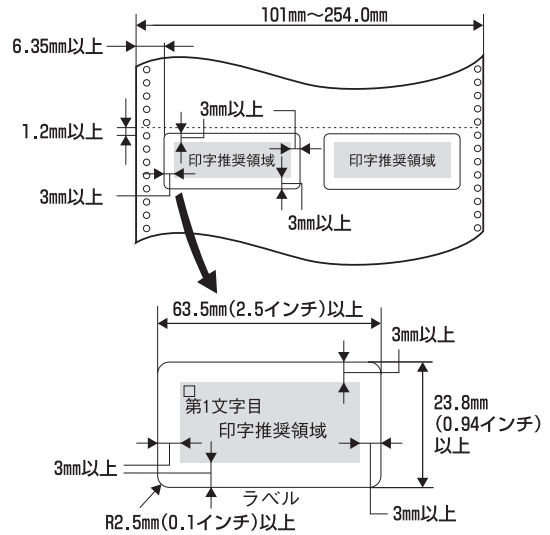
- ラベル紙は一般室温環境（温度 15～25℃、湿度 30～60%）で使用してください。
- ラベル紙表面は、染み、汚れ、しわ、カールのない上質紙のものを使用してください。
- プリンタ底面または後方からラベル紙を引き抜かないでください。
- 使用しないときは、ラベル紙をプリンタから取り外してください。ラベル紙をプリンタに取り付けたまま放置すると、丸まって用紙が詰まることがあります。
- 台紙または印字推奨領域以外の部分には印字しないでください。
- ラベル紙を取り外すときは、フロントプッシュトラクタの位置で切り離してから、必ず［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙してください。［給紙 / 排紙］スイッチは使用しないでください。ラベルが台紙からはがれてプリンタ内部に貼り付くことがあります。
- ティアオフ機能は使用しないでください。ラベル紙が後方に送られるときに、ラベルがはがれてプリンタ内部に貼り付くことがあります。
- アジャストレバーをラベル（レバー位置：2）に設定して印刷してください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」-「アジャストレバーの設定」

カストリ

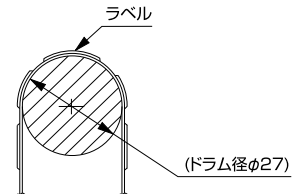
ラベル紙にはカストリ（ラベル以外の粘着シールを剥ぎ取ること）をしているものとしていないものがあります。カストリなしのラベル紙を推奨します。

ラベルサイズと印字推奨領域

印字可能なラベルのサイズと、ラベルへの印字推奨領域は以下になります。

印字推奨領域内に印字することを推奨します。印字推奨領域外では印字されない場合があります。

参考

次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径：φ27mm
巻付角度　　：180°
巻付時間　　：24 時間
周囲温度　　：40 ℃
周囲湿度　　：30%

単票紙(単票複写紙)

単票紙は用紙ガイド(前 / 後)、またはカットシートフィーダー A/B(オプション)から給紙します。単票複写紙は用紙ガイド(前)から給紙します。以下の仕様の用紙をお使いください。

項目	給紙経路	一枚紙	複写紙 *2
品質		上質紙 *1、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	用紙ガイド(前)	100 ~ 257mm (3.9 ~ 10.1 インチ)	
	用紙ガイド(後)	100 ~ 257mm (3.9 ~ 10.1 インチ)	−
	カットシートフィーダー A	182 ~ 216mm (7.2 ~ 8.5 インチ)	−
	カットシートフィーダー B	100 ~ 216mm (3.9 ~ 8.5 インチ)	−
用紙長	用紙ガイド (前 / 後)	100 ~ 364mm (3.9 ~ 14.3 インチ) *3	
	カットシートフィーダー A	210 ~ 364mm (8.2~14.3インチ)	−
	カットシートフィーダー B	100 ~ 364mm (3.9 ~ 14.3 インチ)	−
用紙厚	用紙ガイド (前 / 後)	0.065 ~ 0.14mm	0.12 ~ 0.39mm *3
	カットシートフィーダー A/B	0.07 ~ 0.14mm	−
用紙連量	用紙ガイド (前 / 後)	45 ~ 78kg (坪量 52 ~ 82.7g/m²)	34 ~ 50kg (坪量 40 ~ 58g/m²) (1 枚当たり)
	カットシートフィーダー A/B	55 ~ 78kg (坪量 63.9 ~ 82.7g/m²)	−
容量	カットシートフィーダー A	給紙:最大 50 枚 (70kg/ 紙) 排紙:紙厚 2.5mm 以下	−
	カットシートフィーダー B	給紙:最大 150 枚 (70kg/ 紙) 排紙:紙厚 2.5mm 以下	−

*1: 本書では、上質紙、普通紙、PPC 用紙を総称として、上質紙と表記します。
*2: 天のり綴じの複写紙のみ使用できます。
*3: 単票複写紙は用紙ガイド(前)から給紙します。
※ カットシートフィーダーはオプションです。
※ 用紙連量は、四六判紙(788 × 1091mm²)1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m² で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	用紙ガイド(前)	用紙ガイド(後) *1	カットシートフィーダー (A/B) *1
A4 (210 × 297mm)	縦長	縦長	縦長
A5 (148 × 210mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長 *2
A6 (105 × 148mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長 *2
B4 (257 × 364mm)	縦長	縦長	−
B5 (182 × 257mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長
B6 (128 × 182mm)	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長 *2

*1: 複写紙は使用できません。
*2: カットシートフィーダー B のみ。
※ カットシートフィーダーはオプションです。

! 注 意

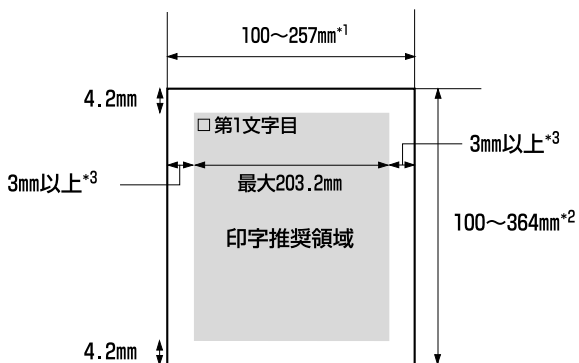
- 一般室温環境(温度 15 ~ 25℃、湿度 30 ~ 60%)で使用してください。
- ミシン目の入った用紙は使用できません。
- 用紙の表面 / 裏面ともに、染み、ピンホール、汚れ、しわ、破れ、複写紙のめくれ、反りや毛羽立ちおよびのり付けのない連続紙を使用してください。
- 印字領域内に穴などの段差がないものを使用してください。
- 綴じ穴は、直径 5mm 以下のものをご使用ください。

推奨する単票複写紙の組み合わせ

構成枚数と連量(kg)は次の表のとおりです。

	1P	2P	3P	4P	5P
1 枚目	45 ~ 70	50	50	43	43
2 枚目	−	43	34	34	34
3 枚目	−	−	43	34	34
4 枚目	−	−	−	43	34
5 枚目	−	−	−	−	43

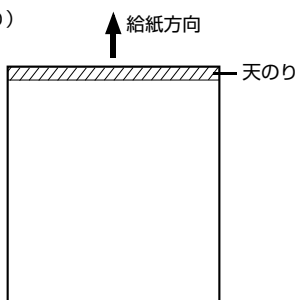
印字推奨領域

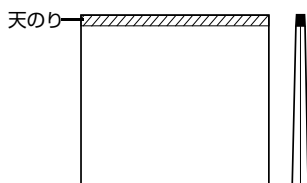
印字推奨領域内に印字することを推奨します。印字推奨領域外では印字されない場合があります。

*1:カットシートフィーダー A（オプション）使用の場合
182 〜 216mm
カットシートフィーダー B（オプション）使用の場合
100 〜 216mm

*2:カットシートフィーダー A（オプション）使用の場合
210 〜 364mm

*3:用紙幅が 209.2mm 以下の場合
（用紙幅が 209.2mm より大きい場合、最大印字領域（203.2mm）を引いた値を均等配置）

綴じ方と給紙方向

用紙の上端全面、あるいは側端全面がのり付けされた用紙を使用してください。また、綴じてある方から給紙してください。

!注意

- 単票複写紙は、天のり綴じの用紙を使用してください。

- 綴じののり付けは、用紙一端面全面にあるものを使用してください。
- のり付け部が波打ったり硬くなったりしていないものを使用してください。

ハガキ

ハガキは用紙ガイド(前 / 後)、またはカットシートフィーダー B（オプション）から給紙します。往復ハガキは用紙ガイド（後）、またはカットシートフィーダー B から給紙します。以下の仕様の用紙をお使いください。

項目		詳細	
品質		郵便ハガキ	郵便往復ハガキ
用紙幅	用紙ガイド（前）	100 〜 148mm（3.9 〜 5.8 インチ）	―
	用紙ガイド（後）、カットシートフィーダー B	100 〜 148mm（3.9 〜 5.8 インチ）	
用紙長	用紙ガイド（前）	100 〜 148mm（3.9 〜 5.8 インチ）	―
	用紙ガイド（後）、カットシートフィーダー B	100 〜 200mm（3.9 〜 7.8 インチ）	
用紙厚		0.22mm	
用紙連量		165kg（坪量 191.5g/m^2）	
容量	カットシートフィーダー B	給紙：50 枚以下（165kg/ 紙） 排紙：紙厚 2.5mm 以下	

※ 用紙連量は、四六判紙（788 × 1091mm^2）1000 枚の質量を kg で表したものです。
※ 坪量は、紙 1 枚の 1 平方メートル当たりの質量を g/m^2 で表したものです。

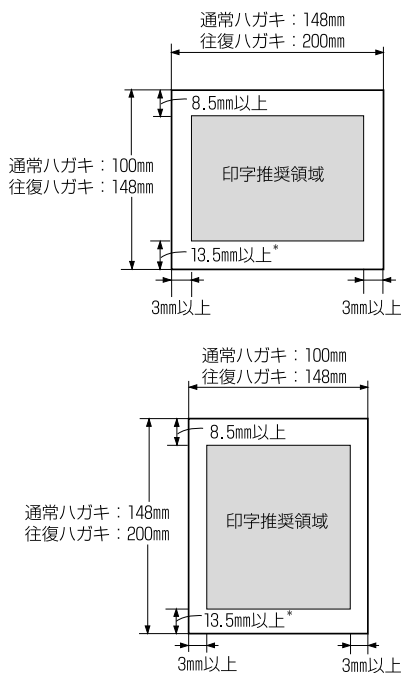
ハガキのセット方向は下表の通りです。

ハガキ種類	用紙ガイド（前）	用紙ガイド（後）	カットシートフィーダー B
通常ハガキ（100 × 148mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長
往復ハガキ（148 × 200mm）	―	縦長	縦長

!注意

- ハガキをセットする手順は以下のページを参照してください。
  ☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「単票紙の給紙と排紙」
- ハガキに印刷する前に、ハガキサイズの用紙で試し印刷をして、印刷位置を確かめてから実際にハガキへ印刷してください。
- アプリケーションソフトを使用してハガキに印刷するときは、給紙位置の調整が必要です。
- 原則として郵便ハガキを使用してください。私製ハガキは図の寸法に従ったサイズのハガキを使用してください。
- ハガキは染み、ピンホール、汚れ、しわ、反りや毛羽立ちがない上質紙を使用してください。
- 往復ハガキは用紙中央に折り目がないものを使用してください。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- アジャストレバーをハガキ（レバー位置：2）に設定して印刷してください。また、プリンタドライバの用紙サイズを「ハガキ」にするなど、必要な設定を行ってください。
  ☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」-「アジャストレバーの設定」
- ハガキに印刷するときは、［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押してハガキモードにし、アジャストレバーを「2」に設定してください。

印字推奨領域

印字推奨領域内に印字することを推奨します。印字推奨領域外では印字されない場合があります。

*：ハガキ下端から 13.5mm の位置まで印字できますが、下端 22 ～ 13.5mm の範囲は、紙送り精度の保証ができません。

ティアオフと微小送り

プリンタにセットした連続紙を簡単かつ無駄なく切り離したいときは、ティアオフ機能を使います。また、連続紙の用紙カット位置や給紙位置を微調整するときは、微小送り機能を使います。

連続紙の切り離し（ティアオフ）

印刷終了後に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り出し、印刷の再開時には印刷開始位置まで連続紙を戻す機能です。ティアオフ機能には手動ティアオフと自動ティアオフがあります。

!注意

- ラベル紙に印刷するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置に戻すときに、ラベルが台紙からはがれてプリンタに貼り付いたり、紙詰まりの原因になります。
- ティアオフ機能はページ長（初期設定は 11 インチ）を元に連続紙を送るため、プリンタドライバ* またはプリンタ設定値のページ長を使用する連続紙に合わせて設定してください。
  *：Windows ではプリンタドライバの設定が有効になります。

手動ティアオフ

印刷終了後［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押して、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送ります。

自動ティアオフ

プリンタ設定値の［自動ティアオフ］を［オン］に設定すると自動ティアオフになります。印刷終了時に自動的に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り、印刷再開時に給紙位置まで戻します。自動ティアオフ機能の初期設定は［オフ］に設定されています。初期設定を変更するときは、以下のページを参照してください。

☞ 本書 55 ページ「操作パネルからの設定」

1 操作パネルで［自動ティアオフ］を［オン］に設定します。

☞ 本書 55 ページ「操作パネルからの設定」

2 印刷を実行します。

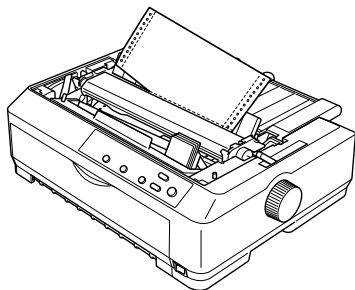
印刷終了後、約 3 秒経過すると連続紙のミシン目が用紙カット位置まで自動的に送られます。［用紙カット位置 / ビン選択］ランプが点灯します。

ミシン目が用紙カット位置からずれている場合は、［印刷可］スイッチを 3 秒以上押してから［微小送り］スイッチで用紙位置を調整します。

☞ 本書 52 ページ「用紙位置の微調整（微小送り）」

3 連続紙をミシン目で切り離します。

ペーパーカッターで連続紙を切り離します。

細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

4 次の印刷を行います。

連続紙が印刷開始位置まで自動的に戻って印刷が始まります。

参考

- ［用紙カット位置/ビン選択］スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。
- 電源を切るときは、［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押して連続紙を戻してください。ただし、プルトラクタから給紙している場合は、［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押さないでください。

用紙位置の微調整（微小送り）

プリンタにセットした連続紙を 1/180 インチ単位で前後方向に動かすことができます。給紙位置がずれているときや連続紙のミシン目とペーパーカッター位置がずれているときに微小送りで調整します。調整した用紙カット位置や給紙位置は、給紙装置ごとに独立したプリンタメモリに記憶され、電源を切っても保持されます。

参考

- Windows 環境下（プリンタドライバ経由の出力）では給紙位置の調整はできません。アプリケーションソフトのマージン設定で調整してください。
- 印刷結果を見て、微小送りで印刷位置を合わせることもできます。プレプリントされている枠線などに合わせて印刷する場合に便利です。3 から始めてください。ただし、カットシートフィーダー使用時の調整範囲は逆方向には 8.5mm（1/3 インチ）までとしてください。

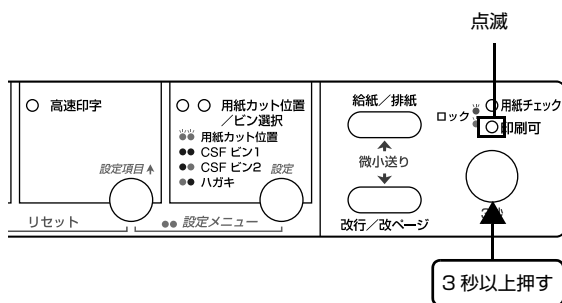
1 プリンタの電源を入れます。

2 給紙位置または用紙カット位置を調整するための準備をします。

- 給紙位置を調整する場合は、用紙を給紙してください。
- 用紙カット位置を調整する場合は、ティアオフ機能を使用して連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送ります。これより上端方向には設定しないでください。

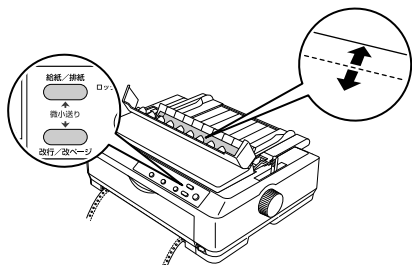
☞ 本書 51 ページ「連続紙の切り離し（ティアオフ)」

3 ［印刷可］スイッチを3秒以上押します。

ブザーが鳴るまで［印刷可］スイッチを押します。［印刷可］スイッチを離すと［印刷可］ランプが点滅します。

［印刷可］ランプが消灯または点灯しているときは微小送りできません。再度［印刷可］スイッチを 3 秒以上押して、ランプが点滅している状態にしてください。

4 **［微小送り］スイッチを押して位置を合わせます。**

［微小送り ⬆ ］スイッチを押すと、用紙は排紙側へ進みます。

［微小送り ⬇ ］スイッチを押すと、用紙は給紙側へ進みます。

5 **プリンタカバーを開けて用紙位置を確認します。**

⚠注意

プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、触らないでください。開けたプリンタカバーは印刷前に必ず閉じてください。

調整できる範囲は以下の通りです。

給紙位置	4.2 ～ 33.9mm （工場出荷時の基準位置は 8.5mm）
用紙カット位置	－ 25.4 ～＋ 25.4mm （工場出荷時の基準位置は 0mm）

参考

- 給紙位置または用紙カット位置を調整する際に、前後どちらの方向に用紙を動かしても途中でブザーが鳴って一旦停止する位置があります。これが基準位置ですので調整時の目安にしてください。
  上限あるいは下限に達するとブザーが鳴り、それ以上用紙が動かなくなります。
- カットシートフィーダー（オプション）での調整の場合、用紙上端への紙送り（逆送り）量は 8.5mm までとなります。8.5mm を越えて微調整をするときは、ブザーが鳴ったら用紙を排紙して新たに給紙し、微調整してください。

6 **［印刷可］スイッチを押します。**

用紙は給紙位置へ戻ります。微調整した給紙位置および用紙カット位置はプリンタのメモリに記憶されます。電源を切っても設定した内容は保持されます。

！注意

- ［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押して連続紙を給紙位置へ戻すこともできます。
- プリンタの電源を切る場合は、［用紙カット位置 / ビン選択］スイッチを押して連続紙を戻してください。

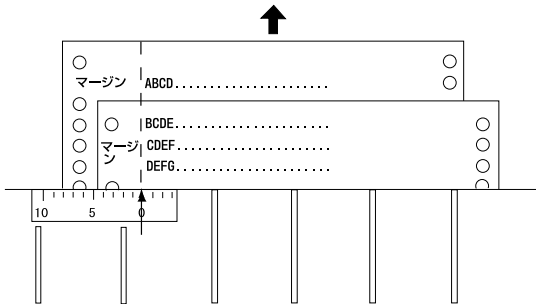
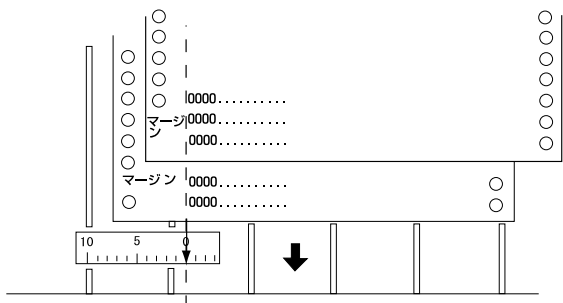
給紙位置（横方向）の調整

連続紙の給紙位置（横方向）を調整する場合は、フロントカバー裏またはプリンタ後部の印刷位置合わせの目盛りを目安にスプロケットを移動して調整します。

参考

プリンタドライバを経由して印刷している場合は、1 桁目の位置（スプロケットの穴の横にあるミシン目が目安）を［0］に合わせ、アプリケーション上で余白（マージン）を設定して印刷してください。

目盛りの［0］の位置が、1 桁目の印刷開始位置です。目盛りの間隔は 2.54mm（1/10 インチ）になっています。連続紙の端を目盛りの［10］位置に合わせると、印刷開始位置までの余白（マージン）が 25.4mm（1 インチ）に設定されたことになります。

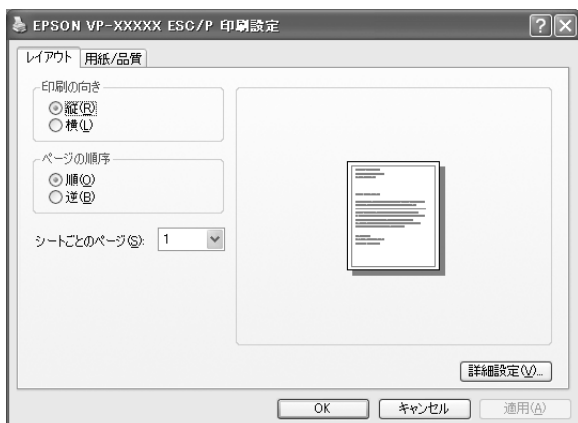
＜フロントカバー裏＞

＜プリンタ後部＞

プリンタ設定値の変更

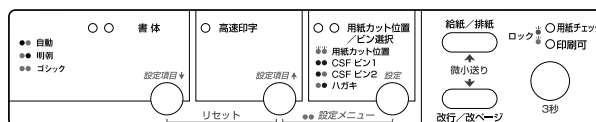
プリンタは設定された内容に従って動作します。プリンタの設定値を変更する方法は、ご利用の環境によって異なります。ここでは、プリンタドライバ（Windows）や操作パネルで設定を変更する方法について説明しています。

プリンタ設定の方法

プリンタ設定は以下の 2 つの方法で行えます。

方法 1:プリンタドライバで設定する

Windows 環境下では、通常の印刷に必要な設定はアプリケーションソフトまたはプリンタドライバで行います。プリンタドライバの設定は、操作パネルの設定より優先されます。
プリンタドライバで設定できない項目を操作パネルで設定してください。

方法 2:操作パネルで設定する

設定値の一覧表を印刷してから、操作パネルのスイッチで設定変更します。

操作パネルのスイッチを 2 つ以上同時に押すと、スイッチを単独で押したときとは異なる機能が実行できます。

スイッチ	機能
［書体］＋［高速印字］	バッファをクリアします。 ☞ 本書 16 ページ「印刷の中止の仕方」
［高速印字］＋ ［用紙カット位置 / ピン選択］ （［設定項目 ↑］＋［設定］）	プリンタ設定モードにします。 ☞ 本書 55 ページ「操作パネルからの設定」
［改行 / 改ページ］＋ ［電源］オン	セルフテストを行います。 ☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「プリンタのセットアップ」-「6. 電源接続と動作確認」-「動作の確認」
［給紙 / 排紙］+［電源］オン	
［改行 / 改ページ］＋ ［印刷可］＋［電源］オン	プリンタ設定モードの項目制限（パネルロックアウト）を行います。 ☞ 本書 58 ページ「操作パネルからの設定を制限する（パネルロックアウトモード）」
［給紙 / 排紙］＋［印刷可］＋［電源］オン	プリンタ設定モードの項目制限（パネルロックアウト）自体をオン / オフします。 ☞ 本書 59 ページ「操作パネルからの設定制限（パネルロックアウト）をオン/オフする」
［改行 / 改ページ］＋ ［給紙 / 排紙］+［電源］オン	16 進ダンプ印刷します。 ☞ 本書 60 ページ「16 進ダンプ印刷」

操作パネルからの設定

設定項目ごと印刷しながら設定を変更します。設定には単票紙（A4 縦、B5 縦）、または連続紙が必要です。連続紙に印刷する場合は、用紙幅 228.6mm（9.0 インチ）以上のものを使ってください。

ここでは、A4 縦の用紙に印刷する手順を例に説明します。

1 **レリースレバーを単票紙（CUT）位置に設定します。**

2 **プリンタの電源を入れます。**

3 **［設定項目↑］スイッチと［設定］スイッチをブザーが鳴るまで同時に押し続けます。**

ブザーが鳴り、［用紙カット位置 / ビン選択］ランプが2つとも点灯したら、スイッチから指を離してください。

4 **プリンタに用紙をセットします。**

A4 縦の単票紙を 1 枚プリンタにセットしてください。

☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「単票紙の給紙と排紙」

プリンタカバーを開けて、用紙先頭部分に「現在設定一覧を印刷しますか？」と印字されていることを確認してください。

設定一覧を印刷する場合は、4 へ進みます。
印刷しない場合は、6 へ進みます。

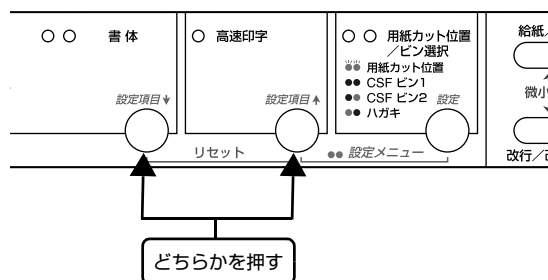
5 **［設定］スイッチを押します。**

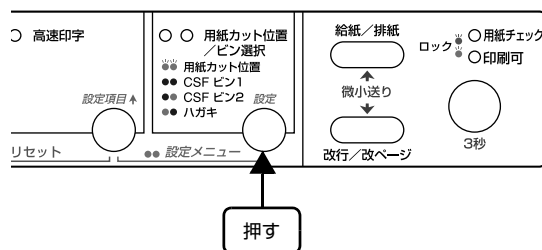
設定一覧が印刷されます。

6 **一覧表で設定値を確認します。**

設定値を変更する必要がない場合は、電源を切り終了します。
変更する場合は、用紙を 1 枚プリンタにセットし、6 へ進みます。

7 **［設定項目↑］または［設定項目↓］スイッチを押して、設定項目を選択します。**

選択された設定項目と現在の設定値が印字されます。

8 **設定値を変更する設定項目で、［設定］スイッチを押します。**

［設定］スイッチを押すごとに、設定値が変更されて印字されます。変更したい設定値が印字されるまで［設定］スイッチを押します。

9 **複数の設定値を変更する場合は、6と7を繰り返します。**

10 **設定が終了したら、［設定項目↑］スイッチと［設定］スイッチを同時に押します。**

ブザーが鳴り、［用紙カット位置 / ビン選択］ランプが2つとも消灯したら、設定が記憶されます。

設定項目

操作パネルからの設定項目は以下です。プリンタドライバで設定できる項目は、プリンタドライバの設定が優先されます。
＊は工場出荷時の初期値を示します。

設定項目	設定値	説明
文字コード表	カタカナ＊	「カタカナコード表」の文字を使って英数カナ文字を印字します。国内のDOSアプリケーションソフトを使用するときは、ほとんどの場合このコード表を選択します。
	拡張グラフィックス	「拡張グラフィックスコード表」の文字を使って英数カナ文字を印字します。海外版の DOS アプリケーションソフトを使用するときはこのコード表を選択します。
	マルチリンガル	「マルチリンガルコード表」の文字を使って印刷します。
	マルチリンガルユーロ	「マルチリンガルユーロコード表」の文字を使って印刷します。
文字品位	高品位＊	英数カナ文字を高品位文字で印字します。
	ドラフト	英数カナ文字をドラフト文字で印字します。
フロントトラクタのページ長（連続紙）	4、5.5、6、7、8、8.5、11＊、70/6、12、14、17 インチ	フロントプッシュトラクタを使用する場合のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を設定します。改ページ、ティアオフ機能、ミシン目スキップが正しく機能するように、使用する連続紙に合ったページ長を設定してください。 Windows ソフトウェアを使用しているときは、Windows プリンタドライバの用紙サイズの設定値を確認してください。
リアトラクタのページ長（連続紙）	4、5.5、6、7、8、8.5、11＊、70/6、12、14、17 インチ	リアプッシュトラクタを使用する場合のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を設定します。改ページ、ティアオフ機能、ミシン目スキップが正しく機能するように、使用する連続紙に合ったページ長を設定してください。 Windows ソフトウェアを使用しているときは、Windows プリンタドライバの用紙サイズの設定値を確認してください。
ミシン目スキップ	オン	連続紙を使用する場合、ミシン目の前後 25.4mm（1インチ）の範囲には印刷しません。アプリケーションソフトで上下マージンが設定できない場合でも、ミシン目にかからないように印刷したいときに設定します。
	オフ＊	連続紙使用時に、アプリケーションソフトで上下マージンをゼロに設定してページいっぱいに印刷すると、ミシン目に関係なく続けて印刷します。通常はアプリケーションソフトで上下マージンを設定しますので、「オフ」のまま印刷してもミシン目で印刷が途切れることはありません。
自動ティアオフ	オン	印刷の終了や開始に合わせて自動的にティアオフ機能が働きます。 本書 51 ページ 「連続紙の切り離し（ティアオフ）」
	オフ＊	自動ティアオフ機能は働きません。連続ラベル紙を使用するときは必ず「オフ」に設定してください。
自動改行	オン	キャリッジリターン（CR）コードに対して、自動的に改行（LF）コードを付け加えます。使用するオペレーティングシステムやソフトウェアによっては、改行しないで同じ行で印刷し続けることがありますが、このような場合に改行させるには「オン」に設定します。
	オフ＊	キャリッジリターン（CR）コードに対して、改行（LF）コードを付け加えません。DOS や Windows などのオペレーティングシステムで印刷するときは、「オフ」のまま使用します。

設定項目	設定値	説明
印字方向	双方向＊	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷しますので、より速く印刷できます。文字の高速印刷に適しています。
	単方向	プリントヘッドが右方向へ移動するときだけ印刷しますので、縦方向の印刷位置がより正確になります。グラフィックの印刷に適しています。
	自動	1 文字を数回に分けて印字する場合で、双方向より印字品質を向上させたいときに自動を選択します。
ESC/P スーパー	オン	ESC/P と PC-PR201H（エミュレーションモード）を自動判別します。PC-PR201H（エミュレーションモード）プリンタを選択して印刷するときは、「オン」に設定します。 国内版の DOS アプリケーションソフトから印刷する場合に、エプソンプリンタを選択しても正しく印刷できないときは、「オン」に設定します。
	オフ＊	使用するオペレーティングシステム（Windows）やソフトウェアのプリンタ設定で ESC/P コントロールコードを使用しているときは「オフ」に設定します。 海外版の DOS アプリケーションソフトを使用するときは、「オフ」にします。
ゼロスラッシュ	オン	「0」の書体を「ø」として印刷します。[*1]
	オフ＊	「0」の書体を「0」として印刷します。
I/F 選択[*2]	自動＊	データを受信するインターフェイスを自動的に選択します。選択したインターフェイスに送られたデータが終了するか、インターフェイス固定解除時間の設定した時間になると、インターフェイスの選択が解除されます。「自動」では、最大 3 台のコンピュータが本製品を共用できます。
	パラレル	標準のパラレルインターフェイスを使用します。
	USB	標準の USB インターフェイスを使用します。
	オプション	オプションのインターフェイスを使用します。オプションのインターフェイスカードが装着されている場合のみ選択できます。
I/F 固定解除時間	10 秒＊	インターフェイス（自動）のとき自動選択したインターフェイスに 10 秒間データが送られてこない場合にそのインターフェイスの選択を解除します。
	30 秒	インターフェイス（自動）のとき自動選択したインターフェイスに 30 秒間データが送られてこない場合にそのインターフェイスの選択を解除します。
双方向通信	オン＊	コンピュータとの双方向通信を行います。
	オフ	コンピュータとの双方向通信を行いません。
パケット通信	自動＊	双方向通信が設定されている場合、パケット通信を行います。通常は［自動］を設定してください。Windows プリンタドライバをお使いの場合は、［自動］のままでお使いください。
	オフ	パケット通信を行うと、ホストとの接続性や印字結果に支障がある（不具合が発生する）場合や、DOS アプリケーションソフトなどからの印字で通信がうまくいかない場合に「オフ」に設定してパケット通信を停止します。
手差し待ち時間	1 秒、1.5 秒＊、2 秒、3 秒	用紙を用紙ガイドにセットしてから印刷開始位置へ給紙するまでの時間を設定します。
ブザー鳴動	オン＊	スイッチ操作時やエラー発生時にブザーが鳴ります。
	オフ	スイッチ操作時やエラー発生時にブザーは鳴りません。
低騒音モード	オン	印字スピードを約 1/2 に落として、印字時に発生する音を低減します。
	オフ＊	通常の印字スピードで印字します。

[*1] ：Windows で TrueType フォントを使用するときは無効です。
[*2] I/F：インターフェイスを省略して I/F と表記します。

書体の選択や高速印字を設定する場合は、操作パネル上のスイッチをお使いください。
『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』(紙マニュアル) -「ご使用の前に」-「各部の名称と役割」-「操作パネル」

操作パネルからの設定を制限する(パネルロックアウトモード)

操作パネルから設定した以下の項目を、誤って設定値を変更しないように設定項目をそれぞれロックすることができます。

設定をロックできる項目		
給紙機能	用紙カット位置機能	高速印字機能
排紙機能	ピン選択機能	印刷可機能
改行機能	微調整機能	リセット機能
改ページ機能	書体機能	設定メニュー機能

設定値の変更を制限する場合は、まず以下の手順で制限されている内容の一覧を印刷してください。

1 **プリンタの電源を切ります。**

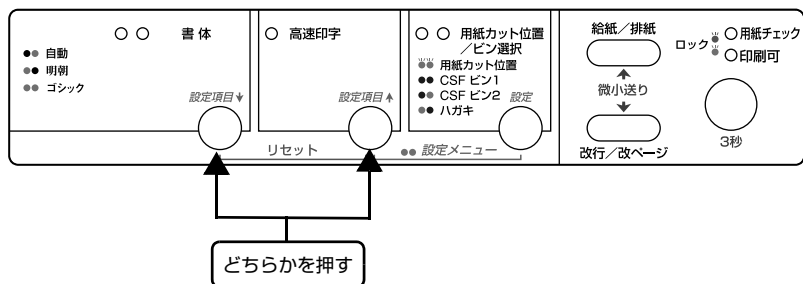
2 **レリースレバーを単票紙(CUT)位置に設定します。**

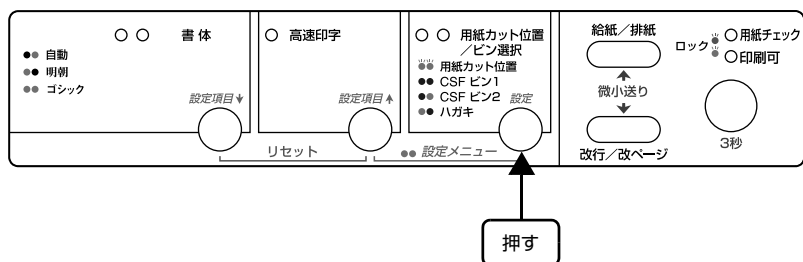
3 **[改行 / 改ページ]スイッチと[印刷可]スイッチを押したまま、プリンタの電源を入れます。**
全ランプが 2 回点滅し、ブザーが 3 回鳴ったらスイッチを離してください。

⚠注意　プリンタの電源を切ってから再び電源を入れるときは、最低 5 秒待ってください。間隔が短すぎると、プリンタの電源部が故障するおそれがあります。

4 **プリンタに用紙をセットします。**
A4 縦の単票紙を 1 枚プリンタにセットしてください。
『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』(紙マニュアル) -「給紙と排紙」-「単票紙の給紙と排紙」
プリンタカバーを開けて、用紙先端部分に「現在設定一覧を印刷しますか?」と印字されていることを確認してください。

5 **[設定]スイッチを押します。**
設定制限されている項目一覧が印刷されます。
出力された一覧表を確認し、設定値を変更する必要がない場合は、電源を切ります。
設定値を変更する場合は、A4 の単票紙を 1 枚プリンタにセットし、次の手順に進んでください。

6 **[設定項目↑]または[設定項目↓]スイッチを押して、設定項目を選択します。**
選択された設定項目と現在の設定が印字されます。

7 **設定を変更する設定項目で、[設定] スイッチを押します。**

[設定] スイッチを押すごとに、設定(オフ:無効 / ロック:有効)が変更されて印字されます。

8 **ほかの設定項目の設定を変更する場合は、5 と 6 の手順を繰り返します。**

9 **設定が終了したら、[給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙し、電源を切ります。**

設定が記憶されます。

操作パネルからの設定制限(パネルロックアウト)をオン / オフする

[給紙 / 排紙] スイッチと [印刷可] スイッチを押したままプリンタの電源を入れることによって、操作パネルからの設定制限(パネルロックアウト)自体をオン(ロック)/ オフすることができます。

双方向印刷の調整

双方向印刷を行う場合、縦方向の線がずれることがあります。印刷のずれは操作パネルから調整できます。

印字方向を単方向に設定して印刷ずれを防ぐこともできます。単方向印刷の設定については以下のページを参照してください。

☞ 本書 54 ページ 「プリンタ設定の方法」

1 連続紙をセットします。

連続紙は用紙幅 228.6mm（9.0 インチ）以上のものを使ってください。

☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「連続紙の給紙と排紙」-「給紙」

参考

単票紙を使用した場合は、改ページ直後の印刷データ（調整パターン）に誤りを生じるおそれがあります。連続紙による印刷をお勧めします。

2 ［印刷可］スイッチを押しながら、プリンタの電源を入れます。

操作方法の説明と調整パターンが印刷されます。

3 説明に従って調整します。

4 プリンタの電源を切ります。

以上で、双方向印刷の調整は終了です。

16 進ダンプ印刷

16 進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷する機能です。正しくデータが送られているかの確認ができるので、自作プログラムをチェックするときなどにご利用ください。

ここでは連続紙への印刷例を説明します。連続紙は用紙幅 228.6mm（9.0 インチ）以上のものを使ってください。プリンタに連続紙がセットされていない場合は、連続紙をセットしてください。

☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「連続紙の給紙と排紙」

1 プリンタの電源を切ります。

2 レリースレバーを連続紙をセットした給紙経路に合わせて設定します。

3 プリンタカバーを開けて、使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。

☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」-「アジャストレバーの設定」

4 ［改行 / 改ページ］スイッチと［給紙 / 排紙］スイッチを押しながら、プリンタの電源を入れます。

！注意

プリンタの電源を切ってから再び電源を入れるときは、最低 5 秒待ってください。間隔が短すぎると、プリンタの電源部が故障するおそれがあります。

5 コンピュータからプリンタへデータを送ります。

受信したデータは、16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷されます。

6 印刷が終了したら、［用紙カット位置］スイッチを押して用紙を送り出します。

印刷されずにデータがプリンタのメモリ内に残った場合は、［印刷可］スイッチを押して残ったデータを印刷します。

7 印刷が終了しているページをミシン目で切り離します。

［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を戻してから、プリンタの電源を切り 16 進ダンプを終了します。

オプションと消耗品

オプションと消耗品の紹介、インターフェイスカードとカットシートフィーダー（オプション）の取り付けと使い方を説明します。

オプションと消耗品一覧

本製品で使用できるオプションと消耗品は以下の通りです（2013 年 4 月現在）。

商品名	型番	備考
パラレルケーブル	PRCB4N	DOS/V、PC-98NX シリーズ対応
USB ケーブル	USBCB2	USB ハブを使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。
インターフェイスカード	VPIF3	本製品をシリアルで接続するためのオプションです。コンピュータとの接続には市販のプリンタ用シリアルインターフェイスケーブルが別途必要です。
	PRIFNW7	Ethernet I/F カードです。接続にはお使いのネットワーク環境に応じたネットワークケーブルが別途必要です。
	—	インターフェイスカードの取り付け、使い方は以下を参照してください。 本書 63 ページ 「取り付け方」 インターフェイスカードの設定方法については、それぞれのカードの取扱説明書を参照してください。
カットシートフィーダー	VP880CSFA	カットシートフィーダー　単票紙対応
	VP880CSFB	カットシートフィーダー　単票紙・ハガキ対応
	—	カットシートフィーダーの取り付け、使い方は以下を参照してください。 本書 64 ページ 「カットシートフィーダー」
トラクターユニット	VP880TU	トラクターユニットの取り付け、使い方は以下を参照してください。 『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」-「トラクタユニットの付け替え」
リボンカートリッジ	VP880RC	リボンカートリッジの取り付け、使い方は以下を参照してください。 『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「リボンカートリッジの交換」

推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできないことがあります。

通信販売のご案内

エプソン製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2013年4月現在）。

インターネットでのご注文	ホームページ	http://www.epson.jp/shop/
お電話でのご注文	電話番号	0120-545-101（フリーダイヤル） ※電話番号をよくお確かめの上おかけください

お届け方法、お支払い方法など詳細につきましては、上記のホームページまたはお電話でご確認ください。

インターフェイスカード

プリンタに取り付ける前に、まずインターフェイスカードの取扱説明書をよくお読みください。

インターフェイスカード上のディップスイッチやジャンパースイッチの設定が必要な場合もあります。

取り付け方

参考

オプションのインターフェイスカードを使用するときは、［I/F 選択］の設定が［自動］または［オプション］に設定されていることをご確認ください。

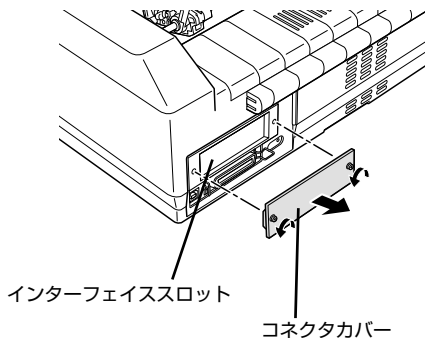
☞ 本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」

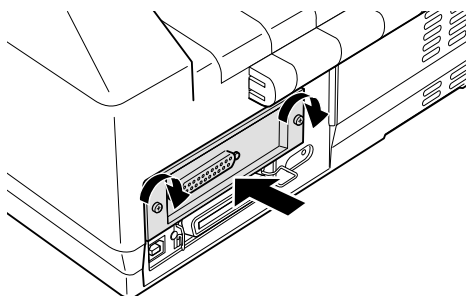
1 プリンタとコンピュータの電源を切って、電源プラグをコンセントから引き抜きます。

！注意

インターフェイスカードを取り付ける前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かずに取り付け作業を行うと、プリンタやコンピュータが故障することがあります。インターフェイスカードを取り外すときも、電源プラグを抜いてください。

2 オプションインターフェイス用のコネクタカバーを取り外します。

プラスドライバでネジ（2 個）をゆるめてからカバーを外します。

3 インターフェイスカードを差し込みます。

インターフェイスカードのコネクタとプリンタ内部のコネクタを合わせるように差し込み、両端のネジでインターフェイスカードを固定します。

VPIF3 シリアルインターフェイスカードについて

VPIFシリアルインターフェイスカードを取り付けて使用する場合の転送速度、X-ON/X-OFF および DTR 送出タイミング、エラー処理は以下のようになります。

転送速度

300、600、1200、2400、4800、9600、19200 BPS

X-ON/X-OFF および DTR 送出タイミング

- X-OFF コードおよび DTR 信号の出力：
  入力データバッファの空き容量が 256 バイト以下になったとき
- X-ON コードおよび DTR 信号の出力：
  入力データバッファの空き容量が 512 バイト以下になったとき

エラー処理

- パリティエラーが発生した場合：
  “＊”を印字します。
- そのほかのエラーが発生した場合：
  オーバーランエラーやフレーミングエラーなどは無視します。

そのほかの内容については、VPIF3 の取扱説明書を参照してください。

プリンタ設定の［I/F 選択］を「自動」にしている場合、同時に両方のインターフェイスにデータを送らないでください。正常に印刷できないことがあります。

カットシートフィーダー

使用できる用紙

単票紙を連続して給紙したいときは、オプションのカットシートフィーダーをご使用ください。

カットシートフィーダーには以下の 2 種類があります。カットシートフィーダーB はハガキにも対応しています。

- カットシートフィーダー A（型番：VP880CSFA）
- カットシートフィーダー B（型番：VP880CSFB）

カットシートフィーダー	VP880CSFA（単票紙用）	VP880CSFB（単票紙・ハガキ用）	
紙種	上質紙 再生紙	上質紙 再生紙	ハガキ
用紙幅	182～216mm	100～216mm	100～148mm
用紙長	210～364mm	100～364mm	100～200mm
用紙厚	0.07～0.14mm	0.07～0.14mm	0.22mm
容量	最大 50 枚（70kg/ 紙）	最大 150 枚（70kg/ 紙）	50 枚以下（165kg）

！注意

- 一般室温環境（温度 15～25℃、湿度 30～60%）で使用してください。
- 汚れ、しわ、反りや破れがない上質紙を使用してください。
- 複写紙は使用できません。

使用できる用紙の仕様に関する詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 49 ページ 「単票紙（単票複写紙）」
☞ 本書 50 ページ 「ハガキ」

使用できる用紙とセット方向は下表の通りです。

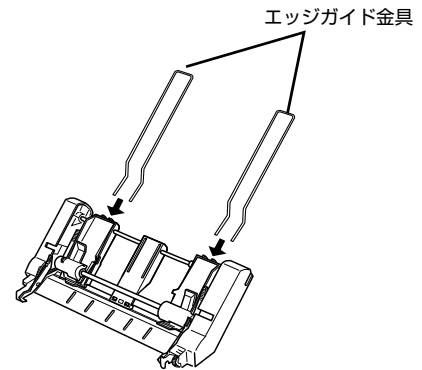
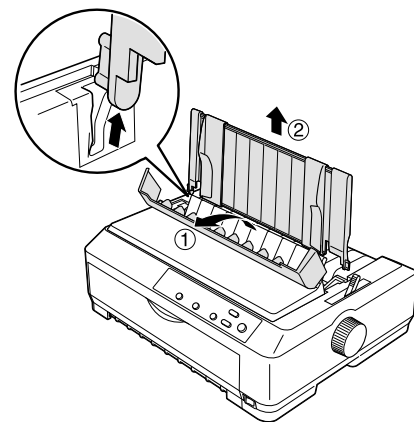
用紙	カットシートフィーダー A	カットシートフィーダー B
B5（182 × 257mm）	縦長	縦長
B6（128 × 182mm）	－	縦長、横長
A4（210 × 297mm）	縦長	縦長
A5（148 × 210mm）	－	縦長、横長
A6（105 × 148mm）	－	縦長、横長
通常ハガキ（100 × 148mm）	－	縦長、横長
往復ハガキ（148 × 200mm）	－	縦長

取り付け方

カットシートフィーダーA

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **カットシートフィーダーを組み立てます。**

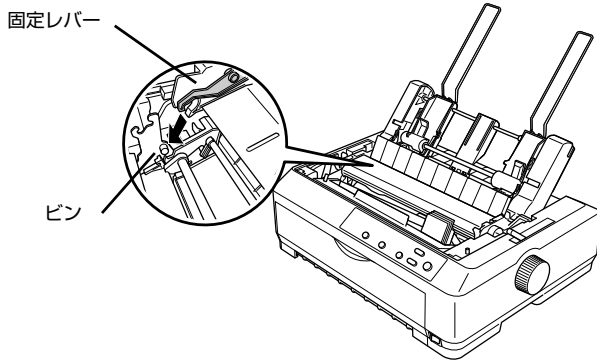
カットシートフィーダーにエッジガイド金具を取り付けます。

3 **用紙ガイド（後）を取り外します。**

排紙ガイドを手前に倒し、用紙ガイド（後）を手前に倒してから上に引き抜きます。

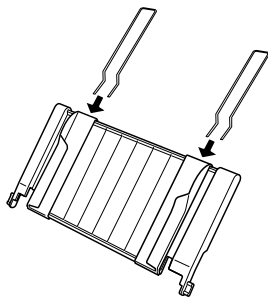
参考

- トラクタユニットがプルトラクタ位置にある場合は、取り外してください。
- リアトラクタで連続紙を使用する場合は、カットシートフィーダーを取り付ける前に連続紙をセットします。

4 **カットシートフィーダーを取り付けます。**

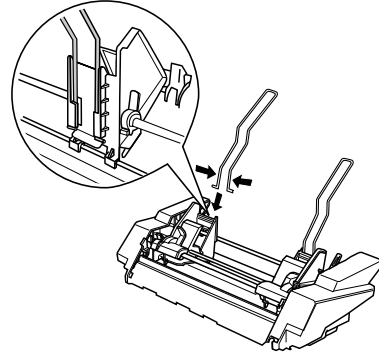
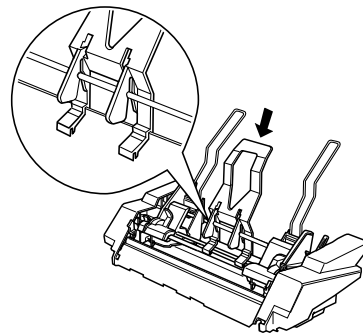
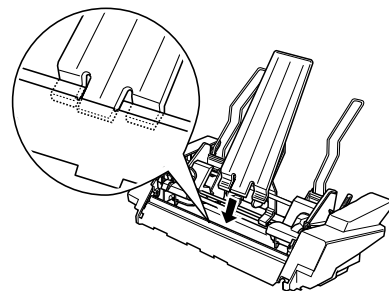
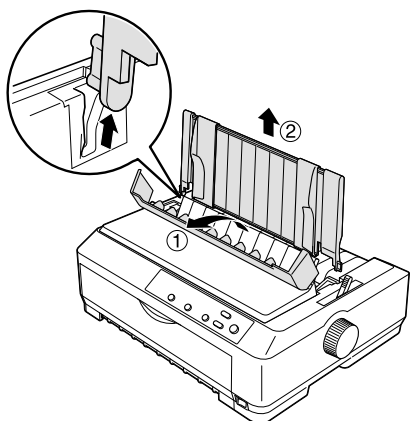
カットシートフィーダーを両手で持ち、少し手前に傾けた状態で左右のカットシートフィーダー固定レバーの先端をプリンタ内部のピンに合わせて差し込みます。

細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

5 **必要に応じて、用紙ガイド（後）にスタッカ金具を取り付けます。**

カットシートフィーダー A に同梱されているスタッカ金具を取り付けます。

カットシートフィーダーB

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **カットシートフィーダーを組み立てます。**

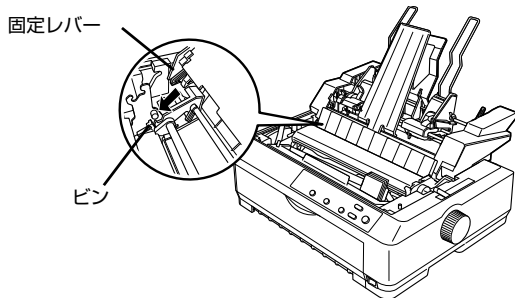
①エッジガイド金具を少し内側に狭めて、左右のエッジガイドに取り付けます。

②用紙サポートを取り付けます。

③スタッカサポートを図のように取り付けます。

3 **用紙ガイド（後）を取り外します。**

排紙ガイドを手前に倒し、用紙ガイド（後）を手前に倒してから上に引き抜きます。

参考

- トラクタユニットがプルトラクタ位置にある場合は、取り外してください。
- リアトラクタで連続紙を使用する場合は、カットシートフィーダーを取り付ける前に連続紙をセットします。

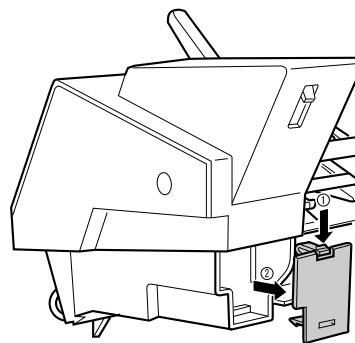
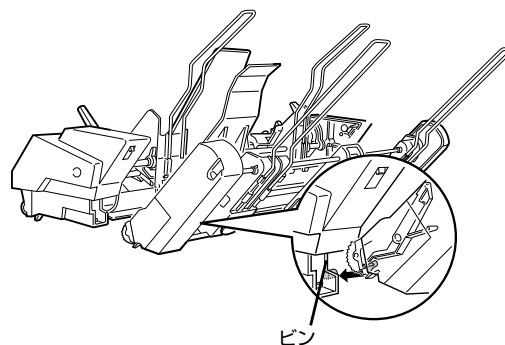
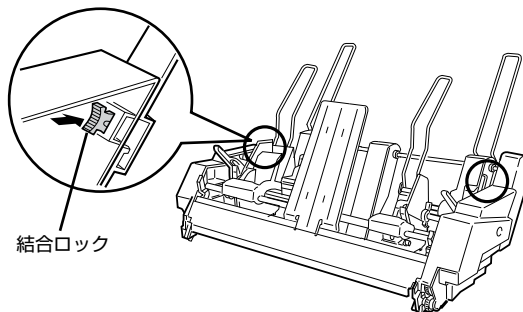
4 **カットシートフィーダーを取り付けます。**

カットシートフィーダーを両手で持ち、少し手前に傾けた状態で左右のカットシートフィーダー固定レバーの先端をプリンタ内部のピンに合わせて差し込みます。

細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

ダブルビンカットシートフィーダー

カットシートフィーダー A とカットシートフィーダー B の 2 つを組み合わせて使用することもできます。

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **カットシートフィーダー B の後ろ左側のカバーを取り外します。**

3 **カットシートフィーダー B の後ろのピンにカットシートフィーダー A を取り付けます。**

4 **カットシートフィーダー B にある左右の結合ロックを押し、2 つのカットシートフィーダーを結合します。**

注意

一度カットシートフィーダー B にカットシートフィーダー A を結合すると、取り外すことができません。

5 **ダブルビンカットシートフィーダーを取り付けます。**

プリンタへの取り付け方法は、カットシートフィーダーBと同じです。

☞ 本書64ページ 「取り付け方」

用紙のセット方法はそれぞれのカットシートフィーダーと同じです。

☞ 本書67ページ 「使い方」

> **参考**
> 給紙装置の選択は、[用紙カット位置 / ビン選択] スイッチまたはプリンタドライバで行います。
> カットシートフィーダーAは［ビン 2］または［カットシートフィーダ 2］、カットシートフィーダーBは［ビン 1］または［カットシートフィーダ 1］となります。

取り外し方

カットシートフィーダーの取り外しは、プリンタの電源を切った後、取り付けと逆の順序で行ってください。

> **⚠注意**
> カットシートフィーダーを取り外す前に、必ずスタッカを取り外してください。スタッカが倒れて指をはさむおそれがあります。

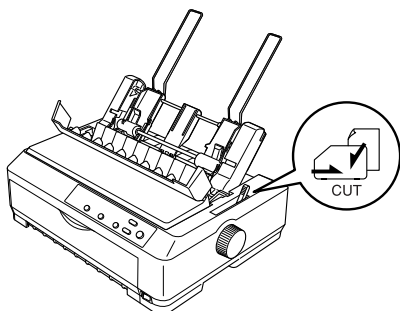
使い方

カットシートフィーダーに単票紙やハガキをセットします。カットシートフィーダー使用時でも連続紙を使用できます。

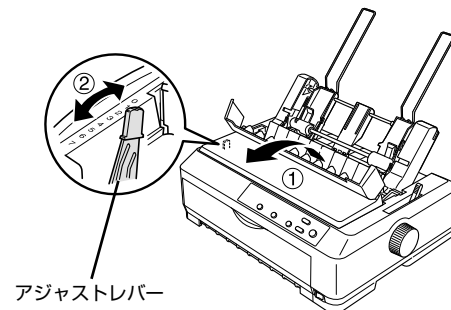
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』(紙マニュアル) -「給紙と排紙」-「連続紙 (プッシュトラクタ) と単票紙の切り替え」

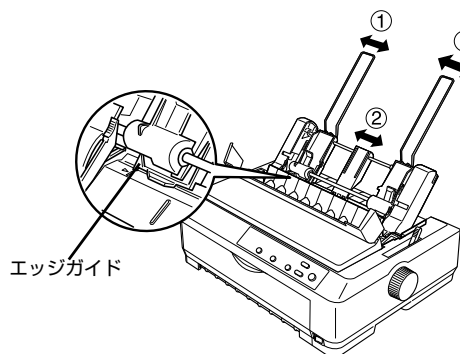
カットシートフィーダーA

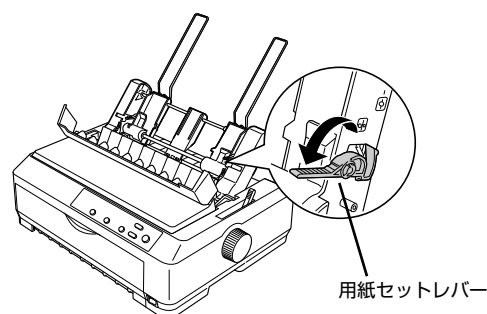
カットシートフィーダーAには、単票紙を最大50枚(70kg/紙) セットできます。

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **レリースレバーを単票紙 (CUT) 位置に設定します。**

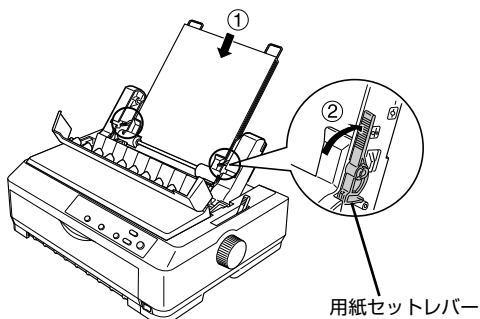
3 **プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。**

☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』(紙マニュアル) -「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」-「アジャストレバーの設定」

4 **カットシートフィーダーのエッジガイドの位置を調整します。**

カットシートフィーダーのエッジガイド (左) の位置をマーク (▷|) に合わせてからカットシートフィーダーのエッジガイド (右) の位置を用紙の幅に合わせて移動し、センターサポートを左右のエッジガイドの中央に移動します。

> **参考**
> カットシートフィーダーのセンターサポートは、用紙幅に合わせたエッジガイド (右) および (左) の中央に合わせてください。センターサポート位置が片寄っていると正しく給紙されないことがあります。

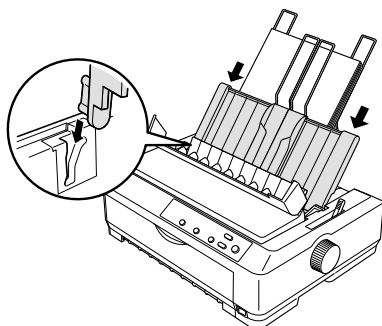
5 **左右の用紙セットレバーを手前に倒します。**

6 **用紙をセットします。**

用紙はよくさばいてから用紙の端をそろえ、用紙をセットします。

カットシートフィーダーのエッジガイド（右）を用紙の側面に軽くあて左右の用紙セットレバーを起こします。

参考

用紙とカットシートフィーダーのエッジガイドとの間にすき間がある場合は、カットシートフィーダーのエッジガイド（左）を右へ動かしてすき間をなくしてください。カットシートフィーダーのエッジガイドを用紙に強く押し付けた状態で給紙すると、給紙不良を起こすことがあります。

7 **用紙ガイドをカットシートフィーダーに取り付けます。**

エッジガイドは中央に寄せてください。

参考

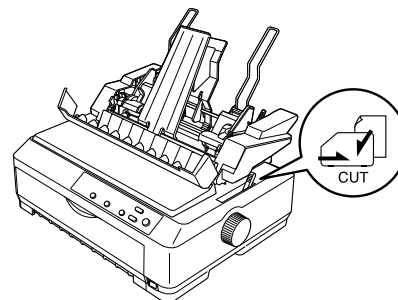
カットシートフィーダーから給紙された用紙は、用紙ガイド上に排紙されます。用紙ガイドで保持できる用紙枚数は、カットシートフィーダーにセットできる用紙容量（紙厚 5mm 以下）の約半分の用紙枚数（紙厚 2.5mm 以下）です。

8 **プリンタの電源を入れます。**

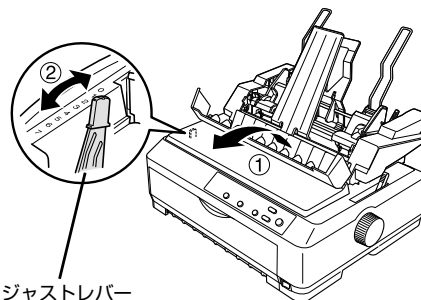
コンピュータからデータを送ると、自動的に給紙して印刷されます。給紙されない場合は、操作パネルのピン選択が合っているかを確認してください。

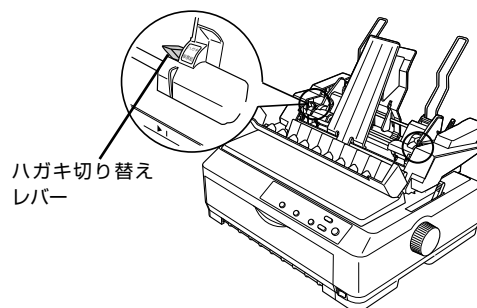
カットシートフィーダーB

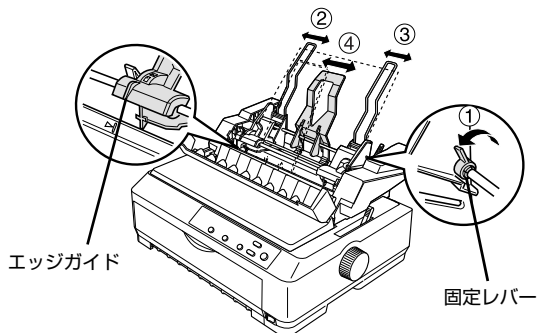
カットシートフィーダー B には、単票紙を最大 150 枚（70kg/ 紙）、ハガキを最大 50 枚（165kg 以下）セットすることができます。

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **レリースレバーを単票紙（CUT）位置に設定します。**

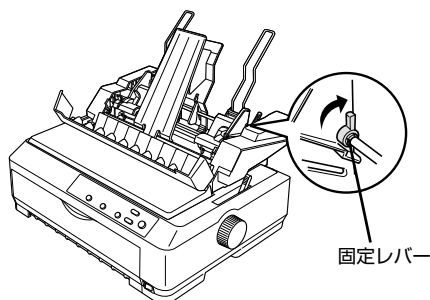
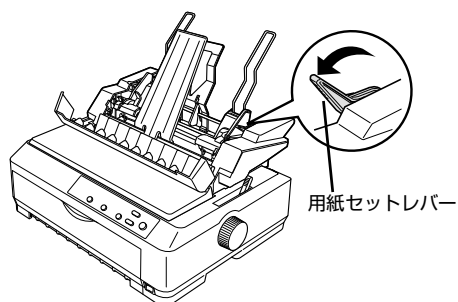
3 **プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。**

『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」-「アジャストレバーの設定」

4 **エッジガイド左右のハガキ切り替えレバーの位置を確認します。**

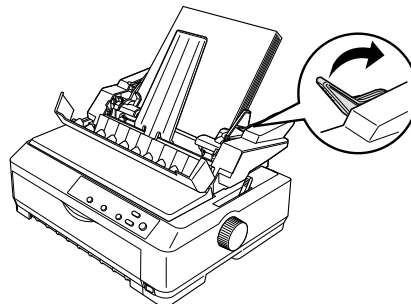
切り替えレバーは、単票紙をセットする場合は「単票紙」、ハガキをセットする場合は「ハガキ」の位置にしてください。

5 **カットシートフィーダーのエッジガイドの位置を調整します。**

固定レバーを手前に倒してから①、エッジガイド（左）の位置をマーク（ ）に合わせ②、エッジガイド（右）の位置を用紙の幅に合わせて移動し③、用紙サポートを左右のエッジガイドの中央に移動します④。

参考

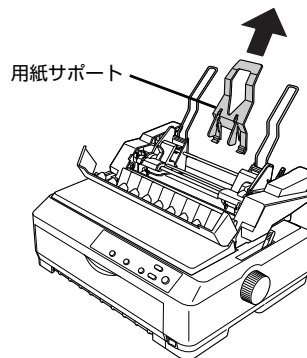
カットシートフィーダーの用紙サポートは、用紙幅に合わせたエッジガイド（右）および（左）の中央に合わせてください。用紙サポート位置が片寄っていると正しく給紙されないことがあります。

6 **固定レバーを後ろに倒して固定します。**

7 **用紙セットレバーを手前に倒します。**

8 **用紙をセットします。**

用紙はよくさばいてから用紙の端をそろえ、用紙をセットします。

カットシートフィーダーのエッジガイド（右）を用紙の側面に軽くあて左右の用紙セットレバーを起こします。

！注意

ハガキをセットする場合は、用紙サポートを取り外し、カットシートフィーダーのエッジガイドをハガキの幅に合わせてください。

『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「単票紙の給紙と排紙」-「ハガキ」

参考

- セットした用紙が多すぎると、用紙セットレバーを完全に閉じることができません。用紙枚数を減らしてください。
- カットシートフィーダーから給紙された用紙は、用紙ガイド上に排紙されます。用紙ガイドで保持できる用紙容量は、紙厚約 2.5mm 以下です。

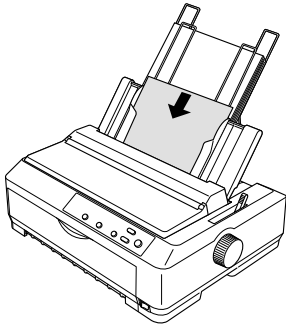
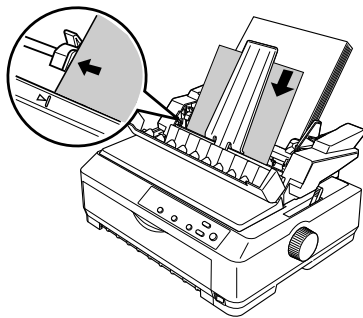
9 **プリンタの電源を入れます。**

コンピュータからデータを送ると、自動的に給紙して印刷されます。給紙されない場合は、操作パネルのビン選択が合っているかを確認してください。

CSF 装着時の単票紙の手差し給紙

カットシートフィーダーを取り付けたまま、単票紙を用紙ガイド（前）またはカットシートフィーダーから手差し（1 枚ずつ）給紙することができます。用紙ガイド（前）からの給紙については、以下のページを参照してください。

『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「単票紙の給紙と排紙」

- カットシートフィーダー A を取り付けたまま手差し給紙する場合は、用紙ガイド（後）を取り付けて用紙をセットしてください。

- カットシートフィーダー B を取り付けたまま手差し給紙する場合は、スタッカサポートとエッジガイドの間に用紙を差し込み、用紙の左端を図のマークの位置にあわせ、［給紙 / 排紙］スイッチを押して給紙してください。

参考

印刷が 1 枚を超える場合、2 枚目からは自動的にカットシートフィーダーから給紙されます。2 枚以上の用紙を続けて手差し給紙するときは、カットシートフィーダーの用紙セットレバーを手前に倒して、カットシートフィーダーから給紙できないようにしてください。

困ったときは

!注意 Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 をお使いの場合は、『補足説明書　セットアップと印刷方法』も参照してください。
『補足説明書　セットアップと印刷方法』はエプソンのホームページからダウンロードしてください。
【サービス名】ダウンロードサービス
【アドレス】　http://www.epson.jp/

参考 用紙が詰まったときの対処方法は、以下を参照してください。
『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「用紙が詰まったときは」

ランプが点灯しない

電源を入れても操作パネルのランプが 1 つも点灯しないときは、次の 3 点を確認してください。

電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

電源コンセントに問題はありませんか？
コンセントがスイッチ付きの場合は、スイッチを入れます。
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？
コンセントの電圧を確認して、正しい電圧で使用してください。

参考 以上 3 点を確認の上で電源を入れてもランプが点灯しない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）裏表紙をご覧ください。

ランプが点灯していても印刷できない

リボンカートリッジの取り付けを確認しましょう

リボンカートリッジが正しく取り付けられていますか？
以下のページを参照してリボンカートリッジを正しく取り付けてください。
『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「リボンカートリッジの交換」

コンピュータとの接続を確認しましょう

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
また、ケーブルが断線していないか、極端に折れ曲がっていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください）。

コネクタのピンが折れたりしていませんか？
コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本製品の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

☞ 本書 61 ページ「オプションと消耗品一覧」

コンピュータとプリンタはケーブルで直結していますか？

プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファおよび延長ケーブルを使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できないことがあります。

プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。

ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。

ほかのコンピュータから印刷できる場合は、印刷できないコンピュータの設定に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを印刷のできるコンピュータを参考に確認してください。

印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者へご相談ください。

プリンタドライバを確認しましょう

本製品用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

本製品用の Windows プリンタドライバがコントロールパネルやアプリケーションで、通常使うプリンタとして選択されているか確認してください。

① Windows 8：
[スタート] 画面の [デスクトップ] をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、[設定] - [コントロールパネル] の順にクリックし、[ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンタの表示] をクリックします。

Windows 7：
[スタート] - [デバイスとプリンタ] の順にクリックます。

Windows Vista：
[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] の順にクリックします。

Windows XP：
Windows XP Professional は [スタート] - [プリンタと FAX]、Windows XP Home Edition は [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows 2000：
[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。

② 使用するプリンタアイコンにチェックマークが付いているか確認します。

エラーが発生していないか確認しましょう

プリンタ側

［印刷可］ランプが点滅して印刷しない、あるいは印刷が突然止まった場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。このようなときは、プリントヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。

［印刷可］ランプが消えていませんか？
［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。

用紙がなくなっていませんか？
用紙をセットしてください。用紙を変更したときは、一旦電源を切り、入れ直してください。

レリースレバーの設定が合っていますか？
レリースレバーの設定を確認してください。給紙する用紙に合わせて正しく設定してください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」

データを受信するインターフェイスの設定が合っていますか？
インターフェイスカードを取り付けていない場合は、プリンタ設定値のインターフェイス選択は［自動］または接続しているインターフェイスの値に設定してください。
☞ 本書 56 ページ 「設定項目」

用紙やリボンや保護材などが詰まっていませんか？
電源を切って、取り除いてください。

プリンタがハング（異常な状態で停止）していませんか？
一旦電源を切ってからしばらく待ち、再度電源を入れて印刷をしてください。

コンピュータ側

プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先が合っていますか？
プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。
☞ 本書 37 ページ 「プリンタ接続先の設定」

プリンタのステータスが［一時停止］になっていませんか？
印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷が停止すると、プリンタのステータスが［一時停止］になります。印刷を開始するためには［一時停止］のチェックを外すか、［再開］を選択します。
☞ 本書 16 ページ 「印刷の中止の仕方」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生していませんか？
以下の項目を確認してください。

- プリンタドライバの［プロパティ］（Windows 2000/XP/Vista）または［プリンタのプロパティ］（Windows 7/8）を開き、［ポート］タブの［印刷するポート］が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
  ☞ 本書 37 ページ 「プリンタ接続先の設定」
- プリンタドライバの［プロパティ］（Windows 2000/XP/Vista）または［プリンタのプロパティ］（Windows 7/8）を開き、［詳細設定］タブで［プリンタに直接印刷データを送る］の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- 本製品は ECP モードに対応しておりません。お使いのコンピュータが ECP モードになっている場合は、BIOS 設定をノーマルまたはスタンダードモードに変更してください。BIOS 設定の詳細は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

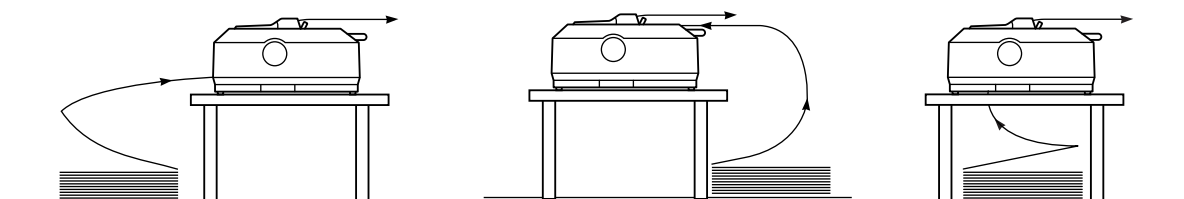
コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません」「用紙がありません」と表示されていませんか？
仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源が入っているか、用紙が正しくセットされているかを確認してください。インターフェイスケーブルの詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 61 ページ 「オプションと消耗品一覧」

紙送りがうまくいかない

仕様に合った用紙を使用していますか？

用紙厚さ・用紙枚数や紙質など仕様に合った用紙を使用してください。
使用可能な用紙については以下のページを参照してください。
☞ 本書 45 ページ 「印刷できる用紙」

連続紙の置き場所に問題はありませんか？

連続紙が引っかからないように、連続紙の置き場所は、プリンタから 1m 以内の場所でプリンタに対してまっすぐ給紙される位置に置いてください。
連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

エッジガイドの間隔は適切ですか？

単票紙がスムーズに給紙できるよう、エッジガイドの間隔を調整してください。
エッジガイドの間隔が狭すぎると用紙が詰まることがあります。逆に広すぎると用紙が傾いて給紙されることがあります。

単票紙はしっかりと差し込まれていますか？

手差し給紙するときは、エッジガイドに用紙をセットし、用紙の端部中央を指で押すように差し込んでください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「単票紙の給紙と排紙」

連続紙がトラクタから外れていませんか？

連続紙をトラクタに正しくセットし直してください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「連続紙の給紙と排紙」

連続紙が傾いた状態でトラクタにセットされていませんか？

連続紙の両端の穴が左右ずれた状態でトラクタにセットされていると正常な紙送りができません。
左右のスプロケットのゴムピンの位置を揃えます。連続紙の左右の穴位置はスプロケットのゴムピンに揃えてセットしてください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「連続紙の給紙と排紙」

連続紙をセットする際にスプロケットの間隔は適当ですか？

連続紙がたるんだり、強く張りすぎたりしないように左右のスプロケットの位置を調整してください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「連続紙の給紙と排紙」

アジャストレバーは適正な位置に設定されていますか？

アジャストレバーの設定が適正でないと、紙詰まりや斜めに給紙される原因となります。アジャストレバーを適正な位置に設定してください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」-「アジャストレバーの設定」

レリーズレバーの設定が合っていますか？

レリーズレバーの設定を確認してください。給紙する用紙に合わせて正しく設定してください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」

レリーズレバーが単票紙（ CUT ）位置になっていますか？

- カットシートフィーダーから給紙するときは、レリーズレバーを単票紙（ CUT ）位置に設定してください。
- レリーズレバーが単票紙（ CUT ）になっているにもかかわらず、連続紙が給紙されてしまったときは、連続紙が完全に後方へ排紙されていなかったことが考えられます。レリーズレバーを切り替える前に、［給紙 / 排紙］スイッチを押して、連続紙をトラクタの位置まで完全に戻してからレリーズレバーを切り替えてください。

カットシートフィーダーで給排紙がうまくできない

給紙されなかったり、[用紙チェック] ランプが点灯しませんか?

- プリンタが印刷不可状態になっています。
  [印刷可] スイッチを押してプリンタを印刷可状態にしてから印刷命令を送ってください。
- 用紙がカットシートフィーダーにセットされていません。
  用紙をカットシートフィーダーにセットしてください。
  ☞ 本書 64 ページ 「カットシートフィーダー」
- カットシートフィーダーが正しく取り付けられていません。
  カットシートフィーダーがプリンタ本体に正しく取り付けられていることを確認してください。
- カットシートフィーダーのエッジガイド間隔が不適切です。
  セットした用紙がなめらかに給紙するように、エッジガイドの間隔を狭すぎず / 広すぎずに調整してください。
- カットシートフィーダーにある最後の 1 枚は給紙されないことがあります。
  カットシートフィーダーの用紙が少なくなったら、残っている用紙をすべて取り除き、新しい用紙をセットしてください。用紙が残っている状態で新しい用紙を追加すると、同時に複数枚の用紙が送られてしまい紙詰まりの原因となることがあります。
- 用紙がブロッキング(くっついている状態)しています。
  セットする前に用紙をよくさばいてください。なお、カットシートフィーダーでは複写紙は使えません。
  ☞ 本書 49 ページ 「単票紙(単票複写紙)」
- 使い古しの用紙や折り跡、しわのある用紙が使われています。
  仕様に合った新しい用紙をお使いください。

一度に 2 枚以上の用紙が給紙されませんか?

- カットシートフィーダーにセットされている用紙の枚数が多すぎます。
  セットされている用紙の枚数を減らしてください。セットできる用紙の枚数は以下のページを確認してください。
  ☞ 本書 49 ページ 「単票紙(単票複写紙)」
- 用紙がブロッキング(くっついている状態)しています。
  セットする前に用紙をよくさばいてください。なお、カットシートフィーダーでは複写紙は使えません。
  ☞ 本書 49 ページ 「単票紙(単票複写紙)」
- 使い古しの用紙や折り跡、しわのある用紙が使われています。
  仕様に合った新しい用紙をお使いください。
- カットシートフィーダーに用紙が残っている状態で新しい用紙を追加すると、同時に複数枚の用紙が送られることがあります。用紙が少なくなったら、残っている用紙をすべて取り除き、新しい用紙をセットしてください。

用紙が曲がって給紙されませんか?

- 使い古しの用紙や折り目・しわのある紙はうまく紙送りされず、プリンタ内で引っかかることがあります。
  仕様に合った新しい用紙をお使いください。
- カットシートフィーダーのエッジガイドの間隔が広すぎます。
  エッジガイドを用紙の幅に合わせて調整してください。
- 用紙が仕様に合っていません。
  仕様に合った新しい用紙をお使いください。

プルトラクタユニットを使用して紙送りがうまくできない

プッシュトラクタ(後)とプルトラクタユニットの間で連続紙がたるんでいませんか?

連続紙のたるみを取り除いてから給紙してください。

プッシュ/ プルトラクタ、カットシートフィーダーから給紙しない

プッシュトラクタまたは CSF(カットシートフィーダー)から給紙していませんか?

給紙方法を [自動選択] に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダーを使用する場合は、[デバイスの設定] ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。[デバイスの設定] ダイアログは [プリンタ] フォルダ(Windows 2000)または [プリンタと FAX] フォルダ(Windows XP/Vista)または[デバイスとプリンタ]フォルダ(Windows 7/8)で本製品のアイコンを右クリックして[プロパティ](Windows 2000/XP/Vista)または [プリンタのプロパティ](Windows 7/8)をクリックすると表示されます。

排紙が正しくできない

［改行 / 改ページ］スイッチを使用して排紙していませんか？
単票紙を排紙する場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを使用してください。

印刷が終わると急に紙送りされませんか？
自動ティアオフ機能が設定されています。設定を解除するには、プリンタの設定値を変更します。
本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」

ミシン目とカット位置がずれていませんか？
ミシン目がカット位置に来ない場合は、以下の 3 点を確認してください。

- プリンタ設定の［連続紙ページ長］をお使いの用紙サイズと合わせてください。
  本書 54 ページ 「プリンタ設定の方法」
- ソフトウェア上の用紙サイズまたはページ長（連続紙）と、お使いの用紙サイズを合わせてください。
  本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」
  本書 7 ページ 「プリンタドライバの設定」
- 用紙カット位置を調整してください。
  本書 52 ページ 「用紙位置の微調整（微小送り）」

連続紙が排紙されずに給紙位置に残っていませんか？
排紙する前に印刷の終了している連続紙をミシン目で切り離してください。

ラベル紙が詰まったり引っかかったりしませんか？

- ラベル紙を［給紙 / 排紙］スイッチで排紙しようとしています。ラベル紙を排紙（逆送り）すると、プリンタ内部に貼り付くことがあります。
  ティアオフ機能は使用しないでください。
  印刷後のラベル紙を取り出すときは、［改行 / 改ページ］スイッチで排紙してください。ラベル紙からほかの用紙に切り替えるときは、トラクタ側のミシン目で切り離し、ラベル紙を取り除いてください。再度ラベル紙を使用するときは、ラベル紙をセットし直してください。
- アジャストレバーは適正な位置に設定されていますか？
  アジャストレバーの設定が正しくありません。アジャストレバーを適正な位置（レバー位置 : 2）に設定してください。
  『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」-「アジャストレバーの設定」

プリンタ内部にラベル紙が貼り付いて正常に印刷できないときは、無理に取り除かずにお買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。保守サービスについては、『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）裏表紙をご覧ください。

印刷結果が画面表示と異なる

印刷される文字が画面と違う

本書でご案内しているインターフェイスケーブルを使用していますか？
推奨ケーブル以外のケーブルを接続に使用すると正常に印刷できないことがあります。
本書 61 ページ 「オプションと消耗品一覧」

文字が化けたり、記号がカタカナで印刷されていませんか？

- 文字コード表の選択が合っていますか？プリンタ設定値の「文字コード表」の設定を確認してください。
  本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」
- ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC t n）により、文字コード表を選択してください。
  本書 110 ページ 「コントロールコード表」

特定の文字や記号が違う文字や記号に化けませんか？
国際文字の選択が間違っています。ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC R n）により、使用する国の文字に変更してください。

文字が混入したり、まったく違う文字記号に化けていませんか？

- プリンタ設定を確認してください。
- PC-98 系コンピュータを使用しているときは、プリンタ設定の［ESC/P スーパー］を［オン］に設定してください。ソフトウェア上のプリンタ設定がエプソンプリンタのとき、または海外版ソフトウェアを使用しているときは、［ESC/P スーパー］を［オフ］に設定してください。
  本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」
- コンピュータ側のパラレルインターフェイスの設定が［ECP モード］になっているときは［ノーマルモード］または［スタンダードモード］に変更してください。設定変更の方法は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

画面の表示が JIS C6226-1978 漢字コードで表示されていませんか？

本製品で印刷する漢字は JIS X0208-1990 に準拠しています。JIS C6226-1978 との違いは、以下のページを参照してください。
本書 123 ページ 「JIS C6226-1978 との違い」

EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 を使用していますか？

端末エミュレータソフトウェアや自作ソフトウェアなど、Windows 環境でもプリンタドライバを経由しない特殊なソフトウェアからの印刷時に、EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 を使用していると正常に印刷できない場合があります。このようなときは EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 をアンインストールしてから印刷を行ってください。またプリンタ設定値の「パケット通信」を［オフ］に設定してください。

印刷位置(結果)が画面と違う

空白行が入ったり、改ページが正しく行われずに印刷されていませんか？

プリンタドライバをお使いの場合

- プリンタドライバから用紙サイズを設定している場合は、正しい用紙サイズを選択してください。
  本書 7 ページ 「プリンタドライバの設定」
- プリンタドライバで設定されている用紙サイズと使用している用紙のサイズを合わせてください。この際、用紙長が一致するサイズを選択してください。
  たとえば、用紙幅 7 インチ、用紙長 4.5 インチの連続紙の場合は、用紙サイズの「10 x 4 1/2inch 連続紙」を選択します。
  用紙の横方向のサイズがいくつであっても「10 x XXinch 連続紙」を選択し、右マージンはアプリケーションソフトの設定で行ってください。

プリンタドライバを使わない場合

- アプリケーションソフトやプリンタで設定されているページ長または用紙サイズと実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズが異なっています。
  アプリケーションソフトやプリンタの設定を実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズと合わせてください。
  連続紙のページ長は、プリンタ設定値の「ページ長（連続紙）」で設定します。
  本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」
- プリンタ設定のミシン目スキップが［オン］に設定されています。プリンタ設定のミシン目スキップを［オフ］にしてください。
  本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」

行間隔が違っていませんか？

- 改行量の設定が不適切な場合は、行間隔が広くなったり狭くなったりします。アプリケーションソフトの改行量を正しく設定してください。
- すべての行間に空白行が追加される場合は、プリンタ設定の自動改行が［オン］に設定されている可能性があります。ソフトウェアから改行命令が送られるときは、自動改行する必要はありません。プリンタ設定値の自動改行を［オフ］に設定してください。
  本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」

水平方向にずれていませんか？

単票紙
用紙ガイドのエッジガイド位置は、単票紙の左マージン（余白）に影響します。

エッジガイド（左）をガイドマーク ▷| に合わせてください。もう一方のエッジガイドは用紙の幅に合わせてください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「単票紙の給紙と排紙」

連続紙
連続紙の使用時、スプロケットの位置を確認してください。

連続紙の使用時、スプロケット（左）の位置は左マージン（余白）に影響します。スプロケットの位置を調整して印刷してください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「連続紙の給紙と排紙」

印刷位置の指定がずれていませんか？（Windows XP(64bit)/Vista/7/8 のみ）
以下の 2 つを確認してください。

- プリンタドライバの［印刷位置のオフセット］
  ［拡張設定］タブの［印刷位置のオフセット］で印刷位置の縦方向 / 横方向のオフセットを指定すると、設定値の分だけ印刷位置が画面とずれます。
  また、オフセットによって印字推奨領域からはみ出したデータは印刷されません。
  プリンタドライバをインストールした直後の入力値に戻すときは［初期値に戻す］をクリックしてください。
  ☞ 本書 11 ページ 「⑦印刷位置のオフセット（Windows XP(64bit)/Vista/7/8 のみ）」
- プリンタドライバの［印字開始位置の設定］
  ［プリンタ優先］の場合は、プリンタで設定されている印字開始位置で印刷されます。アプリケーションソフトの設定で印刷したい場合は［ドライバ優先］に設定してください。
  ☞ 本書 13 ページ 「①インストール可能なオプション」

印刷が欠けていませんか？（Windows XP(64bit)/Vista/7/8 のみ）
プリンタドライバで［印刷位置のオフセット］が設定されてないか確認してください。

［拡張設定］タブの［印刷位置のオフセット］で印刷位置の縦方向 / 横方向のオフセットを指定すると、設定値の分だけ印刷位置が画面とずれます。

また、オフセットによって印字推奨領域からはみ出したデータは印刷されません。

プリンタドライバをインストールした直後の入力値に戻すときは［初期値に戻す］をクリックしてください。
☞ 本書 11 ページ 「⑦印刷位置のオフセット（Windows XP(64bit)/Vista/7/8 のみ）」

印刷データが残った状態で用紙を足してから印刷を再開していませんか？
連続紙の最終行は印字できない領域のため、最終行の印字データは次ページへ繰り越されます。このときに用紙を継ぎ足して印刷を再開すると、繰り越された行の分だけ印字位置が下がって印刷されてしまいます。コンピュータのプリントキューから印字データを削除した後、プリンタをリセットしてから印刷実行の操作をやり直してください。
☞ 本書 16 ページ 「印刷の中止の仕方」

改行されずに重なって印刷されていませんか？
改行命令がコンピュータから送られていません。プリンタ設定値の自動改行を［オン］にしてください。
☞ 本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」

ミシン目付近に印刷されていませんか？
連続紙の実際のページ長とプリンタ設定の［連続紙ページ長］が異なっています。

アプリケーションソフトやプリンタ設定を実際に使用している用紙の長さと合わせてください。

プリンタドライバをお使いの場合
プリンタドライバで用紙サイズを設定しているときは、正しい用紙サイズを選択してください。
☞ 本書 9 ページ 「設定項目」

プリンタドライバを使わない場合
連続紙のページ長は、プリンタ設定値の「ページ長（連続紙）」で設定します。
☞ 本書 56 ページ 「設定項目」

罫線がずれる

プリンタ設定値の印字方向が双方向に設定されていませんか？

以下のページを参照して、プリンタ設定値の印字方向を［単方向］に設定するか、双方向印刷の調整をしてください。

- プリンタ設定値の印字方向を［単方向］に設定する場合
  ☞ 本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」
- 双方向印刷の調整を行う場合
  ☞ 本書 60 ページ 「双方向印刷の調整」

ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC U）で単方向印字を設定してください。

罫線が切れたり、印刷がずれたりしていませんか？

プリンタドライバやアプリケーションソフトのプリンタ設定に問題があります。以下の内容を順番に確認してください。

①アプリケーションソフト上の用紙設定を、プリンタで使用する用紙と合わせてください。

②プリンタにカットシートフィーダーを取り付けているときは、アプリケーションソフト上でカットシートフィーダーが使用できるかどうか確認してください。
カットシートフィーダーが使用可能なときは、ソフトウェア上でカットシートフィーダーを使用する設定にしてください。
カットシートフィーダーの記載がないときまたはプリンタ設定で PC-PR 系のプリンタ（PC-PR201H など）を選択したときは、プリンタからカットシートフィーダーを取り外してください。

変更したパネル設定値は有効になっていますか？

プリンタの設定値を印刷して現在の設定状態を確認してください。
☞ 本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」

設定と違う印刷をする

プリンタ設定値（パネル設定）、プリンタドライバ、アプリケーションソフトから異なった条件で設定されていませんか？

印刷条件の設定は、プリンタ設定値、プリンタドライバ、アプリケーションソフトそれぞれで設定できますが、各設定の優先順位は、ご使用の状況によって異なります。設定と違う印刷を行う場合は、各設定を確認してください。
☞ 本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」
たとえば、書体の選択では Windows プリンタドライバやアプリケーションソフトによる設定が優先され、パネル設定は無視されます。

印刷開始位置がずれる

プリンタの電源が入っているとき、用紙を引き抜いていませんか？

プリンタの電源が入っているとき用紙を引き抜くと、印刷開始位置がずれたり、用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。印刷後の用紙を排紙する場合は、以下のページを参照してください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「単票紙の給紙と排紙」
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「連続紙の給紙と排紙」
詰まった用紙を取り除く場合は、以下のページを参照してください。
☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「用紙が詰まったときは」

Windows 環境でプリンタドライバを経由して印刷していますか？

Windows 環境で本製品のプリンタドライバを経由して印刷している場合は、操作パネルで設定した印刷開始位置は無効になり、アプリケーションソフトでの設定値が適用されます。アプリケーションソフトの上余白設定値を印刷開始位置に合わせて設定してください。

印刷品質がよくない

印刷ムラがある、汚い

横一列にところどころ抜けていませんか？

プリントヘッドのピンが折れています。保守契約店（保守契約されている場合）、お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）裏表紙をご覧ください。

印刷の下の部分が欠けていませんか？

リボンカートリッジが正しく取り付けられていません。印刷を中止し、以下のページを参照して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「リボンカートリッジの交換」

斜めの線が入っていませんか？

リボンがたるんだり、ねじれたりしています。印刷を中止し、以下のページを参照して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「リボンカートリッジの交換」

印刷が薄い

リボンのインクが薄くなっていませんか？

印刷を中止し、新しいリボンカートリッジと交換してください。

『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「リボンカートリッジの交換」

アジャストレバーの設定は適切ですか？

アジャストレバーを紙厚に適した設定にしてください。

『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「給紙と排紙」-「給紙経路と用紙」-「アジャストレバーの設定」

プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［ドラフト］になっていませんか？

［正式文書］に設定して印刷してみてください。

本書 12 ページ「グラフィックスと印刷品質」

プリンタドライバの使い方がわからない

インストール方法がわからない

本製品に同梱のプリンタドライバをお使いください。

本製品に同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に Windows 用プリンタドライバが収録されています。以下の手順に従って、正しくインストールしてください。

『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「プリンタのセットアップ」-「7. プリンタドライバのインストール」

用紙サイズの設定がわからない

プリンタドライバの用紙設定を確認してください。

単票紙の場合

定形紙	［用紙サイズ］リストからクリックして選択します。一覧にない定形紙は、ユーザー定義サイズで設定する必要があります。
定形外	ユーザー定義サイズで設定してください。

本書 14 ページ 「任意の用紙サイズを登録するには」

連続紙の場合

以下の手順に従って設定してください。

① 用紙の横と縦（ミシン目とミシン目の間）のサイズを計ります。

② プリンタドライバ上では、inch 単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inch は、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 10inch ×縦 4.5inch の用紙とします）。

③ プリンタドライバの［用紙サイズ］リストから、10 × 4.5inch に合うサイズを選択します。プリンタドライバ上では、4.5inch を 4 1/2inch と分数で表現しています。

④ プリンタドライバ上の横の長さは、10inch の設定しかありません。5 × 4.5inch など横の長さが一致しない場合は、縦の長さ（4.5 = 4 1/2inch）だけ一致する用紙を選択します。この場合は、アプリケーションソフト上で、印刷範囲を横 5inch 以内になるように設定してください。

縦の長さが一致するサイズがリストにない場合は、ユーザー定義サイズで設定してください。

本書 14 ページ 「任意の用紙サイズを登録するには」

通信エラーが発生する

プリンタの電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源を入れます。

プリンタでエラーが発生していませんか？

操作パネルの［印刷可］ランプが点灯していることを確認してください。［印刷可］ランプが点灯していないときは、［印刷可］スイッチを押してください。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、極端に折れ曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本製品の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

☞ 本書 61 ページ 「オプションと消耗品一覧」

シリアルインターフェイスケーブルを使用していませんか？

シリアル接続で EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 は利用できません。

Windows 共有プリンタ（ピアトゥピア接続）を使用していませんか？

Windows 共有プリンタが監視できないときは、以下の設定を確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）のコントロールパネルにある［ネットワーク］アイコンを開き、［Microsoft ネットワーク共有サービス］が設定されていることを確認します。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）に、本製品のプリンタドライバがインストールされ、共有プリンタの設定がされていることを確認します。
  ☞ 本書 33 ページ 「プリントサーバの設定」
- EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］画面の［共有プリンタをモニタさせる］（Windows 2000/XP/Vista）または EPSON ステータスモニタの［EPSON ステータスモニタの設定］画面の［共有プリンタを監視させる］（Windows 7）または EPSON ステータスモニタ 3 の［モニタの設定］画面の［共有プリンタをモニタさせる］（Windows 8）にチェックが付いていることを確認します。
  ☞ 本書 19 ページ 「［モニタの設定］画面」
  ☞ 本書 24 ページ 「監視プリンタの設定」
  ☞ 本書 30 ページ 「［モニタの設定］画面」

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？

［プリンタ］フォルダ（Windows 2000）または［プリンタと FAX］フォルダ（Windows XP/Vista）または［デバイスとプリンタ］フォルダ（Windows 7/8）からプリンタドライバのプロパティを開き［ポート］タブの［双方向サポートを有効にする］にチェックが付いていることを確認します。

Windows 環境で、プリンタドライバを経由せず、直接プリンタに出力するアプリケーションソフトを使用していませんか？

EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 と通信が競合する場合がありますので、EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 をアンインストールしてください。

☞ 本書 39 ページ 「プリンタソフトウェアの削除」

1 台のコンピュータに複数ユーザーが同時にログインして使用していませんか？

Windows XP(64bit)/Vista(32bit/64bit) の複数ユーザー環境において、いずれかのユーザーが印刷中にユーザー切り替えによってほかのユーザーが印刷したとき、通信エラーが発生することがあります。

一方のユーザーの印刷が終わったことを確認し、ログアウトしてから、他方のユーザーに切り替えて印刷してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3

監視できない

印刷の方法として「NetBEUI 印刷」、「IPP 印刷」、「DLC 印刷」を使用していませんか？

これらの環境下では EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 は使用できません。プリンタドライバの［ユーティリティ］タブで［プリンタをモニタする］のチェックを外してください。

☞ 本書 17 ページ 「プリンタの監視（EPSON プリンタウィンドウ !3)」
☞ 本書 27 ページ 「プリンタの監視（EPSON ステータスモニタ 3)」

共有プリンタを監視できない

Windows XP/Vista/7/8 で、［Windows セキュリティの重要な警告］画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、［ブロックする］や［遮断する］を選択しましたか？

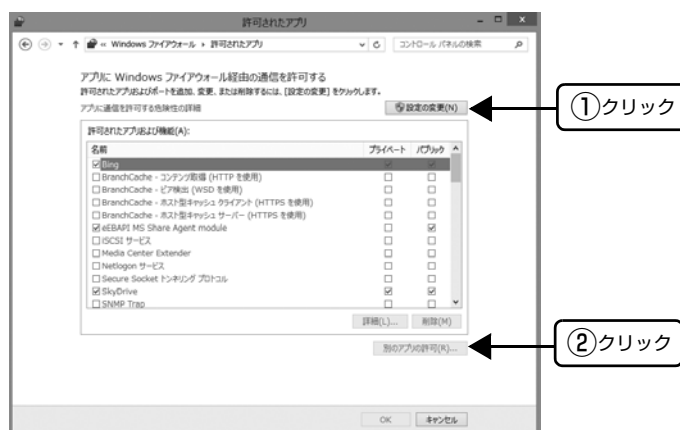
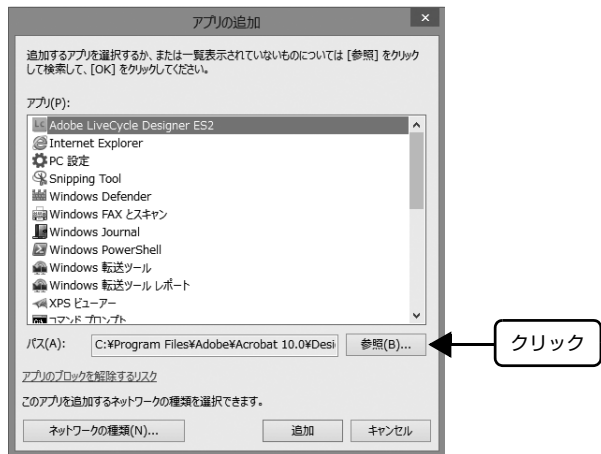
［ブロックする］や［遮断する］を選択すると、共有プリンタとの通信ができなくなるため EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 で共有プリンタを監視できません。

通信を可能にするには、Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで例外アプリケーションとして登録してください。

Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

Windows 8 の場合

1 **［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可］の順にクリックします。**

2 **［設定の変更］をクリックし、［別のアプリの許可］をクリックします。**

3　［参照］をクリックします。

4　［eEBAgent.exe］を指定して［開く］をクリックします。

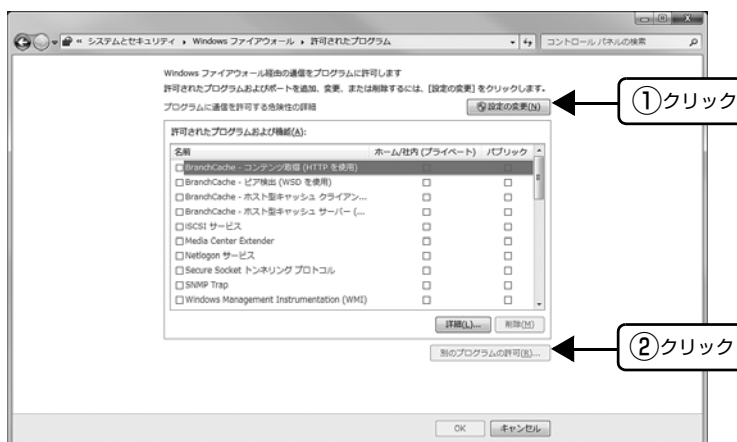
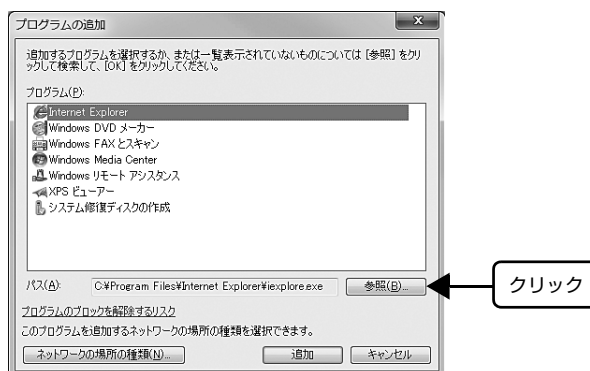
［eEBAgent.exe］は、Windows がインストールされているドライブの以下のフォルダに保存されています。
ドライブ名（C など）:¥Program Files¥Common Files¥EPSON¥EBAPI¥eEBAgent.exe

5　リストに［eEBAPI MS Share Agent module］が追加されていることを確認し、［追加］をクリックします。

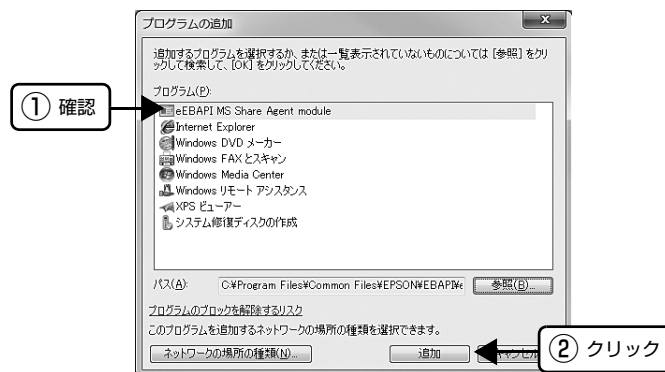
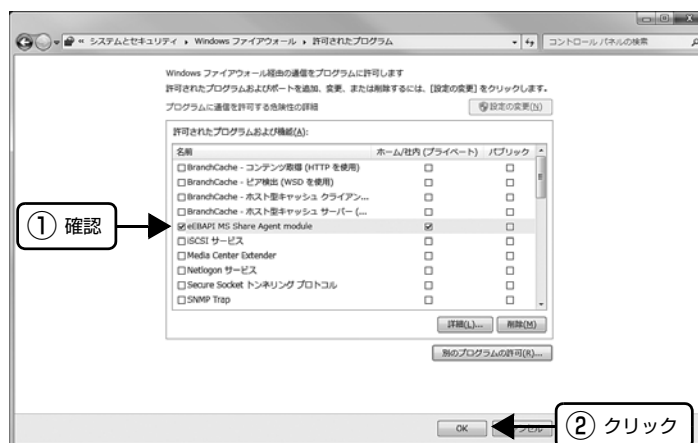
6 ［許可されたアプリおよび機能］に［eEBAPI MS Share Agent module］が追加され、チェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

Windows 7 の場合

1 ［スタート］-［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］の順にクリックします。

2 ［設定の変更］をクリックし、［別のプログラムの許可］をクリックします。

3 ［参照］をクリックします。

4 ［eEBAgent.exe］を指定して［開く］をクリックします。

［eEBAgent.exe］は、Windows がインストールされているドライブの以下のフォルダに保存されています。
ドライブ名（C など）:¥Program Files¥Common Files¥EPSON¥EBAPI¥eEBAgent.exe

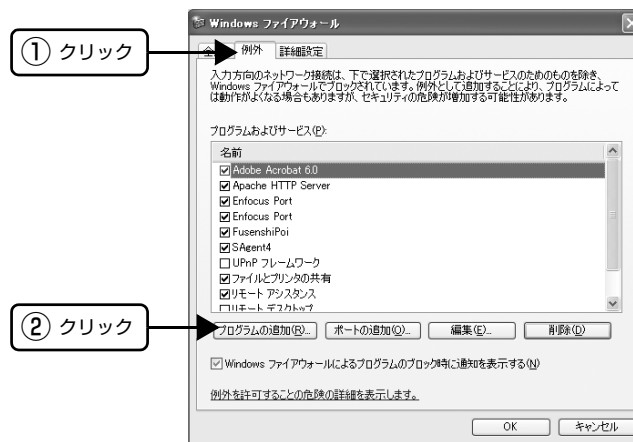
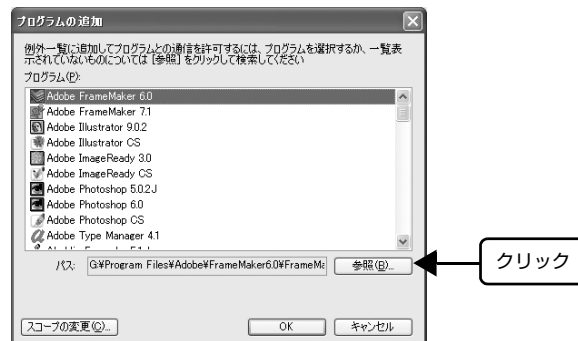
5 リストに［eEBAPI MS Share Agent module］が追加されていることを確認し、［追加］をクリックします。

6 ［許可されたプログラムおよび機能］に［eEBAPI MS Share Agent module］が追加され、チェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

Windows XP/Vista の場合

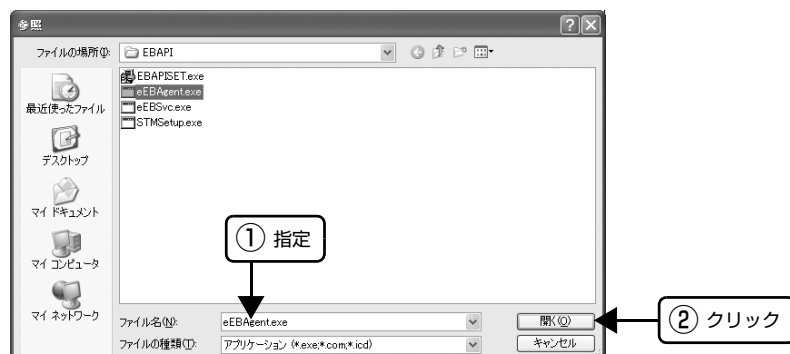
1 [スタート] - [コントロールパネル] の順にクリックします。

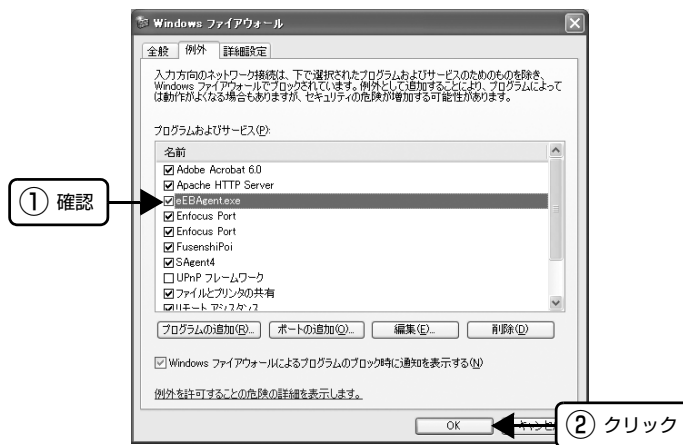
2 [Windows ファイアウォール] / [Windows ファイアウォールの設定] 画面を開きます。

Windows Vista:
① [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。
② [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されるので [続行] をクリックします。

Windows XP:
① [セキュリティセンター] をクリックします。
② [Windows ファイアウォール] をクリックします。

3 [例外] タブをクリックして、[プログラムの追加] をクリックします。

4 [参照] をクリックします。

5 [eEBAgent.exe] を指定して [開く] をクリックします。

[eEBAgent.exe] は、Windows がインストールされているドライブの以下のフォルダに保存されています。
ドライブ名（C など）:¥Program Files¥Common Files¥EPSON¥EBAPI¥eEBAgent.exe

6 リストに［eEBAgent.exe］が追加されていることを確認し、［OK］をクリックします。

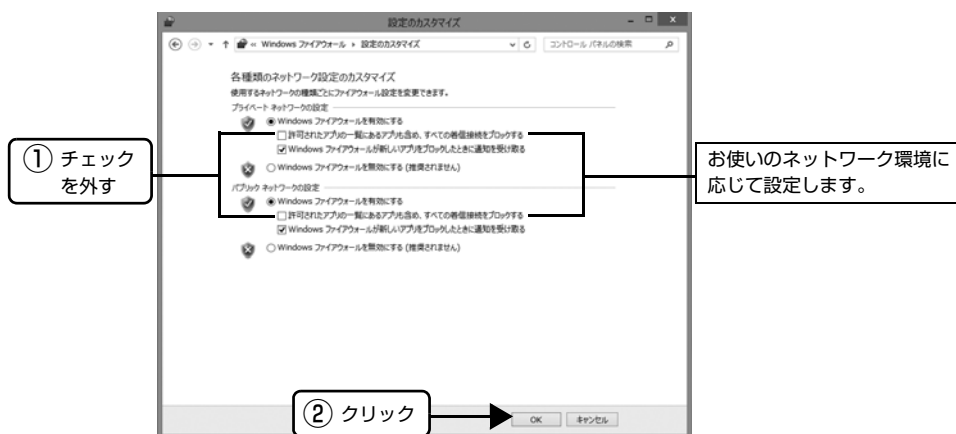
7 ［プログラムおよびサービス］/［プログラムまたはポート］に［eEBAgent.exe］が追加され、チェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

以上で終了です。

Windows XP/Vista/7/8 の Windows ファイアウォールで、［例外を許可しない］を選択しましたか？
［例外を許可しない］/［すべての着信履歴をブロックする］を選択すると、EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 はポップアップでエラー表示しません。エラーをポップアップ表示するには、Windows ファイアウォールで「例外を許可しない」設定を解除し、「ファイルとプリンタの共有」をチェックしてください。

Windows 8 の場合

1 ［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。

2 ［通知設定の変更］または［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックして［設定のカスタマイズ］画面を開きます。

3 ［許可されたアプリの一覧にあるアプリも含め、すべての着信接続をブロックする］のチェックを外し、［OK］をクリックします。
設定する項目は、お使いのネットワーク環境が「プライベートネットワーク」か「パブリックネットワーク」かによって異なります。お使いのネットワーク環境に応じて設定してください。

4 ［Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可］をクリックします。

5 ［許可されたアプリおよび機能］で［ファイルとプリンタの共有］にチェックして、［OK］をクリックします。

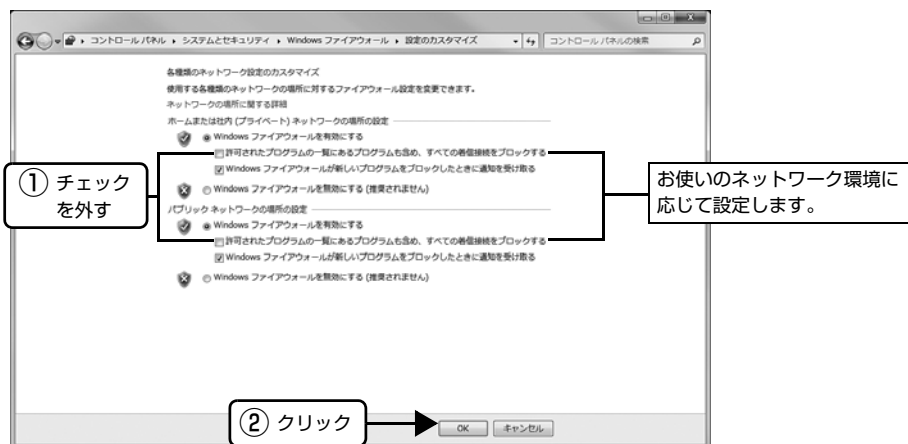
設定する項目は、お使いのネットワーク環境が「プライベートネットワーク」か「パブリックネットワーク」かによって異なります。お使いのネットワーク環境に応じて設定してください。

Windows 7 の場合

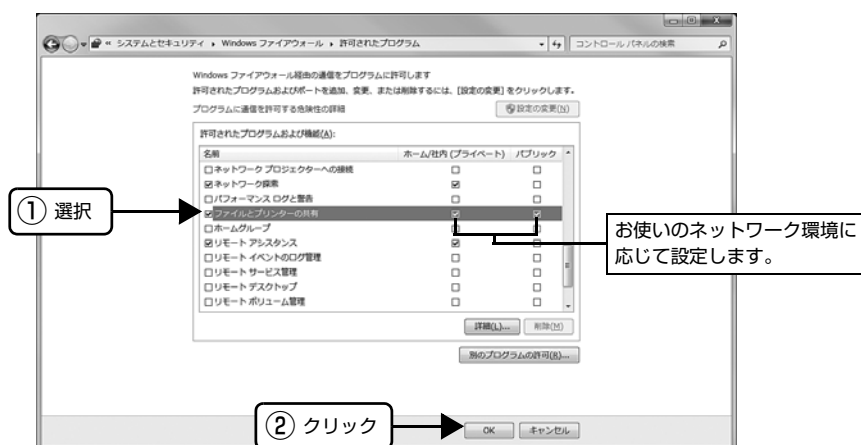
1 ［スタート］-［コントロールパネル］-［システムとセキュリティ］-［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。

2 ［通知設定の変更］または［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックして［設定のカスタマイズ］画面を開きます。

3 ［許可されたプログラムの一覧にあるプログラムも含め、すべての着信接続をブロックする］のチェックを外し、［OK］をクリックします。

設定する項目は、お使いのネットワーク環境が「ホームまたは社内（プライベート）ネットワーク」か「パブリックネットワーク」かによって異なります。お使いのネットワーク環境に応じて設定してください。

4 ［Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する］をクリックします。

5 ［許可されたプログラムおよび機能］で［ファイルとプリンタの共有］にチェックして、［OK］をクリックします。

設定する項目は、お使いのネットワーク環境が「ホームネットワークまたは社内（プライベート）ネットワーク」か「パブリックネットワーク」かによって異なります。お使いのネットワーク環境に応じて設定してください。

Windows XP/Vista の場合

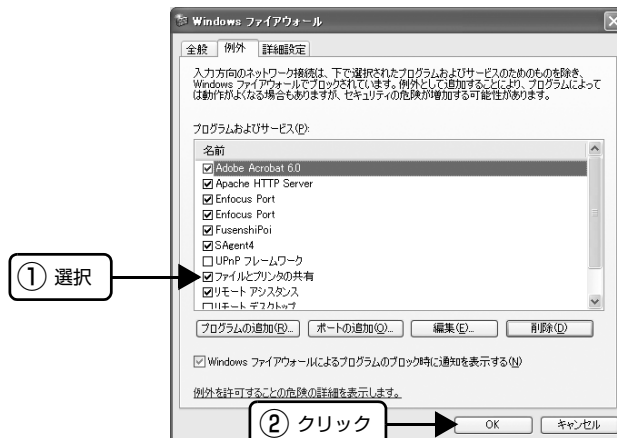
1 ［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 ［Windows ファイアウォール］/［Windows ファイアウォールの設定］画面を開きます。

Windows Vista:
①［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］をクリックします。
②［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので［続行］をクリックします。

Windows XP:
①［セキュリティセンター］をクリックします。
②［Windows ファイアウォール］をクリックします。

3 ［全般］タブをクリックして、［例外を許可しない］のチェックを外します。

4 ［例外］タブをクリックし、［ファイルとプリンタの共有］にチェックをして、［OK］をクリックします。

以上で終了です。

プリントサーバが Windows XP（64bit）/Vista/8 で、クライアントに Windows XP（32bit）より古い OS（Windows 95/98/Me/NT4.0/2000）を設定していませんか？

この組み合わせの環境では､エラーが発生した際にクライアントで EPSON プリンタウィンドウ !3 のエラー画面がポップアップ表示されないことがあります。
EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動したままご使用ください。

Windows 95 をお使いですか？

Windows 95 でお使いの場合、環境によってはプリンタの監視に失敗する場合があります。その場合は、エプソンのホームページの「サポート」-「よくあるご質問」をご覧ください。エプソンのホームページアドレスは『取扱説明書 セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）の裏表紙をご覧ください。

削除（アンインストール）できない

ほかのソフトウェアが起動していませんか？

ほかのソフトウェアが起動していると EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 は削除（アンインストール）できません。ソフトウェアの中には、実際の動作が画面に表示されていなくても起動している場合もありますので、各ソフトウェアの取扱説明書に従って終了させてください。

インターフェイスカードを使用すると印刷できない

インターフェイスカード上のディップスイッチやジャンパーの設定が合っていますか？

インターフェイスカード上にディップスイッチがある場合インターフェイスカードの取扱説明書を参照して、正しく設定してください。

OS やアプリケーションソフトの設定が合っていますか？

OS やアプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、正しい条件を設定してください。

インターフェイスカードとコンピュータの条件設定が合っていますか？

インターフェイスとコンピュータのそれぞれの取扱説明書を参照して、条件を合わせて設定してください。

インターフェイスカードが外れていませんか？

インターフェイスカードがプリンタにしっかりと接続されていること、インターフェイスケーブルがしっかりとコネクタで接続されていることを確認してください。

インターフェイスカードは仕様に合っていますか？

本書記載の「インターフェイスカード」を参照して、仕様に合ったインターフェイスカードを使用してください。
本書 63 ページ 「インターフェイスカード」

プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先が合っていますか？

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。
本書 37 ページ 「プリンタ接続先の設定」

プリンタ設定値の I/F 選択が［自動］以外に設定されていませんか？

プリンタ設定値の I/F 選択を［自動］（または［オプション］）に設定してください。
本書 55 ページ 「操作パネルからの設定」

USB 接続時のトラブル

印刷できない

お使いのコンピュータは、USB 接続するためのシステム条件を備えていますか？
本製品を USB インターフェイスケーブルで接続するためには、USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作保証がされている必要があります。

ご利用のコンピュータが USB を使用できるかどうかは、各コンピュータメーカーへお問い合わせください。

プリンタ設定値の I/F 選択が［自動］（または［USB］）以外に設定されていませんか？
プリンタ設定値の I/F 選択を［自動］（または［USB］）に設定してください。
☞ 本書 55 ページ「操作パネルからの設定」

プリンタドライバの接続先は正しいですか？
新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］/［デバイスとプリンタ］を開きます。**

Windows 8：
［スタート］画面の［デスクトップ］をクリックし、マウスポインタを画面の右上隅へ移動し、［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンタの表示］をクリックします。

Windows 7：
［スタート］-［デバイスとプリンタ］の順にクリックします。

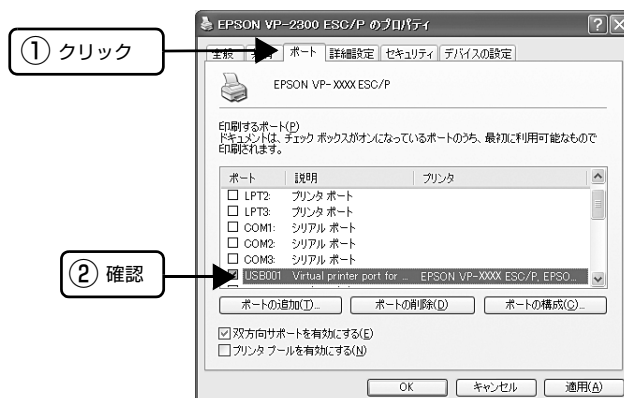
Windows Vista：
［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP：
Windows XP Professional は［スタート］-［プリンタと FAX］、Windows XP Home Edition は［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

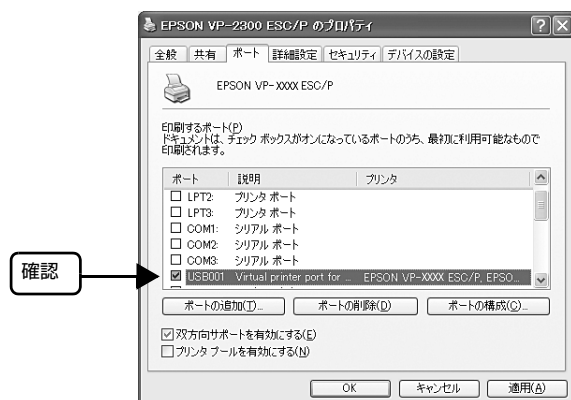
2 **本製品のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］（Windows 2000/XP/Vista）または［プリンタのプロパティ］（Windows 7/8）をクリックします。**

3 ［ポート］/［詳細］タブをクリックして［印刷するポート］/［印刷先のポート］を確認します。

［USBx］と表示されていることを確認します。この表示があれば、USB プリンタとしてのプリンタドライバが正常に組み込まれています。

パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスから LPT1 を選択します。

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源が入っていますか？

プリンタの電源が入っていない状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源を入れて、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本製品を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できます。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本製品を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。

また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

USB ハブが正しく認識されていますか？

Windows の［デバイスマネージャ］の＜ユニバーサルシリアルバス＞の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。

- 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本製品の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
- USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合わせください。

その他のトラブル

印刷中に印刷速度が遅くなった、途中で止まった

- 印刷中に［印刷可］ランプが点滅して印刷速度が遅くなったり、印刷を停止した場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。
- 低温環境下でプリンタを動作させると、コールドモード（プリントヘッドの温度が許容範囲以下になっているために、自動的に印刷速度を低速にしている状態）になる可能性があります。プリントヘッドの温度が上がると、自動的に通常の印刷速度に戻りますので、しばらくそのままで印刷を継続してください。
- 複写枚数の多い用紙や厚い紙などに印字する場合、印刷品質を確保するために印刷速度を落として動作することがあります。故障ではありませんので、安心してお使いください。

結露について

プリンタ内部に結露が発生すると、電源を入れてもランプが点灯するだけでプリンタが動作しないことがあります。

その場合は、一旦電源を切り、プリンタカバーを開けた状態でしばらくお待ちください。その後、再度電源を入れ、プリンタが正常に動作すればプリンタの故障ではありませんので、そのままお使いください。

漏洩電流について

多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。このようなときには、本製品または本製品を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。

どうしても解決しないときは

「困ったときは」の内容を確認しても、現在の症状が改善されないときは、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

本製品は、本製品の機能が正常に動作しているかを確認するための印字パターンをプリンタ内部に持っています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるため、プリンタの動作や印刷機能に問題があるかどうかが確認できます。

『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）－「プリンタのセットアップ」－「5. 電源接続と動作確認」－「動作の確認」

1 **電源を切り、インターフェイスケーブルを外します。**

2 **レリースレバーを単票紙（ CUT ）位置に設定します。**

3 **［改行 / 改ページ］スイッチか［給紙 / 排紙］スイッチを押したまま電源を入れます。**

4 **単票紙をセットします。**
自動的に用紙を給紙し、動作確認を開始します。印刷しないときは電源を切り 2 からやり直してください。

正常に印刷できない場合

お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口へ修理をご依頼ください。保守サービスについては、『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）裏表紙をご覧ください。

正常に印刷できる場合

プリンタは故障していません。

［印刷可］スイッチを押して印刷を終了させてから、プリンタの電源を切ります。

［印刷可］スイッチが押されるまで印刷は繰り返して行われます。プリンタに用紙が残っているときは、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

続いて、プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。判断の仕方は、次の項目を参照してください。

プリンタドライバ類のトラブルか、アプリケーションソフトのトラブルかを判断します。

Windows 標準添付のワードパッドで簡単な印刷ができるかどうかを確認します。

☞ 本書 4 ページ 「印刷手順」

ワードパッドを起動した後、数文字入力してからファイルメニューの［印刷］を実行します。

正常に印刷できない場合

プリンタドライバのインストール・設定・バージョンなどに問題があると考えられます。プリンタドライバをインストールし直してください。また、プリンタドライバをバージョンアップすれば正常に印刷できるようになることもありますので、最新のプリンタドライバをインストールしてみてください。

☞ 本書 44 ページ 「最新プリンタドライバの入手方法」

正常に印刷できる場合

ご使用のアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合わせ先へご相談ください。

それでもトラブルが解決できないときは、エプソンインフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターの問い合わせ先は、『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）の裏表紙にあります。
お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

付録

プリンタのお手入れと運搬

プリンタのお手入れ

プリンタをいつも良好な状態で使用できるように、定期的にプリンタのお手入れをしてください。

- 電源を切り、電源プラグをコンセントから外し、柔らかいブラシでほこりを払います。
- 汚れがひどいときには、水に中性洗剤を少量入れたものを用意します。そこに柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふき取ります。最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。

⚠警告

プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉じてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートすることがあります。

!注意

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形するおそれがあります。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタケースを傷付けることがあります。
- プリンタ内部に潤滑油を注油しないでください。プリンタメカニズムが故障するおそれがあります。潤滑油の補給が必要なときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）裏表紙をご覧ください。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。

プリンタの運搬

本製品を再輸送する場合は、プリンタを衝撃から守るために十分注意して梱包してください。

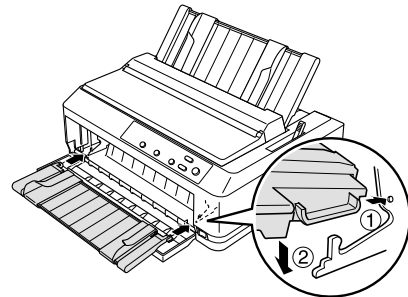
1 **電源を切ります。**

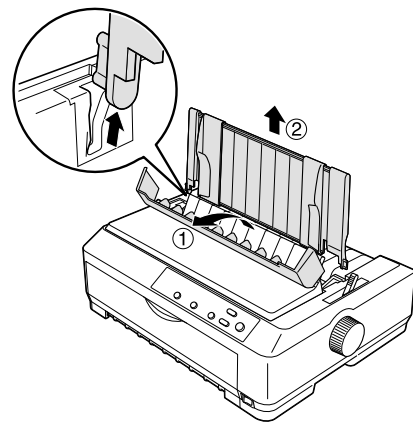
用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して取り除いておきます。

2 **電源プラグとインターフェイスケーブルを外します。**

電源プラグをコンセントから抜きます。インターフェイスケーブルをプリンタから取り外します。

3 **用紙ガイド（前）/（後）を取り外します。**

<用紙ガイド（前）>

用紙ガイド（前）を斜め上に引き抜きます。

<用紙ガイド（後）>

排紙ガイドを手前に倒し、用紙ガイド（後）を上に引き上げ、手前にずらして取り外します。

4 プリンタカバーを開けて、リボンカートリッジを取り外します。

☞『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）-「リボンカートリッジの交換」

> ⚠警告
>
> プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

5 プリントヘッドが移動しないように、テープで固定します。

6 プリンタカバーを閉じます。

7 梱包材を取り付けて、プリンタを水平に梱包箱に入れます。

> **！注意**
>
> プリンタの輸送時には、上下を逆にしないでください。

プリンタの仕様

基本仕様

- 印字方式　インパクトドットマトリクス
- ピン数 / ピン配列　24 ピン / 12 × 2 列
- 印字方向　双方向最短距離印字（ロジカルシーキング付き）
- 印字桁数 / 印字速度
  ＜英数カナ文字＞

印字ピッチ (CPI*1)	印字桁数（CPL*2）	印字速度（CPS*3）			
		ドラフト		高品位	
		ノーマル	コピー	ノーマル	コピー
10	80	330	259	110	86
12	96	396	311	132	103
15	120	495	389	165	129
17.1（10CPI 縮小）	137	559	441	187	147
20（12CPI 縮小）	160	658	519	220	173

＜漢字＞

印字モード	印字桁数（CPL）	印字ピッチ（CPI）	印字速度（CPS）			
			高速		高品位	
			ノーマル	コピー	ノーマル	コピー
漢字全角	53	6.7	146	109	73	57
漢字半角 *4	110 [106]	13.8 [13.3]	303 [292]	226 [218]	151 [146]	118 [114]
1/4 角文字 *4	102 [99]	12.8 [12.4]	280 [272]	209 [203]	140 [136]	109 [106]

*1 CPI（Characters per inch）　:25.4mm 当たりの文字数
*2 CPL（Characters per line）　:1 行当たりの文字数
*3 CPS（Characters per second）:1 秒間当たりの印字文字数
*4：［　］内は半角文字間スペース補正時

- 紙送り方式　フリクションフィード（前、後）
  プッシュトラクタフィード（前、後）
  プルトラクタフィード（前、後、底面）
  プッシュ / プルトラクタフィード（前、後）
  カットシートフィーダー（オプション）
- 改行間隔　4.23mm（1/6 インチ）、n/360 インチでプログラム可能
- 改行速度　45ms/ 行（行間隔 4.23mm（1/6 インチ））
  0.127MPS（m/sec）＜ 5.0 IPS（inches/sec）＞（連続送り時）
- 入力データバッファ　約 128K バイト

システム仕様

対応する OS は以下の通りです。

- MS-DOS
- Windows 3.1
- Windows 95
- Windows 98
- Windows Me
- Windows NT3.51
- Windows NT4.0
- Windows Server 2003
- Windows 2000
- Windows XP
- Windows Vista
- Windows 7
- Windows 8

!注意

- Windows 2000/XP/Vista/8 でお使いの場合は、同梱の CD-ROM に収録されているプリンタドライバをインストールしてください。Windows 7 をお使いの場合は、OS に標準搭載されているプリンタドライバをインストールしてください。
- Windows 3.1/95/98/Me/NT3.51/NT4.0 のプリンタドライバは、同梱の CD-ROM に収録されていません。エプソンのホームページからプリンタドライバをダウンロードしてお使いください。
  【サービス名】 ダウンロードサービス
  【アドレス】 http://www.epson.jp/
- 本製品はECPモード、EPPモードには対応していません。お使いのコンピュータがECPモードになっている場合は、BIOS の設定をノーマルモードまたはスタンダードモードに変更してください。変更方法は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

●EPSONプリンタウィンドウ!3/EPSONステータスモニタ/EPSON ステータスモニタ3の動作条件

EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 はプリンタの状態を監視して、エラーメッセージなどを表示するユーティリティソフトです。EPSON プリンタウィンドウ !3 /EPSON ステータスモニタ 3 は、プリンタドライバのインストール後、続けてインストールすることができます。EPSON ステータスモニタは、OS に標準添付されているプリンタドライバをインストールしてから、インストールしてください。

対象 OS	EPSON プリンタウィンドウ !3	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista
	EPSON ステータスモニタ	Windows 7
	EPSON ステータスモニタ 3	Windows 8
監視可能なプリンタの接続形態	パラレルおよびUSB接続でのローカルプリンタ、Windows共有プリンタ*1、TCP/IP接続プリンタ*2	

*1 : Windows 95/98/Me で共有プリンタを監視する場合は、サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルあるいは TCP/IP プロトコルが設定されている必要があります。
*2 : オプションの PRIFNW7 が必要です。

- お使いのコンピュータが双方向通信機能をサポートしていない場合、EPSON プリンタウィンドウ !3/EPSON ステータスモニタ /EPSON ステータスモニタ 3 は使用できません。
- NEC の PC-9821 シリーズでは、Windows NT4.0 でのローカルプリンタの監視はできません。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。

文字仕様

	英数カナ文字	漢字
文字コード	カタカナコード 拡張グラフィックスコード マルチリンガルコード マルチリンガルユーロ イタリックコード	漢字コード （JIS X0208-1990 準拠） ＜特殊文字”平成”を追加＞
文字種	英数カナ文字 グラフィックス 拡張グラフィックス 国際文字	第 1 水準 第 2 水準 特殊文字
書体	EPSON ROMAN EPSON SANS SERIF EPSON OCR-B	明朝 ゴシック

バーコード書体	JAN 準拠、JAN 短縮、Interleaved2of5、UPC-A、UPC-E、Code39、Code128、POSTNET、Code bar（NW-7）

用紙仕様

＜連続紙（連続複写紙）＞

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	101.6 ～ 254.0mm（4.0 ～ 10.0 インチ）	
ページ長	101.6 ～ 558.8mm（4.0 ～ 22.0 インチ）	
用紙厚	0.065 ～ 0.1mm	0.12 ～ 0.39mm
用紙連量	45 ～ 70kg（坪量 52 ～ 81.3g/m^2）	34 ～ 50kg（坪量 40 ～ 58g/m^2） （1 枚当たり）

＜ラベル紙＞

項目	一枚紙
品質	上質紙
台紙用紙幅	101.6 ～ 254mm（4.0 ～ 10.0 インチ）
台紙ページ長	101.6 ～ 558.8mm（4.0 ～ 22.0 インチ）
用紙厚（台紙を含む）	0.16 ～ 0.19mm（台紙 0.07 ～ 0.09mm）
用紙連量	55kg（坪量 63.9g/m^2）

＜単票紙(単票複写紙)＞

項目		一枚紙	複写紙
品質		上質紙、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	用紙ガイド（前）	100 ～ 257mm（3.9 ～ 10.1 インチ）	
	用紙ガイド（後）	100 ～ 257mm(3.9 ～ 10.1 インチ)	―
	カットシートフィーダー A	182 ～ 216mm（7.2 ～ 8.5 インチ）	―
	カットシートフィーダー B	100 ～ 216mm（3.9 ～ 8.5 インチ）	―
用紙長	用紙ガイド（前 / 後）	100 ～ 364mm（3.9 ～ 14.3 インチ）*	
	カットシートフィーダー A	210 ～ 364mm（8.2 ～ 14.3 インチ）	―
	カットシートフィーダー B	100 ～ 364mm（3.9 ～ 14.3 インチ）	―
用紙厚	用紙ガイド（前 / 後）	0.065 ～ 0.14mm	0.12 ～ 0.39mm*
	カットシートフィーダー A/B	0.07 ～ 0.14mm	―
用紙連量	用紙ガイド（前 / 後）	45 ～ 78kg（坪量 52 ～ 82.7g/m^2）	34 ～ 50kg（坪量 40 ～ 58g/m^2）（1 枚当たり）
	カットシートフィーダー A/B	55～78kg(坪量63.9～82.7g/m^2)	―

* ：単票複写紙は用紙ガイド（前）から給紙します。

＜単票複写紙の推奨組み合わせ＞

構成枚数と連量（kg）は下表の通りです。

	1P	2P	3P	4P	5P
1 枚目	45 ～ 70	50	50	43	43
2 枚目	―	43	34	34	34
3 枚目	―	―	43	34	34
4 枚目	―	―	―	43	34
5 枚目	―	―	―	―	43

＜ハガキ＞

項目		詳細	
品質		郵便ハガキ	郵便往復ハガキ
用紙幅	用紙ガイド（前）	100 ～ 148mm（3.9 ～ 5.8 インチ）	―
	用紙ガイド（後） カットシートフィーダー B	100 ～ 148mm（3.9 ～ 5.8 インチ）	
用紙長	用紙ガイド（前）	100 ～ 148mm（3.9 ～ 5.8 インチ）	―
	用紙ガイド（後） カットシートフィーダー B	100 ～ 200mm（3.9 ～ 7.8 インチ）	
用紙厚		0.22mm	
用紙連量		165kg（坪量 191.5g/m^2）	

電気関係仕様

定格電圧	AC 100V
入力電圧範囲	AC 90 ～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz
定格電流	1.1A（最大 2.5A）
消費電力	連続印刷時平均　約 42W（ISO/IEC10561 レターパターン印刷時） スリープモード時*　約 3.9W 電源オフ時　0W

* スリープモード：「印刷可」または「待機」時に、一定時間の無動作後に自動的に入る電力節減状態。設定時間は約 5 分。

総合仕様

信頼性	平均総印字量：4000 万行（プリントヘッド寿命を除く）
プリントヘッド寿命	4 億ストローク（1 ピン当たり）
温度	動作時：5 ～ 35 ℃ 15 ～ 25 ℃（再生紙、ハガキ、ラベルに印刷する場合） 保存時：－ 30 ～ 60 ℃
湿度	動作時：10 ～ 80%（非結露） 30 ～ 60%（再生紙、ハガキ、ラベルに印刷する場合） 保存時：0 ～ 85%（非結露）
一般室温環境	温度：　15 ～ 25 ℃ 湿度：　30 ～ 60%（非結露）
プリンタ本体質量	約 7.1kg
プリンタ本体外形寸法幅	幅 437.5mm ×奥行き 374.8mm ×高さ 171.5mm
カートリッジリボン寿命	約 500 万文字（1 文字を 48 ドット構成とした場合）

環境基本仕様

消費電力	連続印刷時平均	約 42 W（ISO/IEC10561 レターパターン印刷時）
	低電力モード時	約 4.5 W
	電源スイッチオフ時	0 W
省資源機能	Windows 2000/XP/Vista/7/8 では「ページごとの印刷（割り付け印刷）」機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。	
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。保守サービスについては、『取扱説明書　セットアップと使い方の概要編』（紙マニュアル）裏表紙をご覧ください。	
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年間	
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年間	

パラレルインターフェイス仕様

パラレルインターフェイス（フォワードチャネル）

データ転送方式	8 ビットパラレル
同期方式	外部供給 STROBE パルス信号
ハンドシェイク	ACKNLG および BUSY 信号
ロジックレベル	TTL レベル (IEEE-1284 Level 1device)
適合コネクタ	57-30360（アンフェノール）の 36 ピンまたは同等品（インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）

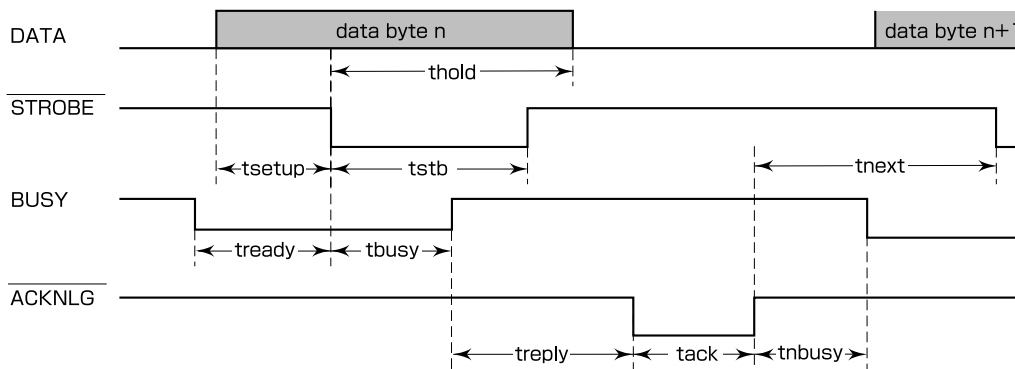
本製品は ECP モード、EPP モードには対応していません。お使いのコンピュータが ECP モードになっている場合は、BIOS の設定をノーマルモードまたはスタンダードモードに変更してください。変更方法は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	STROBE	センタマシン	データを読み込むためのストローブパルスです。パルス幅は 0.5μs 以上必要です。定常状態は "HIGH" であり、"LOW" になった後にデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から 8 ビット目までの情報を表します。"HIGH" はデータが "1" であり、"LOW" はデータが "0" であることを示します。
10	28	ACKNLG	プリンタ	"LOW" は、プリンタのデータ受け取り準備ができていることを表すパルス信号です。
11	29	BUSY	プリンタ	"HIGH" は、プリンタがデータを受け取れない状態であることを示します。"LOW" はデータを受け取れる状態であることを示します。"HIGH" になるのは次の状態のときです ①データエントリー中 ②エラー状態 ③バッファフル ④イニシャライズ中または INIT 信号が "LOW" の間 ⑤テスト印刷、設定モード中
12	28	PE	プリンタ	"HIGH" は、プリンタに用紙が無いことを示します。
13	28	SLCT	プリンタ	常に "HIGH" 状態。1.0KΩ で +5V にプルアップされています。
14	30	AUTO FEED XT	センタマシン	使用していません。
15	−	NC	−	使用していません。
16	−	GND	−	ツイストペアリターン用グランド
17	−	Chassis	−	プリンタシャーシのグランド

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
18	–	Logic H	–	常時“HIGH”レベル、3.9kΩ で+ 5V にプルアップされています。
19 ～ 30	–	GND	–	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	センタマシン	パルス幅 50μs 以上の“LOW”パルスの入力ではプリンタは初期状態にセットされます。
32	29	$\overline{\text{ERROR}}$	プリンタ	“LOW”はプリンタがエラー状態であることを示します。(フェイタルエラー、紙無しエラー、カバーオープンエラー)
33	–	GND	–	ツイストペアリターン用グランド
34	–	NC	–	使用していません。
35	–	＋ 5	–	常に“HIGH”状態。1.0kΩ、+ 5V にプルアップされています。
36	30	$\overline{\text{SLCT IN}}$	–	使用していません。

- “LOW”アクティブ信号には、信号名の上に横棒が付いています。
- リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側についても必ず接続します。
- このケーブルにはシールドを行い、コンピュータとプリンタのシャーシグランドに接続することでノイズ対策に効果があります。
- インターフェイス条件は、すべて TTL レベルを基準とします。
- プリンタ出力の立ち上がり / 立ち下がり時間：120nsec 以下
- センタマシン出力の立ち上がり / 立ち下がり時間：200nsec 以下
- ACKNLG または BUSY 信号を無視してのデータ転送は行わないでください。(プリンタへのデータ転送は、ACKNLG を確認するか、BUSY が“LOW”状態のときに行ってください)

パラレルインターフェイスタイミングチャート

パラメータ	最小値	最大値
tsetup	500nsec	–
thold	500nsec	–
tstb	500nsec	–
tready	0	–
tbusy	–	500nsec
treply	–	–
tack	500nsec	10μs

パラメータ	最小値	最大値
tnbusy	0	–
tnext	0	–

パラレルインターフェイス(リバースチャネル)

データ転送方式	IEEE-1284 ニブルモード	
同期方式	IEEE-1284 準拠	
ハンドシェイク	IEEE-1284 準拠	
ロジックレベル	TTL レベル(IEEE-1284 Level 1 device)	
データ転送タイミング	IEEE-1284 準拠	
拡張要求データ	拡張要求データ値が 00H または 04H の場合、要求を受け付ける。それぞれの意味は次の通り。 00H:リバースチャネル転送をニブルモードで行うよう要求。 04H:リバースチャネル転送のニブルモードを使用してデバイス ID を返すことを要求。	
デバイス ID	IEEE1284.4 が有効の場合 [00H][57H] MFG:EPSON; CMD:ESCP24J,PR201,ESCPSUPER,BDC,D4; MDL:VP-880; CLS:PRINTER; DES:EPSON[SP]VP-880;	IEEE1284.4 が無効の場合 [00H][54H] MFG:EPSON; CMD:ESCP24J,PR201,ESCPSUPER,BDC; MDL:VP-880; CLS:PRINTER; DES:EPSON[SP]VP-880;

入力信号(コネクタ端子の信号配列と信号)

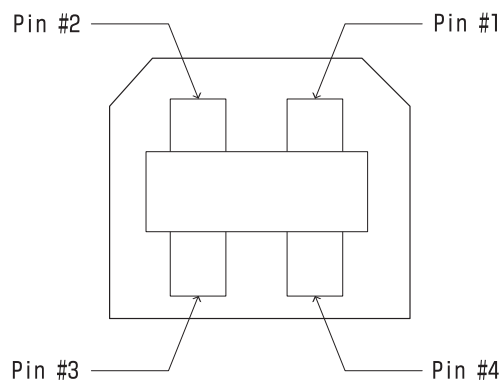
ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	センタマシン	ホスト側のクロック信号。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から 8 ビット目までの情報を表します。“HIGH”はデータが“1”であり、“LOW”はデータが“0”であることを示します。
10	28	PtrClk	プリンタ	プリンタ側のクロック信号
11	29	PtrBusy/ DataBit-3,7	プリンタ	プリンタ側のBUSY信号およびリバースチャネルでのデータビット 3 またはデータビット 7
12	28	AckDataReq/ DataBit-2,6	プリンタ	Acknowledge データ要求信号およびリバースチャネルでのデータビット 2 またはデータビット 6
13	28	Xflag/ DataBit-1,5	プリンタ	X-flag 信号およびリバースチャネルでのデータビット 1 またはデータビット
14	30	HostBusy	センタマシン	ホスト側の BUSY 信号
15	---	NC	---	使用していません。
16	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
17	---	Chassis	---	プリンタのシャーシのグランド
18	---	Logic H	プリンタ	“HIGH”はプリンタが出力するすべての信号が有効であることを示します。

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
19～30	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	センタマシン	使用していません。
32	29	$\overline{\text{Data Avail/}}$ DataBit-0,4	プリンタ	Data available 信号およびリバースチャネルでのデータビット 0 またはデータビット 4
33	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
34	---	NC	---	使用していません。
35	---	+5V	プリンタ	常に“HIGH”状態。1.0kΩ で +5V にプルアップされています。
36	30	1284-Active	センタマシン	1284 active 信号

USB(Universal Serial Bus)インターフェイス仕様

規格	Universal Serial Bus Specification Revision 1.1 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Device Version 1.1
転送速度	12Mbps（Full Speed Device）
データフォーマット	NRZI
適合コネクタ	USB Series B
許容ケーブル長	2m

入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン番号	ピン名	入力 / 出力	機能
1	VCC	―	ケーブル電源、最大電流 100mA
2	-Data	双方向	データ
3	+Data	双方向	データ、1.5KΩ の抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
4	Ground	―	ケーブルグラウンド

初期化

次の 2 通りの方法で初期化（イニシャライズ）されます。ただし、いずれの初期化の場合も、操作パネルで設定した初期設定値になるとともに操作パネルの設定で変更された値は保持されます。

	ハードウェア初期化	ソフトウェア初期化
方法	電源を再投入あるいはプリンタがパラレルインターフェイスから INIT 信号を受信	ソフトウェア初期化 ESC@ コード（プリンタの初期化）を送る
初期化内容	• プリンタメカニズム • 入力データバッファ • ダウンロード文字、外字 • プリントバッファ	• プリントバッファ • デフォルト値の設定

コード表

コントロールコード表

本製品は EPSON ESC/P® の ESC/P24-J84 に準拠したコントロールコードで動作します。以下に使用できるコントロールコードの一覧を示します。各コントロールコードの詳細は、エプソンパートナーズネットで提供しております ESC/P リファレンスマニュアルを参照してください。

ESC/P リファレンスマニュアルをダウンロードするには、エプソンパートナーズネットへの会員登録が必要です。
http://partner.epson.jp/

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
印字・紙送り	印字復帰	CR	
	改行	LF	
	改ページ	FF	
	n/180 インチ順方向紙送り	ESC J n	0 ≦ n ≦ 255 (n/180 インチ)
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC C n	1 ≦ n ≦ 127 (n 行)
	インチ単位ページ長設定	ESC C 0 n	1 ≦ n ≦ 22 (n インチ)
	ミシン目スキップ設定	ESC N n	1 ≦ n ≦ 127 (n 行)
	ミシン目スキップ解除	ESC O	
	右マージン設定	ESC Q n	1 ≦ n ≦ 255 (n：桁数)
	左マージン設定	ESC l n	0 ≦ n ≦ 255 (n：桁数)
改行量設定	1/8 インチ改行量設定	ESC 0	
	1/6 インチ改行量設定	ESC 2	
	n/180 インチ改行量設定	ESC 3 n	0 ≦ n ≦ 255 (n/180 インチ)
	n/360 インチ改行量設定	ESC + n	0 ≦ n ≦ 255 (n/360 インチ)
タブ設定	水平タブ位置設定	ESC D $[n]_k$ NUL	1 ≦ n ≦ 255 (n：桁数) 1 ≦ $_k$ ≦ 32 (k：タブ数)
	垂直タブ位置設定	ESC B $[n]_k$ NUL	1 ≦ n ≦ 255 (n：桁数) 1 ≦ $_k$ ≦ 16 (k：タブ数)
	水平タブ実行	HT	
	垂直タブ実行	VT	
	絶対水平位置指定	ESC $ n_1 n_2	0 ≦ (n_1 + n_2 × 256) ≦右マージン位置 (n_1 + n_2 × 256：ドット数) (n_1：ドット数を 256 で割った値の余り) (n_2：ドット数を 256 で割った値の商)
	相対水平位置指定	ESC ¥ n_1 n_2	左マージン位置≦ (n_1 + n_2 × 256) ≦右マージン位置 (n_1 + n_2 × 256：ドット数) (n_1：ドット数を 256 で割った値の余り) (n_2：ドット数を 256 で割った値の商)

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
文字セット	文字品位選択	ESC x n	n = 0，1
	書体選択	ESC k n	n = 0，1，5
	プロポーショナル文字指定 / 解除	ESC p n	n = 0，1
	10cpi 指定	ESC P	
	12cpi 指定	ESC M	
	15cpi 指定	ESC g	
	スーパー / サブスクリプト指定	ESC S n	n = 0，1
	スーパー / サブスクリプト解除	ESC T	
	ライン付き文字選択	ESC (- n_1 n_2 m d_1 d_2	n_1 = 3 n_2 = 0 m = 1 d_1 = 1，2，3 （d_1：線位置） 0 ≦ d_2 ≦ 255 （d_2：線種）
	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	
	縮小指定	SI	
	縮小解除	DC2	
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	
	アンダーライン指定 / 解除	ESC - n	n = 0，1
	縦倍拡大指定 / 解除	ESC w n	n = 0，1
	国際文字選択	ESC R n	0 ≦ n ≦ 13, n = 64
	文字コード表選択	ESC t n	n = 1，3

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
文字定義	ダウンロード文字定義	ESC & 0 n m [a_0 a_1 a_2 p_1...p_k]m-n+1	32 ≦ n ≦ m ≦ 127 0 ≦ a_0 ≦ 127 0 ≦ a_1 ≦ 37 − 128 ≦ a_2 ≦ 127 0 ≦ p_1...p_k ≦ 255 (m − n + 1：登録文字数) (n：開始コード) (m：終了コード) (a_0：左スペース) (a_1：文字幅) (a_2：右スペース) (p_1...p_k：データ)
	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC % n	n = 0, 1
	文字セットコピー	ESC : 0 n S	n = 0 s = 0
	文字間スペース量設定	ESC SP n	0 ≦ n ≦ 127 (n：ドット数)
	イタリック指定	ESC 4	
	イタリック解除	ESC 5	
	強調指定	ESC E	
	強調解除	ESC F	
	二重印字指定	ESC G	
	二重印字解除	ESC H	
	文字スタイル選択	ESC q n	n = 0, 1, 2, 3
	倍幅拡大指定 / 解除	ESC W n	n = 0, 1
	一括指定	ESC ! n	0 ≦ n ≦ 255 (n：指定または解除の値の和)
漢字文字セット	漢字モード指定	FS &	
	漢字モード解除	FS .	
	漢字書体選択	FS k n	n = 0, 1
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS SO	
	半角文字指定	FS SI	
	半角文字解除	FS DC2	
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS DC4	
	1/4 角文字指定	FS r n	n = 0, 1
漢字文字定義	外字定義	FS 2 a_1 a_2 $[d]_k$	a_1 = 77_H 21_H ≦ a_2 ≦ $7E_H$ 0 ≦ d ≦ 255 k = 72 (a_1, a_2：外字コード) (a_1：第 1 バイト) (a_2：第 2 バイト) ($[d]_k$：データ)

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
漢字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS S n_1 n_2	$0 \leqq n_1 \leqq 127$ $0 \leqq n_2 \leqq 127$ (n_1：左スペース量 (n_1/180 インチ)) (n_2：右スペース量 (n_2/180 インチ))
	半角文字スペース量設定	FS T n_1 n_2	$0 \leqq n_1 \leqq 127$ $0 \leqq n_2 \leqq 127$ (n_1：左スペース量 (n_1/180 インチ)) (n_2：右スペース量 (n_2/180 インチ))
漢字装飾	漢字縦書き指定	FS J	
	漢字横書き指定	FS K	
	半角縦書き 2 文字指定	FS D $[d]_k$	$k = 4$
	4 倍角指定 / 解除	FS W n	n = 0，1
	漢字アンダーライン指定 / 解除	FS - n	n = 0，1，2
	漢字一括指定 / 解除	FS ! n	$0 \leqq n \leqq 255$ (n：指定または解除の値の和)
ビットマップ イメージ選択	ビットイメージ選択	ESC * m n_1 n_2 $[d]_k$	m = 0 ～ 4，6，32，33，38 ～ 40 $0 \leqq n_1 \leqq 255$ $0 \leqq n_2 \leqq 19$ j = 1，3 $k = (n_1 + n_2 \times 256) \times j$ (m：選択するビットイメージ) ($n_1 + n_2 \times 256$：水平方向ドット数) (n_1:水平方向ドット数を256で割った値の余り) (n_2：水平方向ドット数を 256 で割った値の商) ($[d]_k$：データ)
	ビットイメージリピート選択	ESC * m r_1 r_2 n_1 n_2 $[d]_k$	m = 167 $0 \leqq r_1 \leqq 255$ $0 \leqq r_2 \leqq 19$ $0 \leqq n_1 \leqq 180$ $n_2 = 0$ j = 3 $k = (n_1 + n_2 \times 256) \times j$ (m：選択するビットイメージ) ($r_1 + r_2 \times 256$:ビットイメージを繰り返す回数) (r_1：回数を 256 で割った値の余り) (r_2：回数を 256 で割った値の商) ($n_1 + n_2 \times 256$:ビットイメージを繰り返す回数) (n_1：回数を 256 で割った値の余り) (n_2：回数を 256 で割った値の商) ($[d]_k$：データ)
初期化	初期化	ESC @	
キャリッジ制御	単方向印字指定 / 解除	ESC U n	n = 0，1
	漢字高速印字指定 / 解除	FS x n	n = 0，1
CSF 制御	カットシートフィーダー制御	ESC EM n	n = “1”，“2”，“R”

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
その他	半角文字スペース量補正	FS U	
	半角文字スペース量補正解除	FS V	
	ページ長設定	ESC (C n_1 n_2 m_1 m_2	$n_1 = 2$ $n_2 = 0$ $0 < (m_1 + m_2 \times 256)$ ×基準ユニット≦ 22 インチ
	ページフォーマット設定	ESC (c n_1 n_2 tL tH bL bH	$n_1 = 4$ $n_2 = 0$ 0 ≦ (tL + tH × 256) ×基準ユニット< (bL + bH × 256) ×基準ユニット≦ 22 インチ
	バーコード印字	ESC (B n_1 n_2 j m s v_1 v_2 c $[d]_k$	$0 \leqq n_1 \leqq 255$ $0 \leqq n_2 \leqq 127$ $0 \leqq j \leqq 8$ $2 \leqq m \leqq 5$ $-3 \leqq s \leqq 3$ $45 \leqq (v_1 + v_2 \times 256) \leqq 3960$ $0 \leqq c \leqq 255$ $_k=n_1 + n_2 \times 256$ ($n_1 + n_2 \times 256$：データ数＋ 6) (j：バーコード種) (m：最小モジュール幅) (s：白バー微調整) ($v_1 + v_2 \times 256$：高さ) (c：付加，印字等) ($[d]_k$：データ)

英数カナ文字コード表

カタカナコード表

╲	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			’	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▓
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

拡張グラフィックスコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	‘	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	β	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7			’	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8			(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	η
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	ϕ	²
E	SO		.	>	N	ˆ	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

イタリックコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	‘	p				0	@	P	‘	p
1			!	1	A	Q	a	q			!	1	A	Q	a	q
2			“	2	B	R	b	r			“	2	B	R	b	r
3			#	3	C	S	c	s			#	3	C	S	c	s
4			$	4	D	T	d	t			$	4	D	T	d	t
5			%	5	E	U	e	u			%	5	E	U	e	u
6			&	6	F	V	f	v			&	6	F	V	f	v
7			’	7	G	W	g	w			’	7	G	W	g	w
8			(	8	H	X	h	x			(	8	H	X	h	x
9			)	9	I	Y	i	y			)	9	I	Y	i	y
A			*	:	J	Z	j	z			*	:	J	Z	j	z
B			+	;	K	[	k	{			+	;	K	[	k	{
C			,	<	L	\	l	¦			,	<	L	\	l	¦
D			-	=	M	]	m	}			-	=	M	]	m	}
E			.	>	N	ˆ	n	˜			.	>	N	ˆ	n	˜
F			/	?	O	_	o				/	?	O	_	o	

国際文字

n		23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
0	アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
1	フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
2	ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
3	イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
4	デンマーク1	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
5	スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
6	イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
7	スペイン1	₧	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
8	日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
9	ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
10	デンマーク2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
11	スペイン2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
12	ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú
13	韓国	#	$	@	[	₩	]	^	`	{	¦	}	~
64	リーガル	#	$	§	°	´	″	¶	`	©	®	†	™

漢字コード表

本製品の漢字コードは JIS X0208-1990 に準拠しています。

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
20																															
21		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23																0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29																															
2A																															
2B																															
2C																															
2D	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E																															
2F																															
30	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
20																																
21	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	┼																															
29																																
2A																																
2B																																
2C																																
2D	ミリ	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	アール	ヘクタール	リットル	ワット	カロリー	ドル	セント	パーセント	ミリバール	ページ	mm	cm	km	mg	kg	cc	m^2									㍻
2E																																
2F																																
30	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
20																															
21	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26																															
27	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28																															
29																															
2A																															
2B																															
2C																															
2D	〃	〃	No.	K.K.	Tel	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E																															
2F																															
30	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	檜	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F																															

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
50	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	椙	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	筐	筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴
65	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	堯	槇	遙	瑤	凜	熙																									
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
50	仭	伋	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	嵜	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	綫	緫	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	蘋	藾	蘭	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	軈	軅	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74																																
75																																
76																																
77																																
78																																
79																																
7A																																
7B																																
7C																																
7D																																
7E																																
7F																																

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
50	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	檞	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	蛟	蛛	蛯	蜓	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	釵	鈍	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	驃	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															

JIS C6226-1978 との違い

本製品では、JIS X0208-1990 に準拠した漢字コードを搭載しています。
JIS 漢字コードは、改訂によって字形を変更したり、字形を追加したり、または位置を変更したりしているため、使用するコンピュータやソフトウェアによっては画面に表示される字形と印刷される字形が異なる場合があります。ここでは、プリンタに搭載している JIS 漢字コード（JIS X0208-1990）と、JIS C6226-1978 の違いを説明します。

● JIS X0208-1983、JIS X0208-1990 で変更・追加された字形

変更・追加された字形			
16 進	JIS C6226-1978	JIS X0208-1983	JIS X0208-1990
3646	堯	尭	尭
4B6A	槇	槙	槙
4D5A	遙	遥	遥
6076	瑤	瑶	瑶
7421	-	堯	堯
7422	-	槇	槇
7423	-	遙	遙
7424	-	瑤	瑤
7425	-	-	凜
7426	-	-	熙

● JIS X0208-1983 で第 1 水準と第 2 水準を変更した漢字

第 1 水準			第 2 水準		
16進	JIS X0208 -1983	JIS C6226 -1978	16進	JIS X0208 -1983	JIS C6226 -1978
3033	鯵	鰺	724D	鰺	鯵
3229	鴬	鶯	7274	鶯	鴬
3342	蛎	蠣	695A	蠣	蛎
3349	撹	攪	5978	攪	撹
3376	竃	竈	635E	竈	竃
3443	潅	灌	5E75	灌	潅
3452	諌	諫	6B5D	諫	諌
375B	頚	頸	7074	頸	頚
395C	砿	礦	6268	礦	砿
3C49	蕊	蘂	6922	蘂	蕊
3F59*	靭	靱	7057*	靱	靭
4128	賎	賤	6C4D	賤	賎
445B	壷	壺	5464	壺	壷
4557	砺	礪	626A	礪	砺
456E	梼	檮	5B6D	檮	梼
4573	涛	濤	5E39	濤	涛
4676*	迩	邇	6D6E*	邇	迩
4768	蝿	蠅	6A24	蠅	蝿
4930	桧	檜	5B58	檜	桧
4B79	侭	儘	5056	儘	侭
4C79	薮	藪	692E	藪	薮
4F36	篭	籠	6446	籠	篭

*: 第 1 水準と第 2 水準の位置を変え、字形も変更した文字

● JIS X0208-1990 で字形を変更した漢字

16進	JIS X0208 -1990	JIS C6226 -1978	16進	JIS X0208 -1990	JIS C6226 -1978	16進	JIS X0208 -1990	JIS C6226 -1978
3022	唖	啞	3737	祁	祁	3E25	哨	哨
3029	逢	逢	3745	慧	慧	3E33	廠	廠
3032	芦	芦	374E	稽	稽	3E3F	梢	梢
303B	飴	飴	3752	繋	繫	3E55	蒋	蔣
306E	溢	溢	3755	荊	荊	3E5F	醤	醬
3073	鰯	鰯	3764	隙	隙	3E64	鞘	鞘
307C	淫	淫	3771	倦	倦	3F2A	蝕	蝕
312A	迂	迂	3779	嫌	嫌	3F60	逗	逗
3135	欝	欝	377E	捲	捲	3F69	翠	翠
3139	厩	廐	3834	鹸	鹼	4022	摺	摺
313D	噂	噂	3841	諺	諺	4042	逝	逝
3142	餌	餌	392B	巷	巷	4066	蝉	蟬
316B	焔	焔	3937	昂	昻	4071	撰	撰
3228	襖	襖	3942	溝	溝	4072	栓	栓
322A	鴎	鷗	396D	麹	麴	4079	煎	煎
3260	迦	迦	3974	鵠	鵠	407A	煽	煽
327A	恢	恢	3979	甑	甑	4127	詮	詮
327D	拐	拐	3A53	采	采	4139	噌	噌
3322	晦	晦	3A63	冴	冴	414C	遡	遡
3335	概	概	3A67	榊	榊	414F	創	創
3365	喝	喝	3A74	柵	柵	415F	掻	搔
336B	葛	葛	3B27	薩	薩	4169	痩	瘦
3373	鞄	鞄	3B2A	鯖	鯖	423D	遜	遜
337A	噛	嚙	3B2B	捌	捌	424D	騨	驒
3442	澗	澗	3B2C	錆	錆	425C	腿	腿
344D	翰	翰	3B39	珊	珊	4263	黛	黛
3465	翫	翫	3C48	屡	屢	426F	啄	啄
352B	徽	徽	3C57	遮	遮	4275	濯	濯
3540	祇	祇	3C5D	杓	杓	4276	琢	琢
3622	侠	俠	3C5E	灼	灼	427D	蛸	蛸
362A	卿	卿	3D2B	繍	繡	4327	巽	巽
364F	僅	僅	3D36	酋	酋	4329	辿	辿
366D	躯	軀	3D6C	曙	曙	432A	棚	棚
3674	喰	喰	3D6D	渚	渚	432D	鱈	鱈
367B	櫛	櫛	3D72	薯	薯	432E	樽	樽
367D	屑	屑	3D73	藷	藷	433D	箪	簞

16進	JIS X0208 -1990	JIS C6226 -1978	16進	JIS X0208 -1990	JIS C6226 -1978	16進	JIS X0208 -1990	JIS C6226 -1978
4370	註	註	4824	箸	箸	4E7B	煉	煉
4375	豬	豬	482E	溌	潑	4F21	蓮	蓮
437C	凋	凋	4830	醗	醱	4F31	榔	榔
443D	捗	捗	4854	挽	挽	4F39	蝋	蠟
4448	槌	槌	4862	扉	扉	513D	兎	兔
444A	鎚	鎚	4875	樋	樋	5147	冉	冉
444D	塚	塚	4922	柊	柊	514B	冕	冕
444F	掴	摑	4923	稗	稗	514D	冤	冤
4454	辻	辻	492F	逼	逼	5330	唹	唹
4522	鄭	鄭	4932	媛	媛	533A	唳	唳
4527	擢	擢	4935	謬	謬	535E	嘲	嘲
452E	溺	溺	4940	廟	廟	536B	嚥	嚥
4536	填	塡	494E	瀕	瀕	5444	堋	堋
453F	顛	顚	4951	頻	頻	553D	媾	媾
4548	堵	堵	4A43	蔽	蔽	5563	寃	寃
454B	屠	屠	4A4D	瞥	瞥	5622	屏	屏
4551	菟	菟	4A5A	娩	娩	5824	悗	悗
4552	賭	賭	4A79	庖	庖	5960	捩	捩
4564	塘	塘	4B22	泡	泡	596C	搆	搆
4578	祷	禱	4B29	蓬	蓬	5A39	攅	攢
463E	鴇	鴇	4B4B	頬	頰	5A4D	斃	斃
4642	涜	瀆	4B70	鱒	鱒	5B45	枦	枦
4654	瀞	瀞	4B78	迄	迄	5B4A	枴	枴
4655	噸	噸	4C4D	麺	麵	5B6B	梛	梛
465B	遁	遁	4C59	儲	儲	5B74	梍	梍
465C	頓	頓	4C5F	餅	餠	5E50	湮	湮
4661	那	那	4C62	籾	籾	6026	爨	爨
4666	謎	謎	4C7A	鑓	鑓	605F	珎	珎
4667	灘	灘	4C7C	愈	愈	612B	甄	甄
466A	楢	楢	4C7E	癒	癒	6130	甍	甍
4729	禰	禰	4D32	猷	猷	6131	甕	甕
4739	嚢	囊	4D50	熔	熔	622B	皓	皓
4757	牌	牌	4D54	耀	耀	626F	硼	硼
4767	這	這	4D69	莱	萊	634A	稱	稱
4769	秤	秤	4E4B	遼	遼	6354	穐	穐
476D	剥	剝	4E7A	漣	漣	6439	箙	箙

16進	JIS X0208 -1990	JIS C6226 -1978	16進	JIS X0208 -1990	JIS C6226 -1978
6464	粐	粐	7075	頤	頤
646E	粮	粮	722D	鬮	鬮
6539	總	總	723C	鮗	鮗
653B	繁	繁	724E	鯲	鯲
6546	緱	緱	7351	麪	麪
6646	翔	翔	737D	龜	龜
6764	舮	舮			
6769	芎	芎			
6772	苒	苒			
6834	蒖	蒖			
683B	葱	葱			
6874	蔗	蔗			
6961	蛛	蛛			
6A27	螂	螂			
6A3D	蟒	蟒			
6A6F	褊	褊			
6B32	覯	覯			
6B66	諞	諞			
6B76	譁	譁			
6C69	跚	跚			
6C74	踉	踉			
6D4E	輓	輓			
6D6C	迪	迪			
6E29	遘	遘			
6E3D	扈	扈			
6E57	釁	釁			
7045	霤	霤			
7051	靠	靠			

漢字コード表は JIS X0208-1990 に準拠しています。使用するコンピュータまたはソフトウェアによっては、画面上に現れる漢字と実際に印刷される漢字が異なることがあります。それは、コンピュータ側で JIS C6226-1978 を使用している場合があるためです。

索引

れ